

## 第2章 医療費及び特定健康診査等の状況

### 1. 旭市の基礎情報

旭市は、平成17年7月1日に旭市・海上町・飯岡町・干潟町が合併して誕生した面積130.47平方キロメートルの東総地域の中核都市です。

人口・世帯数は以下のとおりとなっています。(令和4年10月1日現在)

人口：63,590人 世帯数：26,991世帯(1世帯あたり人員2.36人)

平均年齢：49.4歳

人口構成：年少人口(15歳未満) 10.8%

生産年齢人口(15～64歳) 57.5%

高齢者人口(65歳以上) 31.7%

旭市の産業分類別就業者数は以下のとおりです。

表1 産業別就業者数(令和2年)

| 産業分類  | 旭市      |         | 同規模     | 千葉県     | 全国      |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 第1次産業 | 5,446人  | 17.20%  | 5.00%   | 2.40%   | 3.20%   |
| 第2次産業 | 7,635人  | 24.20%  | 27.90%  | 19.10%  | 23.40%  |
| 第3次産業 | 18,527人 | 58.60%  | 67.10%  | 78.50%  | 73.40%  |
| 総数    | 31,608人 | 100.00% | 100.00% | 100.00% | 100.00% |

※KDB データ「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」(令和5年度)より

### 2. 人口構成

#### (1) 人口の推移

年齢3区分別に旭市の人口をみると、生産年齢人口(15～64歳)、年少人口(15歳未満)はいずれも近年は減少の傾向にある一方で、老年人口(65歳以上)は増加傾向で推移しています。

表2 人口の推移

単位：人

| 年齢区分   | 旭市     |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
|        | 平成22年度 | 平成27年度 | 令和2年度  |
| 15歳未満  | 8,890  | 8,119  | 7,170  |
| 15～64歳 | 43,499 | 39,616 | 36,134 |
| 65歳以上  | 16,630 | 18,706 | 19,843 |
| 総数     | 69,019 | 66,441 | 63,147 |

※平成22年、平成27年、令和2年国勢調査より(年齢不詳を除く)

## (2) 人口構成の比較

旭市の人口構成は、千葉県と比較すると 39 歳以下の割合が 35.3%と 2.9 ポイント、40～64 歳は 33.3%と 0.9 ポイント低い一方で、65 歳以上は 16.2%と 2.5 ポイント、75 歳以上の後期高齢者の割合も 15.2%と 1.2 ポイントそれぞれ高くなっており、旭市の少子高齢化は千葉県より進んでいるといえます。

また、人口 65 歳以上の全人口に占める割合である高齢化率についても、旭市は、同規模、千葉県、全国に比べ高くなっています。

表 3 年齢階層別人口構成の比較（令和 2 年）

単位：人・%

| 年齢区分   | 旭市     | 同規模    | 千葉県       | 全国          |
|--------|--------|--------|-----------|-------------|
| 39歳以下  | 22,272 | 24,695 | 2,346,457 | 46,332,563  |
| 40～64歳 | 21,032 | 22,524 | 2,103,730 | 41,545,893  |
| 65～74歳 | 10,249 | 10,126 | 840,224   | 17,087,063  |
| 75歳以上  | 9,594  | 10,533 | 859,767   | 18,248,742  |
| 総数     | 63,147 | 67,878 | 6,150,178 | 123,214,261 |
| 高齢化率   | 31.4   | 30.4   | 27.6      | 28.7        |

※KDB データ「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」（令和 4 年度）より

※同規模は、全国の人口 50,000 人以上 100,000 人未満の一般市の平均値としており、総数及び高齢化率を除き推計値である。

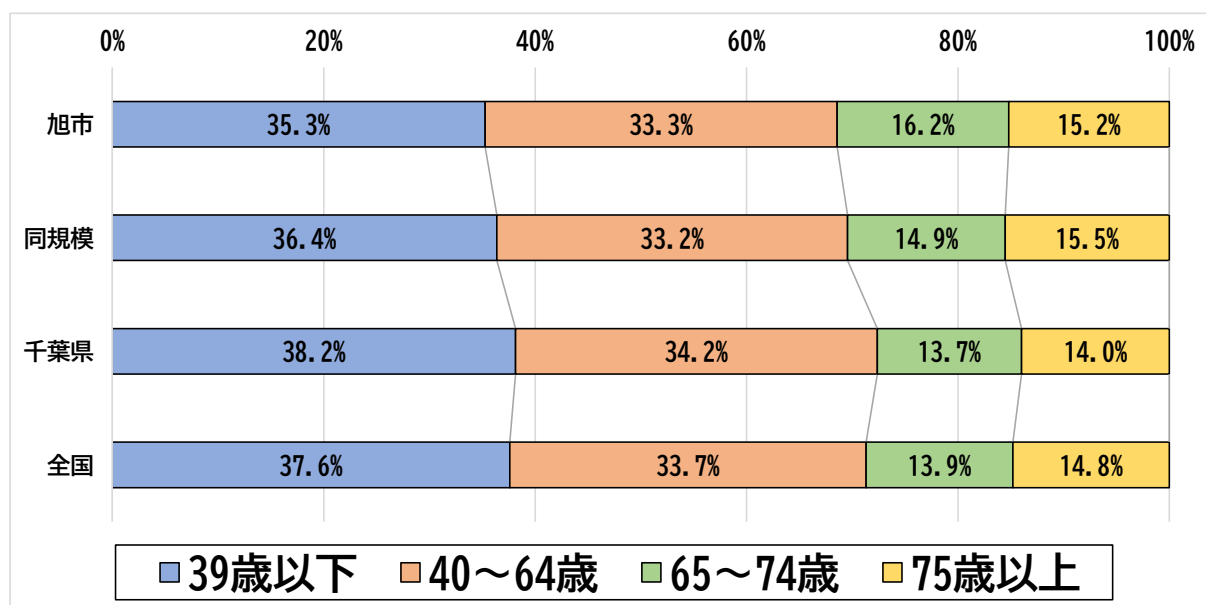


図 1 年齢階層別人口構成の比較

※KDB データ「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」（令和 4 年度）より

### (3) 国民健康保険加入状況の比較

令和4年度の旭市の国民健康保険の加入状況は27.9%で、同規模、千葉県、全国より高くなっています。

一方で、旭市の国民健康保険の被保険者数及び加入率は、いずれも平成29年度から令和4年度にかけて減少傾向にあります。

表4 国民健康保険加入状況の比較

単位：人・％

|       | 旭市     | 同規模    | 千葉県       | 全国          |
|-------|--------|--------|-----------|-------------|
| 人口総数  | 63,147 | 67,878 | 6,150,178 | 123,214,261 |
| 被保険者数 | 17,634 | 13,889 | 1,233,735 | 24,660,500  |
| 加入率   | 27.9%  | 20.5%  | 20.1%     | 20.0%       |

※KDB データ「地域の全体像の把握」（令和4年度）より

※同規模は、全国の人口50,000人以上100,000人未満の一般市の平均値としている

表5 国民健康保険被保険者数及び加入率の推移

単位：人・％

|       | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度  | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度  |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 被保険者数 | 21,549 | 20,491 | 19,716 | 19,401 | 18,629 | 17,634 |
| 加入率   | 32.4%  | 30.8%  | 29.7%  | 29.2%  | 28.0%  | 27.9%  |

※KDB データ「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」（各年度）より

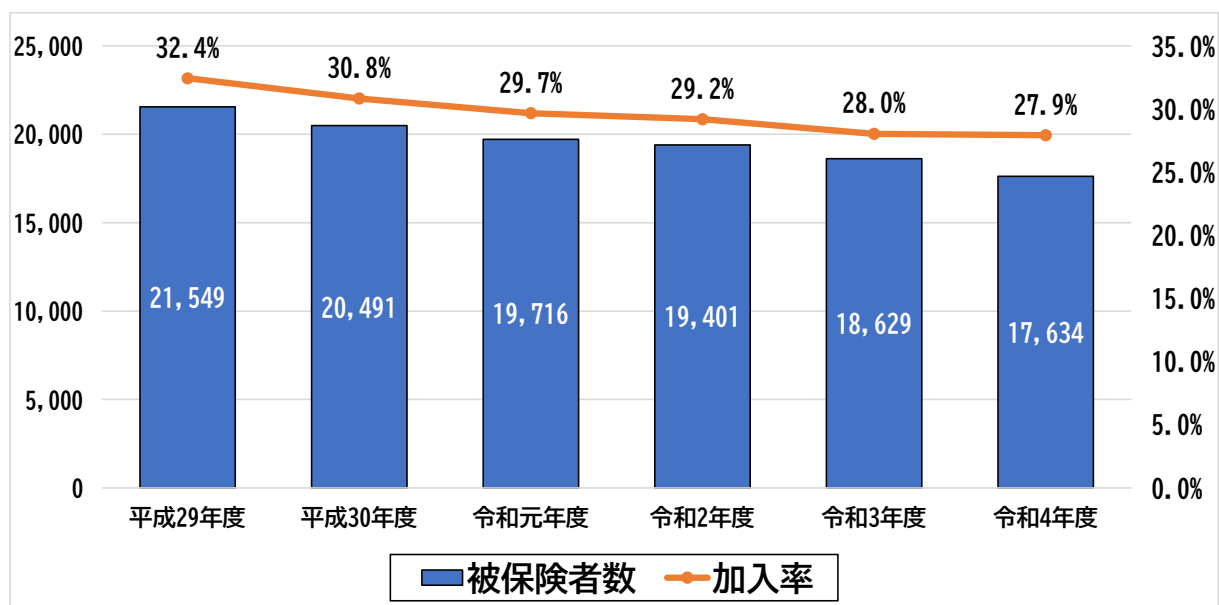


図2 被保険者数及び加入率の推移(平成29年度～令和4年度)

単位：人・％

※KDB データ「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」（各年度）より

#### (4) 年齢階層別被保険者の比較

旭市の令和4年度の年齢階層別被保険者割合は39歳以下が24.7%、40～64歳が34.0%であり、64歳以下の被保険者割合は、同規模、千葉県、全国に比べ高く、被保険者数全体の58.7%を占めています。

また、旭市の年齢階層別被保険者の経年比較をみると、39歳以下の被保険者割合が減少している一方で、65～74歳の被保険者割合が増加しています。

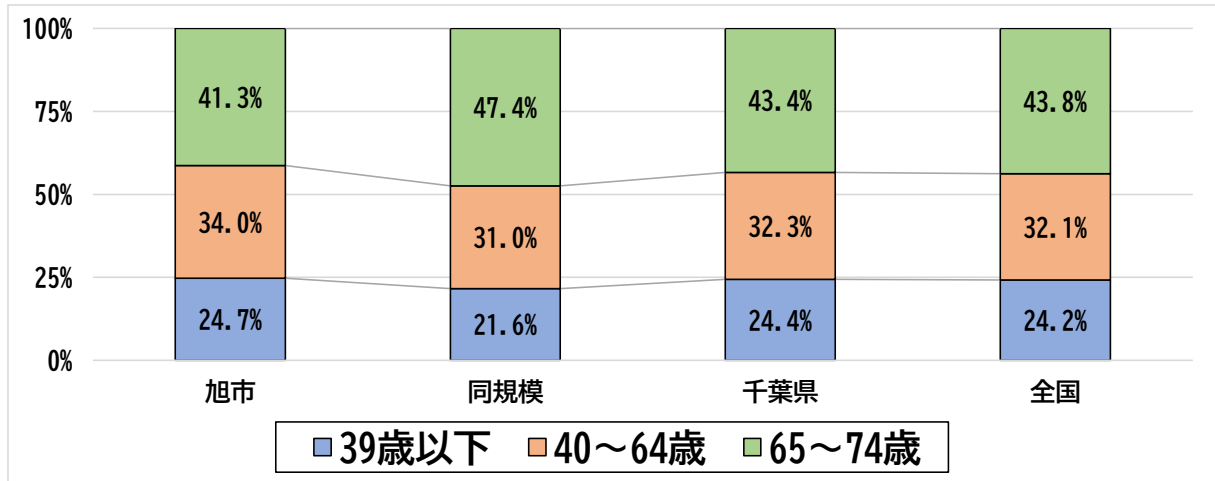


図3 年齢階層別被保険者割合の比較（令和4年度）

単位：％

※KDB データ「地域の全体像の把握」（令和4年度）より

表6 年齢階層別被保険者数の経年比較

単位：人

|        | 平成30年度 | 令和元年度  | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度  |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 39歳以下  | 5,454  | 5,077  | 4,905  | 4,558  | 4,354  |
| 40～64歳 | 7,374  | 6,958  | 6,595  | 6,395  | 5,996  |
| 65～74歳 | 7,663  | 7,681  | 7,901  | 7,676  | 7,284  |
| 合計     | 20,491 | 19,716 | 19,401 | 18,629 | 17,634 |

※KDB データ「医療費の状況」（各年度実績）より

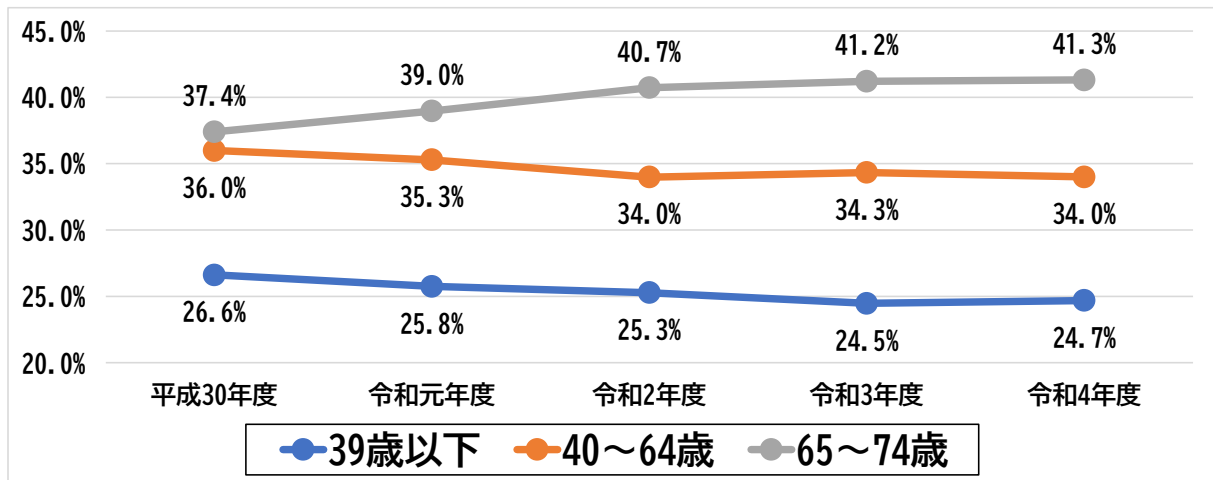


図4 年齢階層別被保険者割合の経年比較

※KDB データ「医療費の状況」（各年度）より

※端数処理のため、構成比の合計が100%に一致しない年度がある。

### 3. 国民健康保険被保険者数の推移と推計

旭市の国保被保険者数は減少傾向にあります。令和4年度の被保険者数は17,634人であり、平成30年度の20,491人と比較すると2,857人減少しています。令和11年度の推計値は13,770人の見込みです。

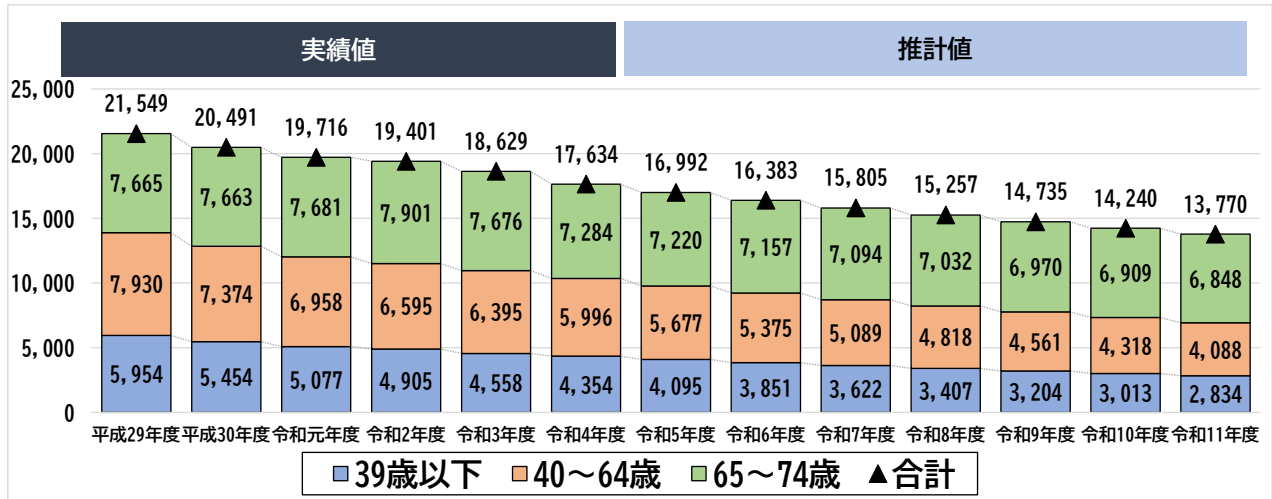


図5 各年度4月1日現在の国民健康保険被保険者数の推移と推計

単位：人

※KDB データ「医療費の状況」（各年度実績）より

### 4. 平均寿命と平均自立期間

旭市の令和2年度の平均寿命は、同規模、千葉県、全国と比較すると、男性、女性ともに低く、男性80.9歳、女性86.7歳となっています。

また、旭市の平均自立期間は、平成30年度と令和4年度を比較すると、男性が0.2歳、女性が0.1歳延びていますが、いずれも同規模、千葉県、全国より低くなっています。

【平均寿命】

表7 平均寿命の比較

単位：歳

|     | 平成22年度 |      | 平成27年度 |      | 令和2年度 |      |
|-----|--------|------|--------|------|-------|------|
|     | 男性     | 女性   | 男性     | 女性   | 男性    | 女性   |
| 旭市  | 79.0   | 86.1 | 80.1   | 86.4 | 80.9  | 86.7 |
| 同規模 | 79.6   | 86.3 | 80.7   | 87.0 | 81.5  | 87.6 |
| 千葉県 | 79.9   | 86.2 | 81.0   | 86.9 | 81.5  | 87.5 |
| 全国  | 79.6   | 86.3 | 80.8   | 87.0 | 81.5  | 87.6 |

※KDB データ「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」（各年度実績）より

※「平均寿命」とは、厚生労働省が毎年作成・公表する「簡易生命表」に基づく、0歳児の予測平均余命。

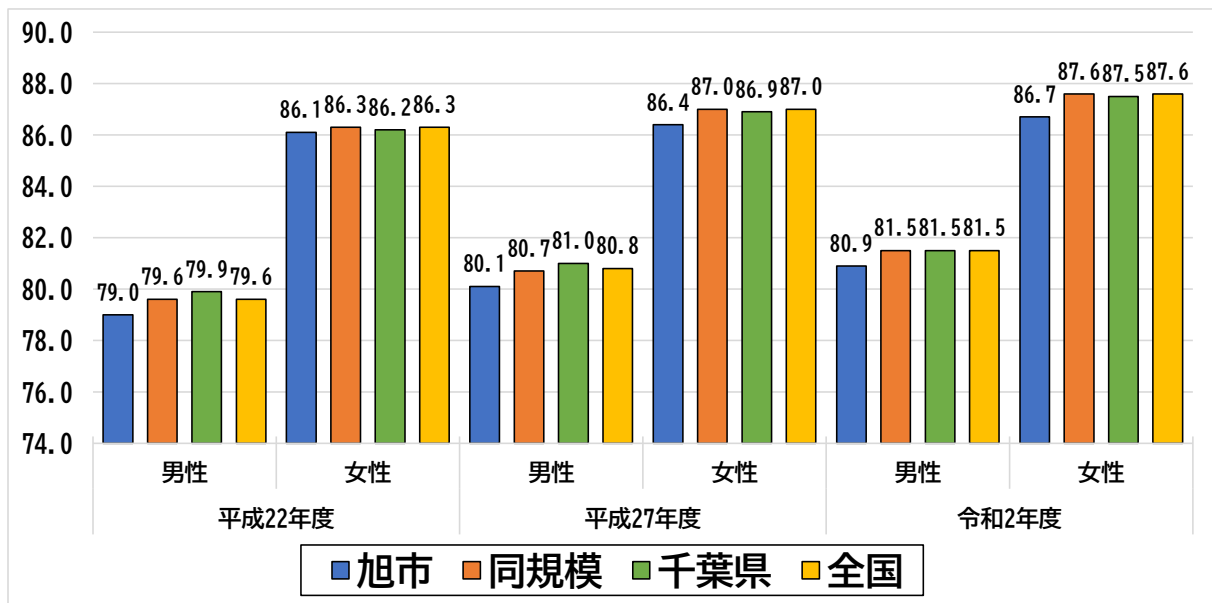


図6 平均寿命の比較

単位：歳

※KDB データ「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」（各年度実績）より

【平均自立期間】

表8 平均自立期間（男性）

単位：歳

|     | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----|--------|-------|-------|-------|-------|
| 旭市  | 78.2   | 77.8  | 77.0  | 78.1  | 78.4  |
| 同規模 | 79.5   | 79.6  | 79.7  | 79.0  | 80.1  |
| 千葉県 | 79.6   | 79.7  | 80.0  | 79.9  | 80.2  |
| 全国  | 79.5   | 79.6  | 79.8  | 79.9  | 80.1  |

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

※「平均自立期間」とは日常生活が要介護でなく、自立して暮らせる生存期間の平均のことで、介護保険に基づいて要介護2～5を要介護と規定する方法で算出されている。

※要介護2・・・日常生活の一部に毎日介護が必要になる状態

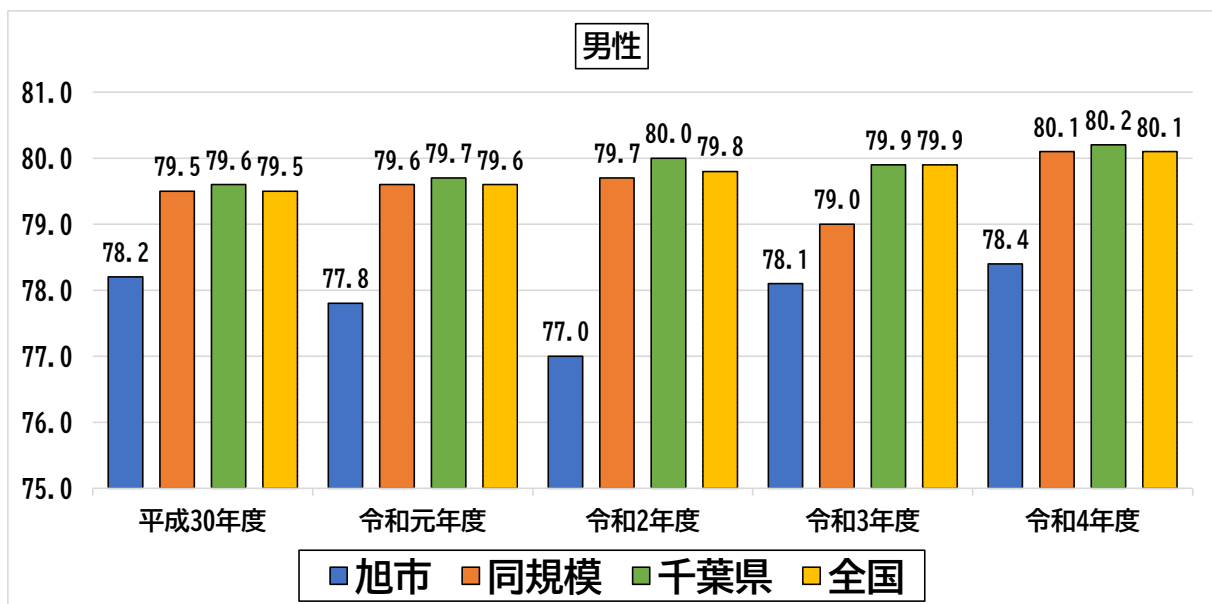


図7 平均自立期間（男性）

単位：歳

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

表9 平均自立期間（女性）

単位：歳

|     | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----|--------|-------|-------|-------|-------|
| 旭市  | 82.9   | 82.5  | 82.9  | 82.8  | 83.0  |
| 同規模 | 83.8   | 84.0  | 84.0  | 84.1  | 84.0  |
| 千葉県 | 83.9   | 83.8  | 84.1  | 84.1  | 84.4  |
| 全国  | 83.8   | 84.0  | 84.0  | 84.2  | 84.4  |

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

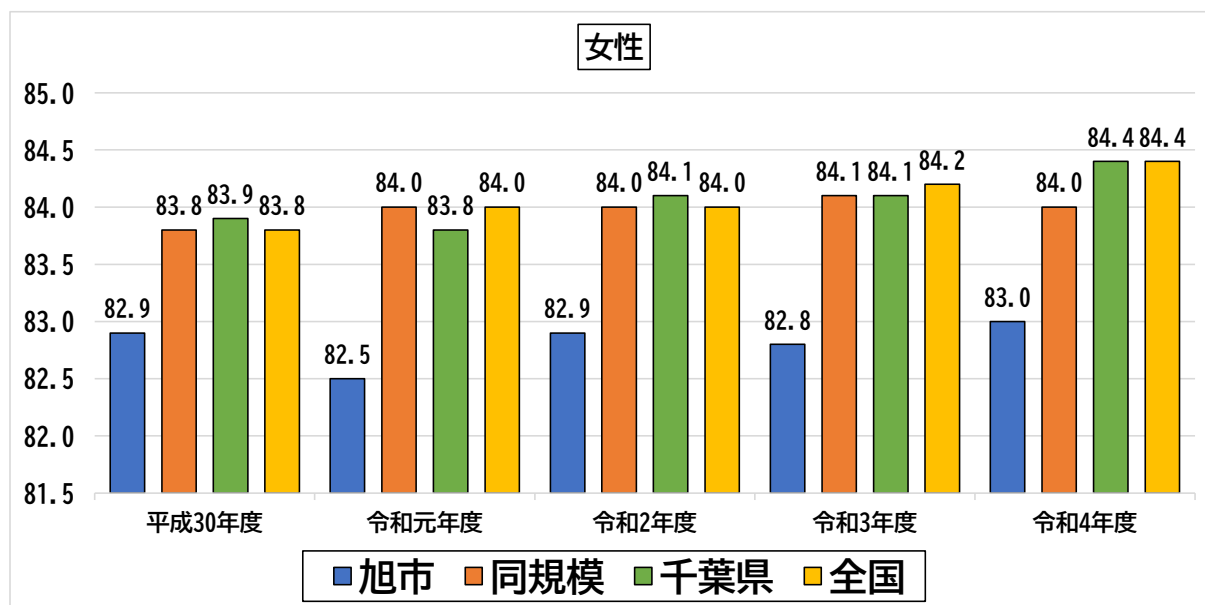


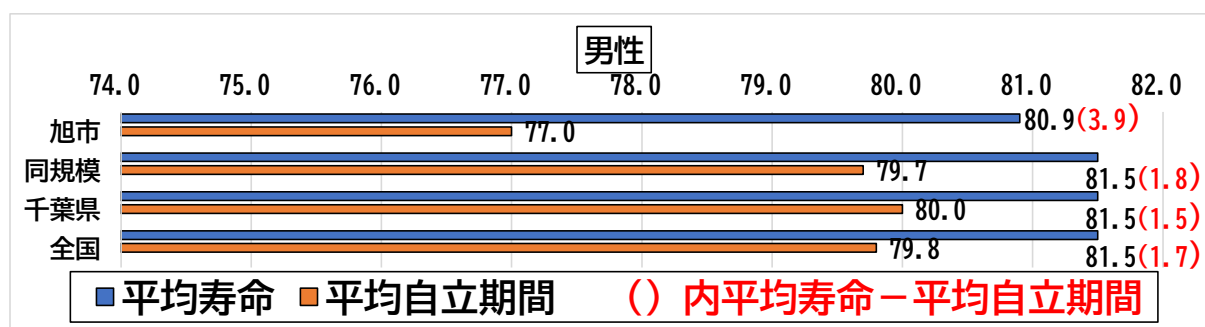
図8 平均自立期間（女性）

単位：歳

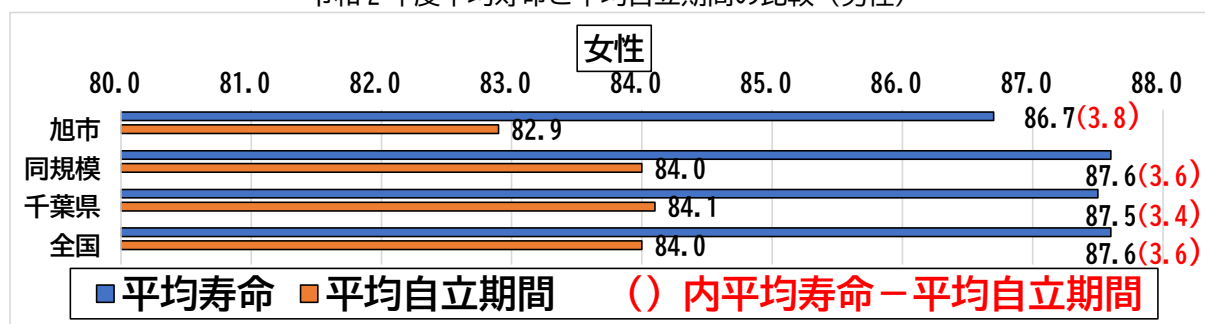
※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

【平均寿命と平均自立期間の差】 ※（）内平均寿命－平均自立期間

単位：歳



令和2年度平均寿命と平均自立期間の比較（男性）



令和2年度平均寿命と平均自立期間の比較（女性）

※KDB データ「地域の全体像の把握」より

## 5. 死亡の状況の比較（令和4年度）

旭市の令和4年度の主な死因別の死亡者数割合は、「がん」が最も高く、次に「心疾患」、「脳血管疾患」と続きます。同規模、千葉県、全国と比較すると、「がん」は49.8%で千葉県より1.1ポイント低く、「心疾患」は26.1%で千葉県より1.7ポイント低く、「脳血管疾患」は17.3%で千葉県より4.2ポイント高くなっています。

また、平成30年度と比較すると、「がん」は4.4ポイント、「心疾患」は1.2ポイント高く、「脳血管疾患」は3.9ポイント低くなっています。

表10 死亡の状況の比較(令和4年度)

単位：人・%

|       | 旭市   |       | 同規模     |       | 千葉県    |       | 全国      |       |
|-------|------|-------|---------|-------|--------|-------|---------|-------|
|       | 死亡者数 | 割合    | 死亡者数    | 割合    | 死亡者数   | 割合    | 死亡者数    | 割合    |
| がん    | 225  | 49.8% | 53,892  | 49.4% | 17,709 | 50.9% | 378,272 | 50.6% |
| 心疾患   | 118  | 26.1% | 30,362  | 27.8% | 9,663  | 27.8% | 205,485 | 27.5% |
| 脳血管疾患 | 78   | 17.3% | 16,001  | 14.7% | 4,555  | 13.1% | 102,900 | 13.8% |
| 糖尿病   | 6    | 1.3%  | 2,063   | 1.9%  | 747    | 2.1%  | 13,896  | 1.9%  |
| 腎不全   | 9    | 2.0%  | 3,958   | 3.6%  | 1,065  | 3.1%  | 26,946  | 3.6%  |
| 自殺    | 16   | 3.5%  | 2,854   | 2.6%  | 1,050  | 3.0%  | 20,171  | 2.7%  |
| 合計    | 452  | 100%  | 109,130 | 100%  | 34,789 | 100%  | 747,670 | 100%  |

※KDB データ「地域の全体像の把握」（令和4年度）より

※表中の「赤抜き」部分は、比較の中で高い割合を示しています。

※同規模…死亡者数は、人口同規模市の合計

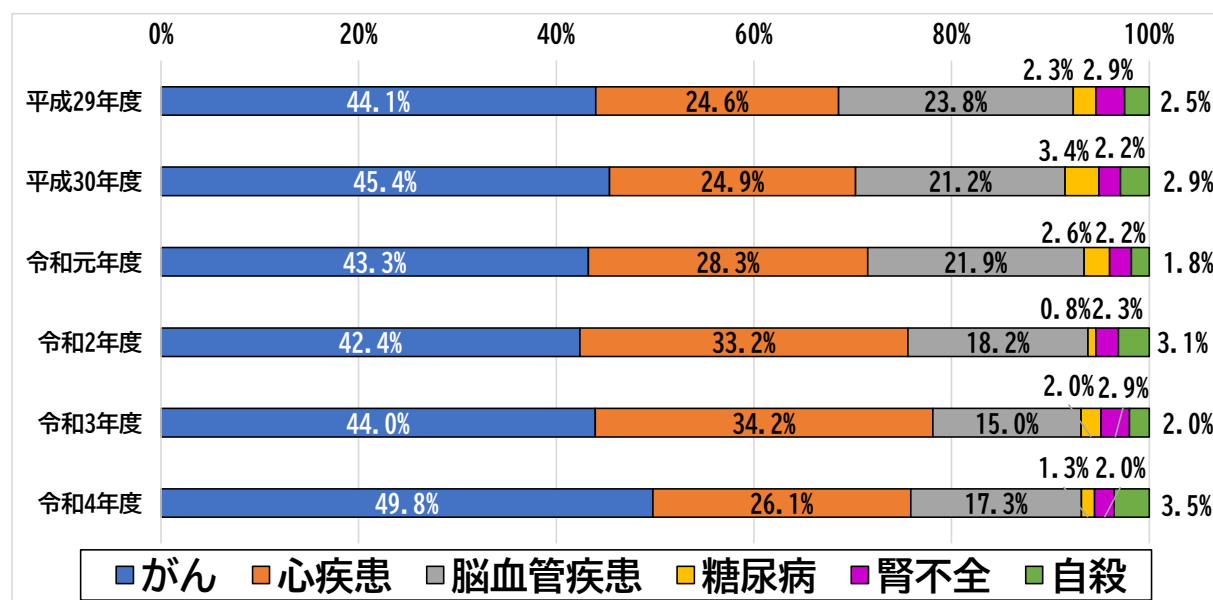


図9 死亡の状況の経年比較

単位：%

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より



## 6. 医療費の状況

### (1) 医療費の経年変化

旭市の医療費（医科）は、概ね横ばいとなっていますが、令和3年度に入院医療費が前年度より1億2,800万円増加しました。しかし、令和4年度の入院医療費は前年度より5,700万円減少し、外来も同様に前年度より5,800万円減少しています。

歯科医療費は、平成30年度以降減少傾向にありましたが、令和3年度に増加し、令和4年度は前年度より600万円増加しています。

表 11 医療費の経年変化（平成30年度～令和4年度）

|           |             | 平成30年度        | 令和元年度         | 令和2年度         | 令和3年度         | 令和4年度         |
|-----------|-------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 入院        | 医療費(円)      | 2,214,416,490 | 2,126,109,150 | 2,184,950,820 | 2,312,799,730 | 2,255,532,280 |
|           | 1人当たり医療費(円) | 8,790         | 8,800         | 9,310         | 10,150        | 10,340        |
| 外来        | 医療費(円)      | 3,460,786,650 | 3,513,027,750 | 3,457,373,680 | 3,490,868,940 | 3,432,815,330 |
|           | 1人当たり医療費(円) | 13,730        | 14,540        | 14,730        | 15,330        | 15,730        |
| 医科総医療費(円) |             | 5,675,203,140 | 5,639,136,900 | 5,642,324,500 | 5,803,668,670 | 5,688,347,610 |
| 歯科        | 医療費(円)      | 418,514,810   | 407,423,660   | 389,695,550   | 399,120,180   | 405,141,230   |
|           | 1人当たり医療費(円) | 1,660         | 1,690         | 1,660         | 1,750         | 1,860         |

※KDB データ 「地域の全体像の把握」(各年度)より

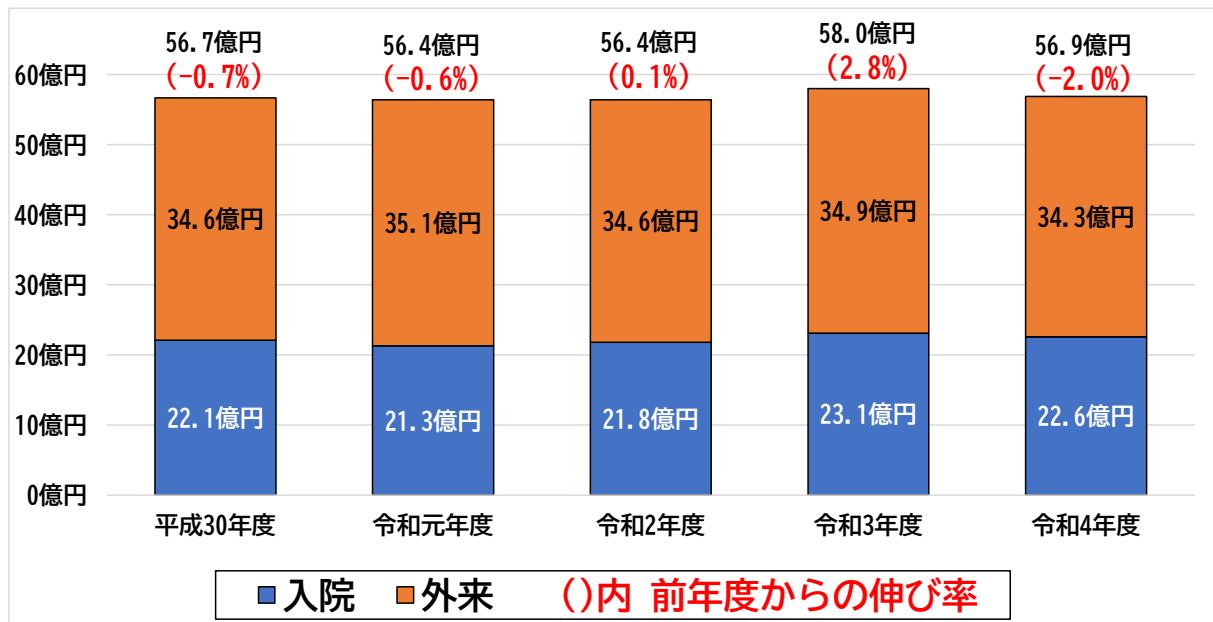


図 10 医療費総額（医科）の推移

単位：億円

※KDB データ 「地域の全体像の把握」(各年度)より

※平成30年度の伸び率は平成29年度の医療費総額（医科）（57.1億円）と比較しています。

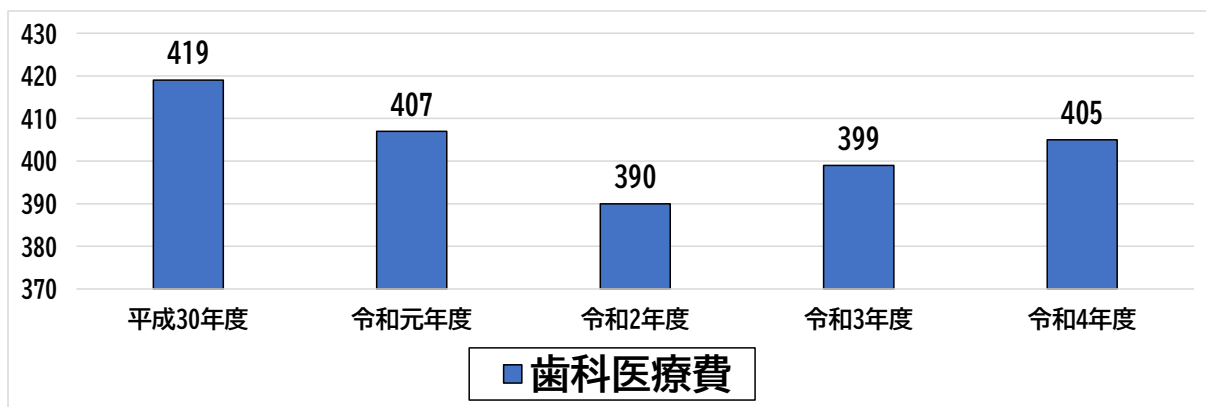


図 11 医療費(歯科)の推移

単位:百万円

※KDB データ 「地域の全体像の把握」(各年度)より

## (2) 入院と外来のレセプト件数及び費用割合

旭市のレセプト(医科)総件数に占める入院件数の割合は2.6%で千葉県より高く、同規模より低くなっています。

また、医療費(医科)総額に占める入院費用の割合は39.7%で、千葉県より高く、同規模、全国より低くなっています。

令和4年度の医療機関受診状況においては、外来の件数は97.4%占めていますが、入院は少ない件数にもかかわらず、費用割合が39.7%を占めています。

表 12 入院と外来のレセプト件数及び費用割合

割合単位: %

|     | レセプト件数<br>(件) | 医療費総額<br>(合計)(千円) | レセプト件数<br>(外来)(件) | 医療費総額<br>(外来)(千円) | 外来<br>件数<br>割合 | 外来<br>費用<br>割合 | レセプト件数<br>(入院)(件) | 医療費総額<br>(入院)(千円) | 入院<br>件数<br>割合 | 入院<br>費用<br>割合 |
|-----|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|----------------|----------------|-------------------|-------------------|----------------|----------------|
| 旭市  | 137,006       | 5,688,348         | 133,498           | 3,432,815         | 97.4           | 60.3           | 3,508             | 2,255,532         | 2.6            | 39.7           |
| 同規模 | 31,781,418    | 1,271,882,555     | 30,937,640        | 757,040,307       | 97.3           | 59.5           | 843,778           | 514,842,248       | 2.7            | 40.5           |
| 千葉県 | 10,169,514    | 410,644,622       | 9,922,842         | 253,873,390       | 97.6           | 61.8           | 246,672           | 156,771,232       | 2.4            | 38.2           |
| 全国  | 221,735,284   | 8,841,325,383     | 216,007,957       | 5,295,613,099     | 97.4           | 59.9           | 5,727,327         | 3,545,712,284     | 2.6            | 40.1           |

※KDB データ「地域の全体像の把握」(令和4年度)より

※医療費総額(合計)、医療費総額(外来)、医療費総額(入院)はそれぞれ千円未満四捨五入しているため、医療費総額(外来)と医療費総額(入院)の和が医療費総額(合計)と一致しない場合がある。

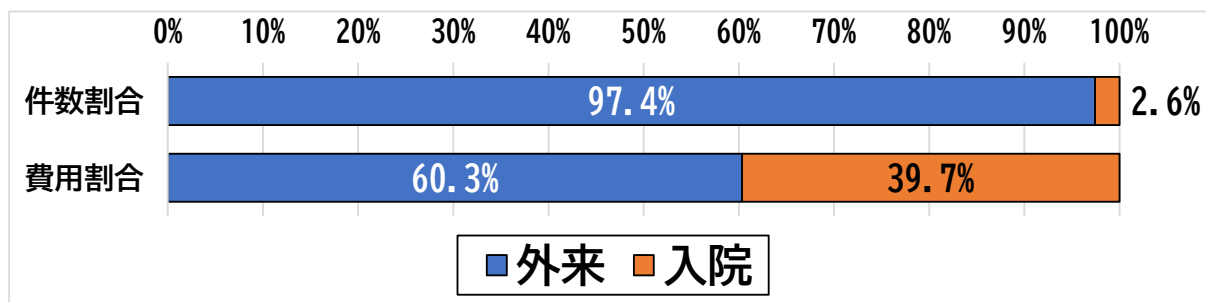


図 12 入院と外来の件数及び費用割合

単位: %

※KDB データ「地域の全体像の把握」(令和4年度)より

### (3) 被保険者一人当たりの月平均医療費

旭市の一人当たりの入院、外来を合わせた医科合計の月平均医療費については、同規模、千葉県、全国と比較すると、各年度とも低い金額で推移しているものの、年々増加傾向にあります。また、平成30年度と比較すると令和4年度は3,550円増加し、伸び率は15.8%となっており、同規模、千葉県、全国と比較して伸び率の幅が大きくなっています。

歯科の被保険者一人当たりの月平均医療費についても同規模、千葉県、全国と比較すると、各年度とも低い金額で推移しているものの、増加傾向にあります。また、平成30年度と比較すると令和4年度は200円増加し、伸び率は12.0%となっており、こちらも同規模、千葉県、全国をいずれも上回る伸び率となっています。

表13 一人当たりの月平均医療費経年推移

単位：円

|     |    | 平成30年度 | 令和元年度  | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度  | 伸び率   |
|-----|----|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 旭市  | 入院 | 8,790  | 8,800  | 9,310  | 10,150 | 10,340 | 17.6% |
|     | 外来 | 13,730 | 14,540 | 14,730 | 15,330 | 15,730 | 14.6% |
|     | 歯科 | 1,660  | 1,690  | 1,660  | 1,750  | 1,860  | 12.0% |
| 同規模 | 入院 | 11,080 | 11,470 | 11,230 | 11,700 | 11,980 | 8.1%  |
|     | 外来 | 15,830 | 16,430 | 16,170 | 17,120 | 17,620 | 11.3% |
|     | 歯科 | 1,960  | 2,000  | 1,990  | 2,090  | 2,170  | 10.7% |
| 千葉県 | 入院 | 9,370  | 9,660  | 9,590  | 10,120 | 10,260 | 9.5%  |
|     | 外来 | 15,030 | 15,450 | 15,110 | 16,220 | 16,610 | 10.5% |
|     | 歯科 | 1,940  | 1,950  | 1,900  | 2,050  | 2,110  | 8.8%  |
| 全国  | 入院 | 10,870 | 11,220 | 10,990 | 11,480 | 11,650 | 7.2%  |
|     | 外来 | 15,690 | 16,250 | 15,970 | 16,990 | 17,400 | 10.9% |
|     | 歯科 | 1,990  | 2,040  | 2,020  | 2,140  | 2,210  | 11.1% |

※KDB データ 「地域の全体像の把握」(各年度(累計))より

※伸び率は平成30年度と比較した令和4年度の数値

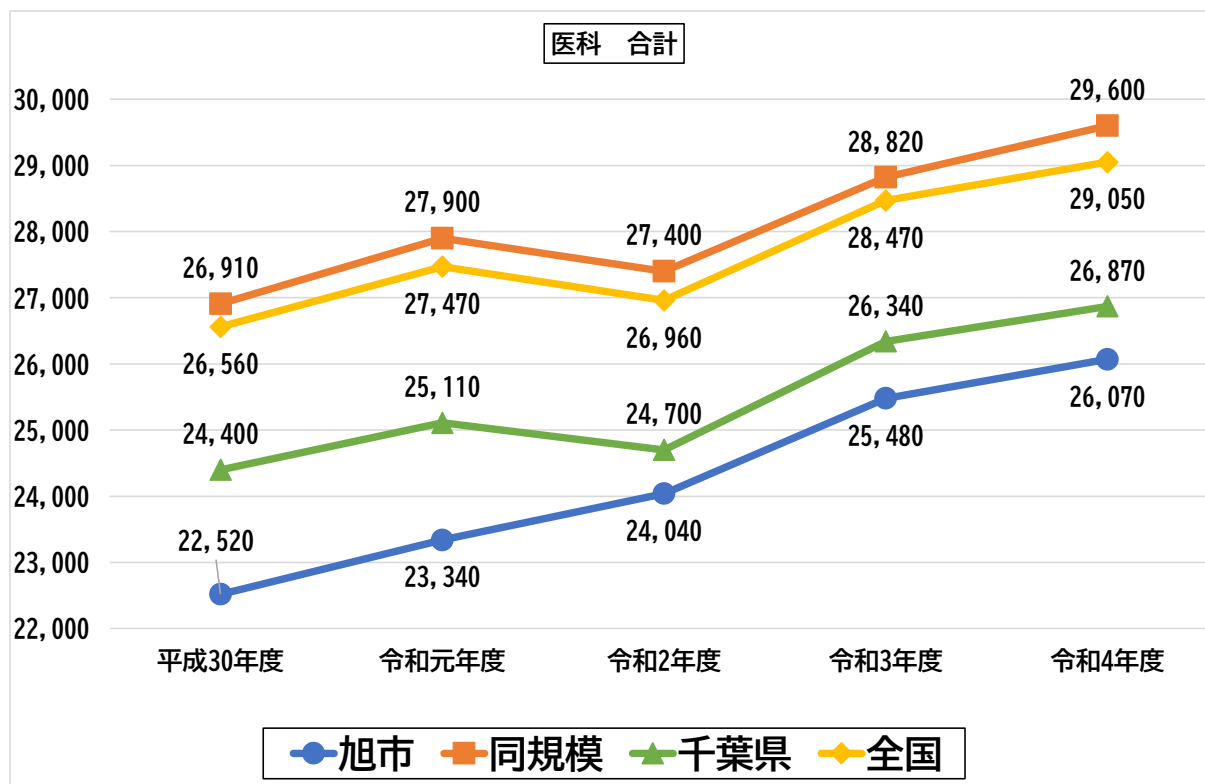


図 13 被保険者一人当たり月平均医療費の比較（医科合計）

単位：円

※KDB データ 「地域の全体像の把握」（各年度(累計)）より

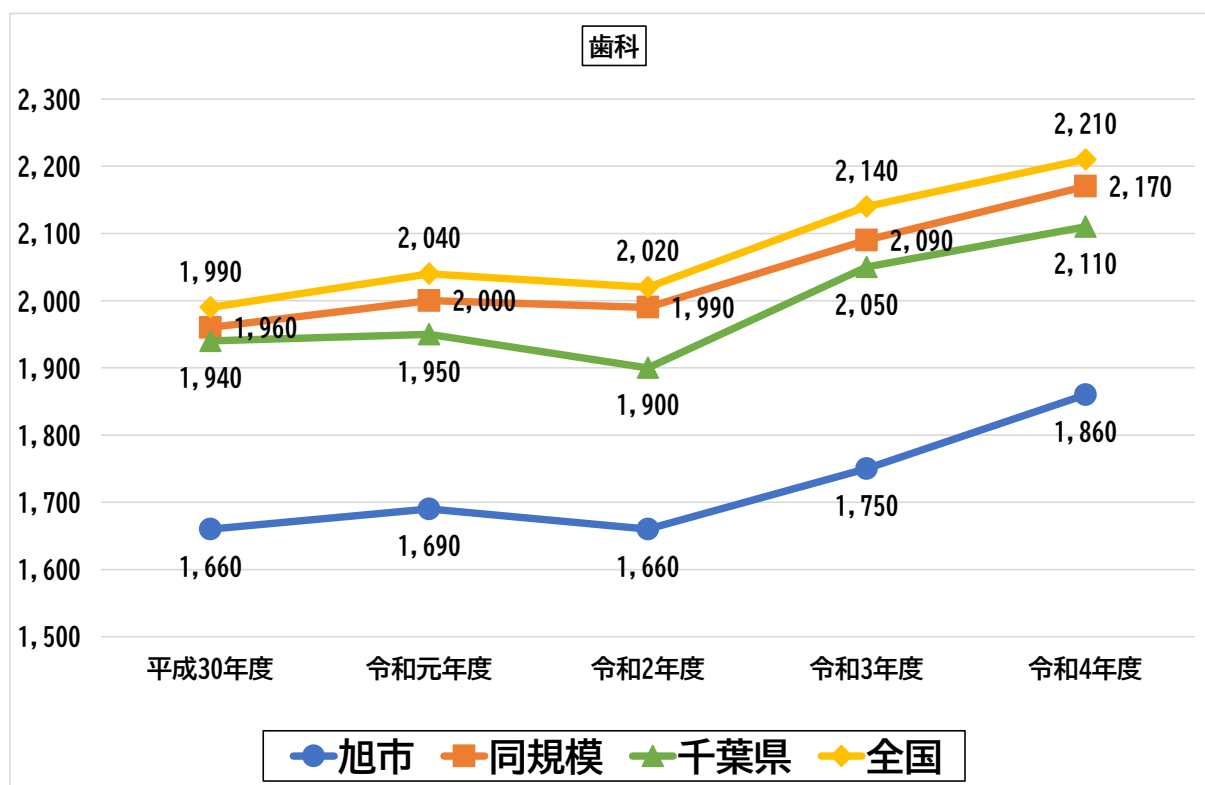


図 14 被保険者一人当たり月平均医療費の比較（歯科）

単位：円

※KDB データ 「地域の全体像の把握」（各年度(累計)）より

#### (4) 年齢階層別医療費

旭市の年齢階層別総額医療費を平成30年度と比較すると、年度により増減はありますが、令和4年度は、50～54歳が1億2,135万2,170円、70～74歳が3億8,586万2,210円増加しています。

また、令和4年度の年齢階層別一人当たり医療費を千葉県と比較すると、45～49歳が27万円、50～54歳が37万6,000円と千葉県を大幅に上回り、全年齢の一人当たり医療費は旭市32万2,000円、千葉県33万1,000円となっています。45～49歳から20万円を超え、50～54歳で30万円台、65～69歳から40万円台と、年代が上がるにしたがい医療費が増加する傾向にあります。

表14 年齢階層別総額医療費（医科）の経年変化

単位：円

| 年齢区分                 | 平成30年度        | 令和元年度         | 令和2年度         | 令和3年度         | 令和4年度         |
|----------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 0～4歳                 | 96,269,560    | 102,550,710   | 64,929,320    | 73,905,950    | 55,328,010    |
| 5～9歳                 | 54,505,150    | 39,057,940    | 32,618,130    | 33,213,730    | 34,363,230    |
| 10～14歳               | 57,054,120    | 56,060,450    | 50,227,100    | 42,756,100    | 47,145,460    |
| 15～19歳               | 43,558,660    | 42,929,810    | 46,785,720    | 56,375,430    | 45,703,100    |
| 20～24歳               | 38,484,620    | 37,380,970    | 31,302,260    | 40,319,540    | 40,093,730    |
| 25～29歳               | 54,646,840    | 44,134,580    | 34,308,810    | 40,254,220    | 38,690,370    |
| 30～34歳               | 105,271,530   | 90,696,950    | 66,567,750    | 81,775,110    | 72,001,750    |
| 35～39歳               | 128,632,210   | 135,364,180   | 129,644,410   | 143,473,750   | 132,996,940   |
| 特定<br>健診<br>対象<br>年齢 | 40～44歳        | 148,325,620   | 158,387,780   | 149,837,680   | 157,659,660   |
|                      | 45～49歳        | 275,999,950   | 272,419,730   | 249,023,130   | 261,556,250   |
|                      | 50～54歳        | 308,639,420   | 299,373,810   | 372,117,980   | 429,991,590   |
|                      | 55～59歳        | 428,888,990   | 424,333,480   | 453,109,680   | 359,810,040   |
|                      | 60～64歳        | 898,619,650   | 779,725,470   | 778,911,720   | 762,288,890   |
|                      | 65～69歳        | 1,430,279,210 | 1,469,084,320 | 1,325,590,530 | 1,297,269,200 |
|                      | 70～74歳        | 1,588,916,270 | 1,672,381,580 | 1,839,720,700 | 2,033,767,330 |
| 合計                   | 5,658,091,800 | 5,623,881,760 | 5,627,140,590 | 5,792,872,140 | 5,671,590,880 |

※KDB データ「疾病別医療費分析（大分類）」（各年度(累計)）より

※表中の「赤抜き」部分は、年齢階層別に各年度比較の中で高い金額を示しています。

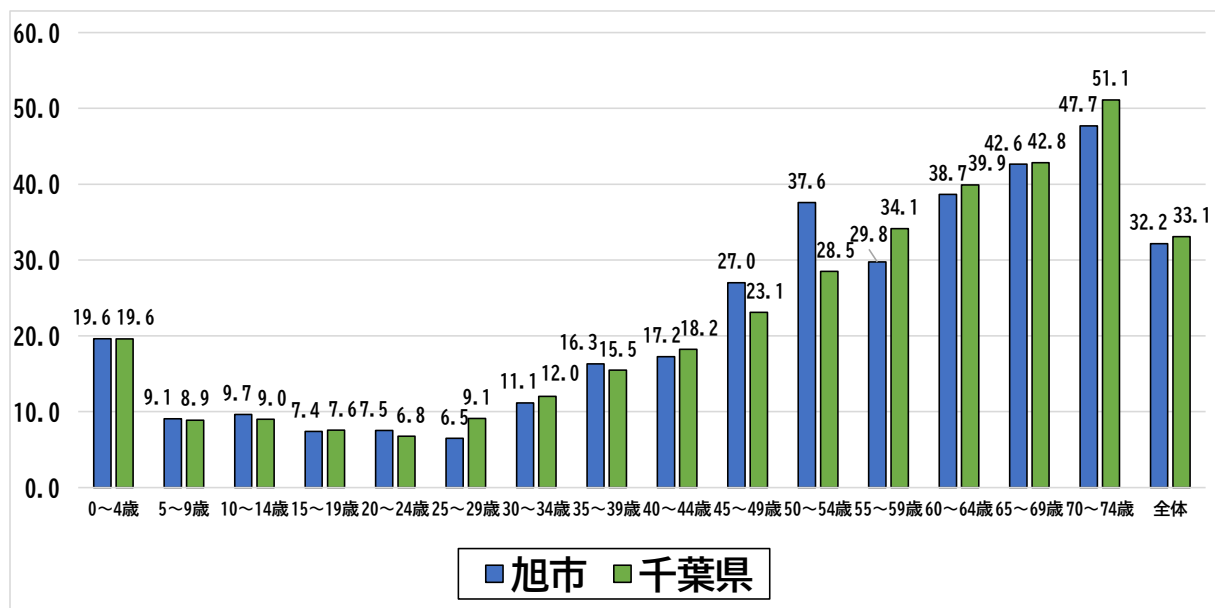


図 15 年齢階層別一人当たり医療費の比較（令和 4 年度）

単位：万円

※KDB データ 「疾病別医療費分析（大分類）」（令和 4 年度）より



# (5) 疾病分類別医療費（医科）

旭市の令和4年度疾病分類別医療費における入院の内訳割合は、循環器系の疾患が22.0%、精神及び行動の障害が14.5%、新生物＜腫瘍＞が13.7%を占めており、外来における医療費割合は、新生物＜腫瘍＞が18.2%、内分泌、栄養及び代謝疾患が14.2%、循環器系の疾患が12.0%、尿路性器系の疾患が11.1%の順で高い割合になっています。

旭市の令和4年度の疾病分類別医療費の総額の割合は、循環器系の疾患が16.0%で千葉県に比べ2.1ポイント高く、精神及び行動の障害が8.9%で千葉県より1.4ポイント高くなっていますが、他の上位10疾病分類の医療費総額に占める割合は、いずれも千葉県より低くなっています。

表 15 疾病分類別医療費（医科）

単位：百万円・%

| 大分類別疾患                  | 旭市              |                 |       |       | 同規模   |           | 千葉県   |         | 全国    |           |
|-------------------------|-----------------|-----------------|-------|-------|-------|-----------|-------|---------|-------|-----------|
|                         | 入院<br>医療費<br>割合 | 外来<br>医療費<br>割合 | 医療費総額 |       | 医療費総額 |           | 医療費総額 |         | 医療費総額 |           |
|                         |                 |                 | 割合    | 医療費   | 割合    | 医療費       | 割合    | 医療費     | 割合    | 医療費       |
| 1 新生物＜腫瘍＞               | 13.7            | 18.2            | 16.4  | 930   | 17.1  | 216,560   | 16.9  | 69,165  | 16.9  | 1,481,781 |
| 2 循環器系の疾患               | 22.0            | 12.0            | 16.0  | 905   | 13.9  | 175,360   | 13.9  | 56,970  | 13.6  | 1,196,953 |
| 3 尿路性器系の疾患              | 5.9             | 11.1            | 9.0   | 513   | 7.8   | 99,130    | 9.3   | 38,045  | 8.0   | 703,812   |
| 4 内分泌、栄養及び代謝疾患          | 0.9             | 14.2            | 8.9   | 506   | 9.4   | 118,537   | 9.1   | 37,190  | 9.0   | 792,808   |
| 5 精神及び行動の障害             | 14.5            | 5.2             | 8.9   | 505   | 8.1   | 102,249   | 7.5   | 30,447  | 7.9   | 696,761   |
| 6 筋骨格系及び結合組織の疾患         | 7.8             | 8.9             | 8.5   | 481   | 8.8   | 110,858   | 8.8   | 36,093  | 8.8   | 770,138   |
| 7 消化器系の疾患               | 6.1             | 5.5             | 5.8   | 327   | 6.0   | 76,038    | 6.2   | 25,376  | 6.1   | 533,695   |
| 8 呼吸器系の疾患               | 5.7             | 5.1             | 5.4   | 303   | 5.7   | 72,302    | 5.6   | 22,913  | 6.0   | 523,535   |
| 9 神経系の疾患                | 5.9             | 4.0             | 4.7   | 268   | 6.3   | 79,123    | 5.7   | 23,355  | 6.3   | 551,174   |
| 10 眼及び付属器の疾患            | 1.2             | 4.8             | 3.4   | 192   | 4.0   | 50,816    | 4.0   | 16,407  | 4.0   | 353,350   |
| 11 感染症及び寄生虫症            | 1.4             | 2.3             | 2.0   | 112   | 1.6   | 19,718    | 1.7   | 6,950   | 1.7   | 149,307   |
| 12 皮膚及び皮下組織の疾患          | 0.9             | 2.4             | 1.8   | 100   | 1.9   | 24,523    | 1.9   | 7,917   | 2.1   | 186,176   |
| 13 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 0.7             | 0.6             | 0.6   | 37    | 1.3   | 15,822    | 1.2   | 4,900   | 1.2   | 109,309   |
| 14 耳及び乳様突起の疾患           | 0.2             | 0.4             | 0.3   | 18    | 0.4   | 5,455     | 0.4   | 1,670   | 0.4   | 37,353    |
| 15 周産期に発生した病態           | 0.6             | 0.0             | 0.2   | 14    | 0.1   | 1,400     | 0.1   | 499     | 0.1   | 10,996    |
| 16 妊娠、分娩及び産じょく          | 0.5             | 0.0             | 0.2   | 12    | 0.2   | 2,022     | 0.2   | 733     | 0.2   | 15,908    |
| 17 先天奇形、変形及び染色体異常       | 0.3             | 0.2             | 0.2   | 12    | 0.2   | 2,641     | 0.2   | 780     | 0.2   | 19,258    |
| 18 その他（上記以外のもの）         | 11.7            | 5.0             | 7.7   | 435   | 7.4   | 93,121    | 7.1   | 29,060  | 7.5   | 659,783   |
| 総医療費                    | 100.0           | 100.0           | 100.0 | 5,672 | 100.0 | 1,265,674 | 100.0 | 348,650 | 100.0 | 8,792,096 |

※KDB データ 「疾病別医療費分析（大分類）」（令和4年度）より

※同規模…医療費は、人口同規模市の合計

※表中の「赤抜き」部分は、比較の中で高い割合を示しています。

旭市の令和４年度の疾病分類別の一人当たり医療費を同規模、千葉県、全国と比較すると、循環器系の疾患が高くなっています。

表 16 疾病分類（大分類）別一人当たり医療費の比較

単位：円

|                      | 旭市     | 同規模    | 千葉県    | 全国     |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|
| 新生物＜腫瘍＞              | 52,753 | 62,368 | 56,062 | 60,087 |
| 循環器系の疾患              | 51,320 | 50,503 | 46,177 | 48,537 |
| 尿路性器系の疾患             | 29,093 | 28,549 | 30,838 | 28,540 |
| 内分泌、栄養及び代謝疾患         | 28,687 | 34,138 | 30,145 | 32,149 |
| 精神及び行動の障害            | 28,630 | 29,447 | 24,678 | 28,254 |
| 筋骨格系及び結合組織の疾患        | 27,295 | 31,926 | 29,255 | 31,230 |
| 消化器系の疾患              | 18,560 | 21,898 | 20,568 | 21,642 |
| 呼吸器系の疾患              | 17,209 | 20,822 | 18,572 | 21,230 |
| 神経系の疾患               | 15,177 | 22,787 | 18,931 | 22,350 |
| 眼及び付属器の疾患            | 10,874 | 14,635 | 13,299 | 14,329 |
| 感染症及び寄生虫症            | 6,362  | 5,679  | 5,633  | 6,054  |
| 皮膚及び皮下組織の疾患          | 5,686  | 7,062  | 6,417  | 7,550  |
| 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | 2,082  | 4,557  | 3,972  | 4,433  |
| 耳及び乳様突起の疾患           | 1,023  | 1,571  | 1,354  | 1,515  |
| 周産期に発生した病態           | 789    | 403    | 404    | 446    |
| 妊娠、分娩及び産じょく          | 709    | 582    | 594    | 645    |
| 先天奇形、変形及び染色体異常       | 683    | 761    | 632    | 781    |
| その他（上記以外のもの）         | 24,696 | 26,818 | 23,554 | 26,755 |

※KDB データ 「疾病別医療費分析（大分類）」（令和４年度）より

※表中の「赤抜き」部分は、比較の中で高い医療費を示しています。



旭市の主な疾病分類別の一人当たり医療費の経年比較は、同規模、千葉県、全国に比べ全体的に低い金額で推移していますが、令和4年度は、循環器系疾患と精神疾患が千葉県より高くなっています。平成30年度に比べ令和4年度は、新生物＜腫瘍＞が11,000円、循環器系の疾患が7,000円、尿路性器系の疾患が5,000円、内分泌、栄養及び代謝疾患が3,000円、精神及び行動の障害が6,000円、それぞれ高くなっています。

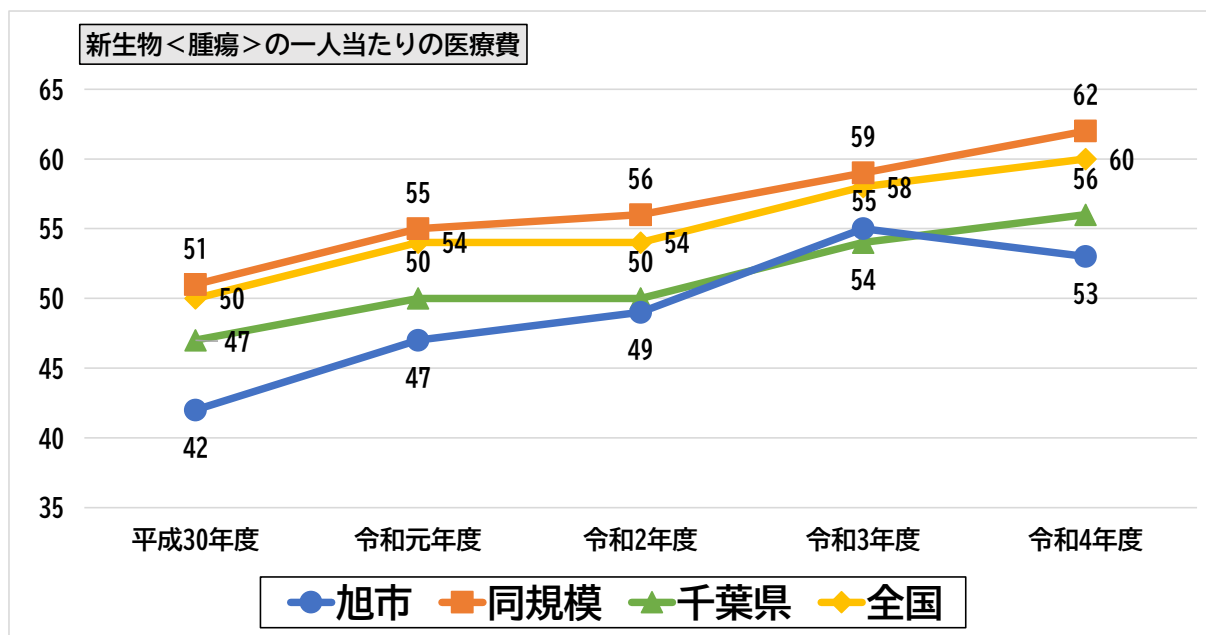


図16 新生物＜腫瘍＞の一人当たりの医療費

単位：千円

※KDB データ 「疾病別医療費分析（大分類）」（各年度）より

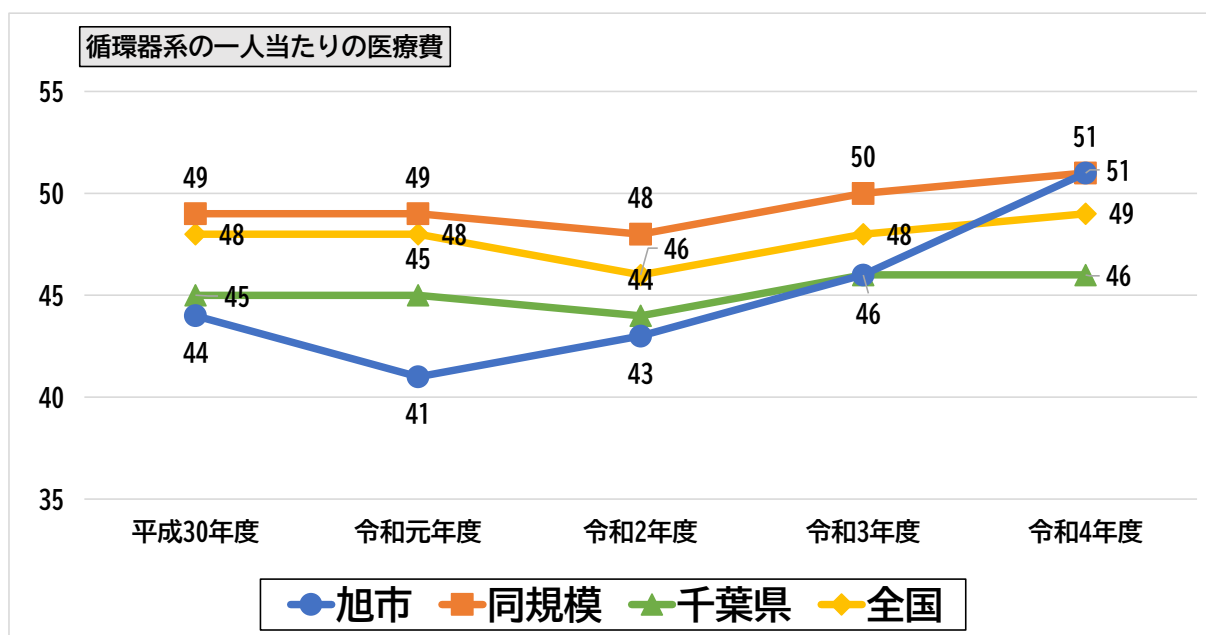


図17 循環器系の疾患の一人当たりの医療費

単位：千円

※KDB データ 「疾病別医療費分析（大分類）」（各年度）より

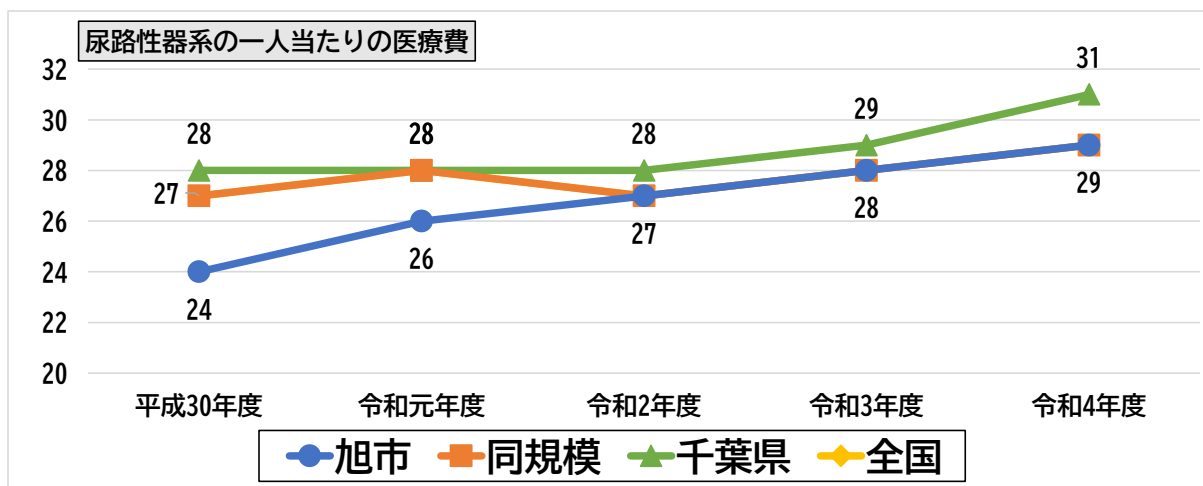


図 18 尿路性器系の疾患の一人当たりの医療費

単位：千円

※KDB データ 「疾病別医療費分析（大分類）」（各年度）より

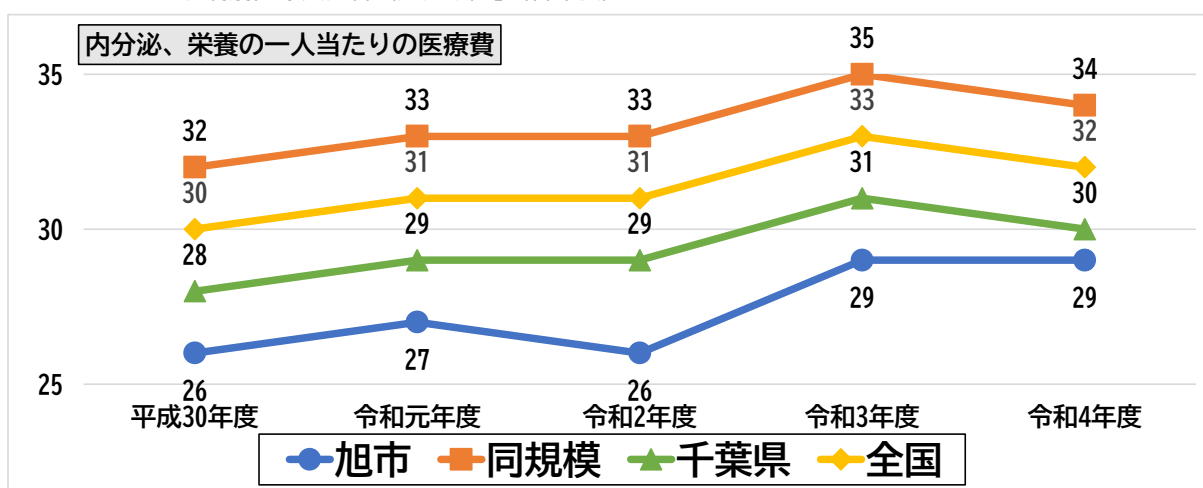


図 19 内分泌、栄養及び代謝疾患の一人当たりの医療費

単位：千円

※KDB データ 「疾病別医療費分析（大分類）」（各年度）より

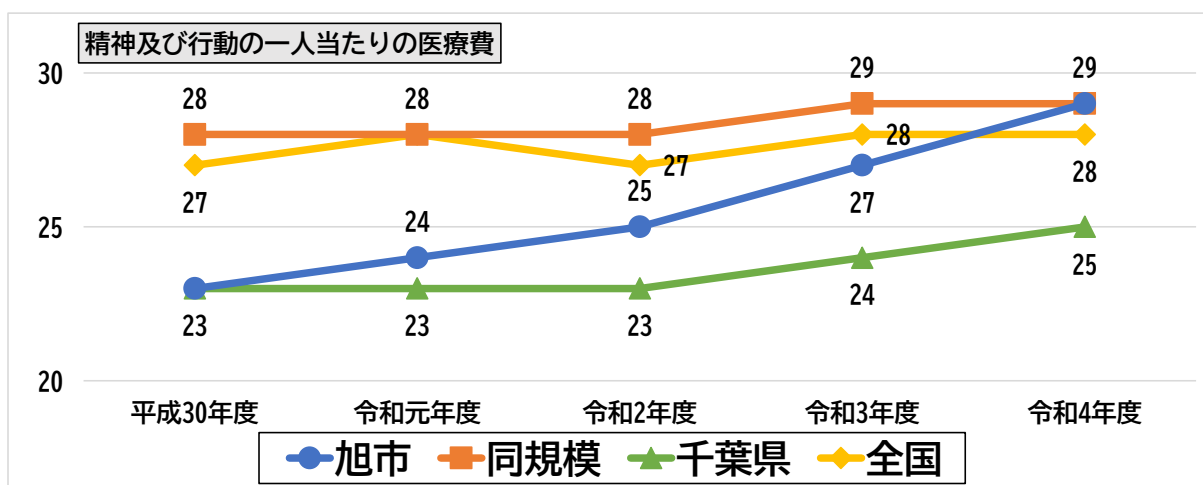


図 20 精神及び行動の障害の一人当たりの医療費

単位：千円

※KDB データ 「疾病別医療費分析（大分類）」（各年度）より

## (6) 高額医療費

令和4年5月診療分の高額レセプト医療費（30万円以上）の割合は、「腎不全」が16.2%と高く、次に「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」10.8%、「その他の悪性新生物＜腫瘍＞」5.9%、「その他の神経系の疾患」5.1%と続きます。

平成30年5月診療分と比較すると「気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞」が720万円高く、以下「骨折」が471万円、「その他の神経系の疾患」が403万円、「乳房の悪性新生物＜腫瘍＞」が304万円、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が253万円、「その他の呼吸器系の疾患」が183万円、それぞれ高くなっています。

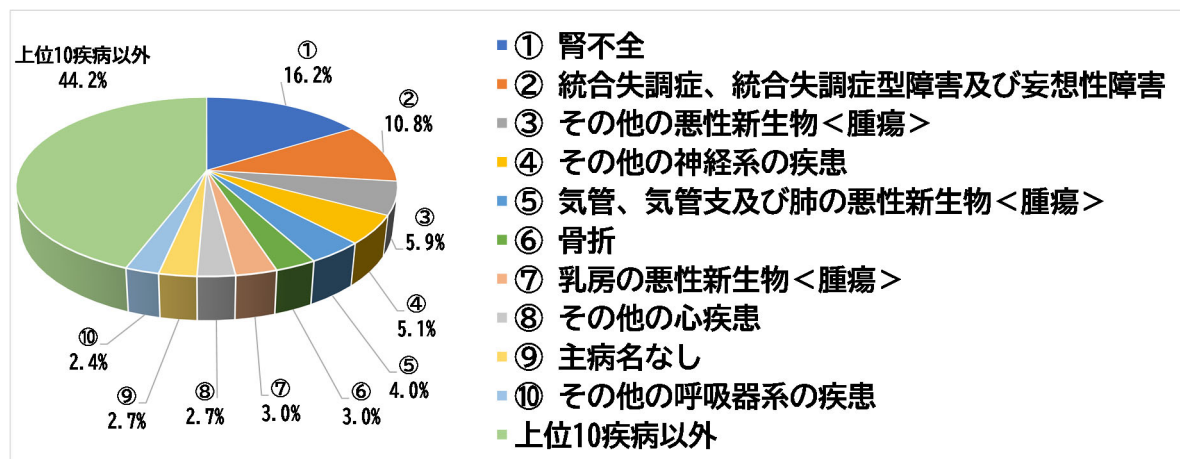


図21 高額レセプト（30万円以上）の疾病別件数割合

単位：％

※KDB データ「厚生労働省様式（様式1-1）基準額以上となったレセプト一覧」（令和4年5月診療分）より

表17 高額レセプト1件あたり医療費(30万円以上)

単位：件・円

|   | 主病名                   | 平成30年5月診療分 |             |                | 令和4年5月診療分 |             |                |
|---|-----------------------|------------|-------------|----------------|-----------|-------------|----------------|
|   |                       | 高額レセプト件数   | 高額レセプト医療費   | 高額レセプト1件当たり医療費 | 高額レセプト件数  | 高額レセプト医療費   | 高額レセプト1件当たり医療費 |
| ① | 腎不全                   | 65         | 31,399,210  | 483,065        | 60        | 27,406,980  | 456,783        |
| ② | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 | 35         | 13,514,740  | 386,135        | 40        | 16,039,840  | 400,996        |
| ③ | その他の悪性新生物＜腫瘍＞         | 27         | 18,752,870  | 694,551        | 22        | 14,557,800  | 661,718        |
| ④ | その他の神経系の疾患            | 12         | 4,639,910   | 386,659        | 19        | 8,667,780   | 456,199        |
| ⑤ | 気管、気管支及び肺の悪性新生物＜腫瘍＞   | 9          | 6,095,230   | 677,248        | 15        | 13,298,490  | 886,566        |
| ⑥ | 骨折                    | 6          | 4,485,410   | 747,568        | 11        | 9,191,480   | 835,589        |
| ⑦ | 乳房の悪性新生物＜腫瘍＞          | 6          | 2,990,250   | 498,375        | 11        | 6,034,490   | 548,590        |
| ⑧ | その他の心疾患               | 14         | 21,696,920  | 1,549,780      | 10        | 11,974,000  | 1,197,400      |
| ⑨ | 主病名なし                 | 9          | 4,382,200   | 486,911        | 10        | 5,154,590   | 515,459        |
| ⑩ | その他の呼吸器系の疾患           | 5          | 4,769,100   | 953,820        | 9         | 6,601,280   | 733,476        |
|   | 上位10疾病以外              | 158        | 121,210,240 | 767,153        | 164       | 131,193,110 | 799,958        |
|   | 合計                    | 346        | 233,936,080 | 676,116        | 371       | 250,119,840 | 674,177        |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式1-1）基準額以上となったレセプト一覧」

（平成30年5月診療分・令和4年5月診療分）より

※表中の「赤抜き」部分は平成30年5月診療分より増加している部分です。

令和4年度の月80万円以上の医療費の内訳をみると、「がん」が29.0%と多く、次いで「虚血性心疾患」「脳血管疾患」の順となっています。

年代別では、40歳代から「脳血管疾患」「虚血性心疾患」で高額医療費が発生しています。

表18 高額レセプト1件あたり医療費（80万円以上）の年間分析

| 対象レセプト            |          | 全体       |        | 脳血管疾患  |       | 虚血性心疾患 |       | がん       |       | その他      |       |
|-------------------|----------|----------|--------|--------|-------|--------|-------|----------|-------|----------|-------|
| 高額になる疾患（80万円以上レセ） | 延べ<br>人数 | 374人     |        | 19 人   |       | 30 人   |       | 111 人    |       | 214 人    |       |
|                   |          |          |        | 5.1%   |       | 8.0%   |       | 29.7%    |       | 57.2%    |       |
|                   | 件数       | 542件     |        | 27 件   |       | 33 件   |       | 175 件    |       | 307 件    |       |
|                   |          |          |        | 5.0%   |       | 6.1%   |       | 32.3%    |       | 56.6%    |       |
|                   |          | 年代別      | 40歳未満  | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0%  | 4        | 2.3%  | 25       | 8.1%  |
|                   |          |          | 40歳代   | 2      | 7.4%  | 2      | 6.1%  | 16       | 9.1%  | 22       | 7.2%  |
|                   |          |          | 50歳代   | 3      | 11.1% | 5      | 15.2% | 14       | 8.0%  | 44       | 14.3% |
|                   |          |          | 60歳代   | 7      | 25.9% | 11     | 33.3% | 57       | 32.6% | 107      | 34.9% |
|                   |          |          | 70～74歳 | 15     | 55.6% | 15     | 45.5% | 84       | 48.0% | 109      | 35.5% |
|                   | 費用<br>額  | 7億7392万円 |        | 3637万円 |       | 5532万円 |       | 2億2428万円 |       | 4億5795万円 |       |
| 4.7%              |          |          |        | 7.1%   |       | 29.0%  |       | 59.2%    |       |          |       |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式1-1）基準額以上となったレセプト一覧」（令和4年4月から令和5年3月診療分）より

※最大医療資源傷病名（主病）で計上

## （7）長期入院の医療費

令和4年5月診療分の長期入院者（6か月以上入院）の割合は、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が32.4%、「その他の神経系の疾患」13.1%が多い状況です。生活習慣病関連の疾患では、「胃の悪性新生物＜腫瘍＞」が1.2%となっています。

令和4年5月診療分の長期入院者数は、平成30年5月と比較すると8件多く、医療費は903万円増額しており、1件当たり医療費も64,781円増額しています。

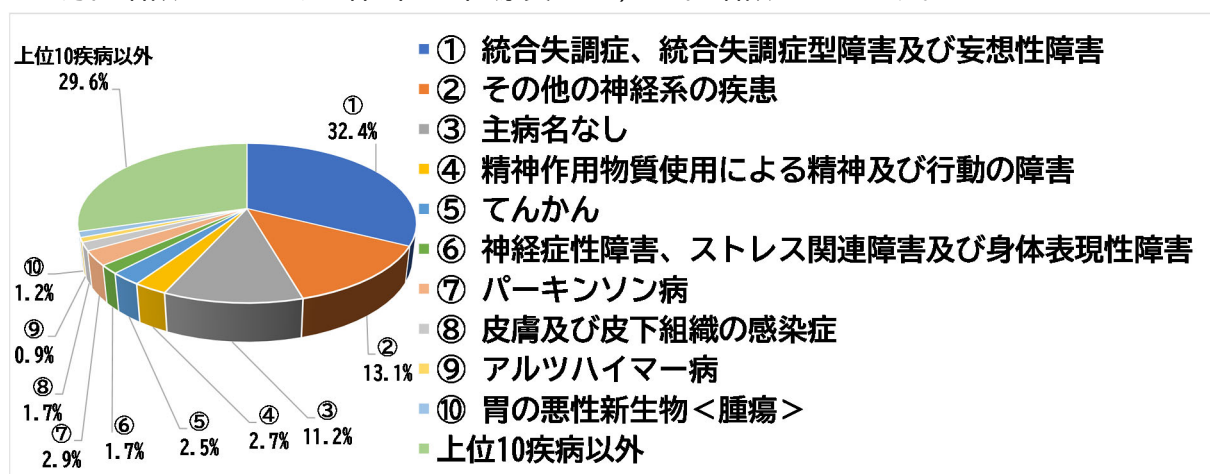


図22 長期入院レセプトの疾病別件数割合

単位：%

※KDB データ「厚生労働省様式（様式2-1）6ヶ月以上入院しているレセプトの一覧」（令和4年5月診療分）より

表 19 長期入院レセプト 1 件あたり医療費の平均額

単位：件・円

|   | 主病名                      | 平成30年5月診療分         |                 |          | 令和4年5月診療分          |                 |          |
|---|--------------------------|--------------------|-----------------|----------|--------------------|-----------------|----------|
|   |                          | 長期入院<br>レセプト<br>件数 | 長期入院レセプト<br>医療費 | 1件当たり医療費 | 長期入院<br>レセプト<br>件数 | 長期入院レセプト<br>医療費 | 1件当たり医療費 |
| ① | 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害    | 34                 | 12,372,800      | 363,906  | 35                 | 13,784,250      | 393,836  |
| ② | その他の神経系の疾患               | 12                 | 4,639,910       | 386,659  | 14                 | 5,582,320       | 398,737  |
| ③ | 主病名なし                    | 10                 | 4,655,630       | 465,563  | 9                  | 4,768,040       | 529,782  |
| ④ | 精神作用物質使用による精神及び行動の障害     | 1                  | 364,840         | 364,840  | 3                  | 1,155,490       | 385,163  |
| ⑤ | てんかん                     | 3                  | 1,056,890       | 352,297  | 3                  | 1,078,170       | 359,390  |
| ⑥ | 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 | —                  | —               | —        | 2                  | 732,620         | 366,310  |
| ⑦ | パーキンソン病                  | —                  | —               | —        | 2                  | 1,252,900       | 626,450  |
| ⑧ | 皮膚及び皮下組織の感染症             | —                  | —               | —        | 1                  | 707,700         | 707,700  |
| ⑨ | アルツハイマー病                 | 2                  | 671,590         | 335,795  | 1                  | 385,980         | 385,980  |
| ⑩ | 胃の悪性新生物＜腫瘍＞              | —                  | —               | —        | 1                  | 495,200         | 495,200  |
|   | 上位10疾病以外                 | 17                 | 9,735,340       | 572,667  | 16                 | 12,582,410      | 786,401  |
|   | 合計                       | 79                 | 33,497,000      | 424,013  | 87                 | 42,525,080      | 488,794  |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 2-1）6 ヶ月以上入院しているレセプトの一覧」

（平成 30 年 5 月診療分・令和 4 年 5 月診療分）より

※表中の「赤抜き」部分は平成 30 年 5 月診療分より、増加している部分です。

※長期入院は 6 か月以上

令和 4 年度の長期入院の内訳をみると、入院人数の約半数を「精神疾患」が占めていますが、「脳血管疾患」「虚血性心疾患」の入院人数を合わせると 13.9%となっており、入院費用についても合わせて 12.3%を占めています。

表 20 長期入院レセプトの年間分析

| 対象レセプト             |     | 全体       | 精神疾患     | 脳血管疾患  | 虚血性心疾患 |
|--------------------|-----|----------|----------|--------|--------|
| 長期入院<br>(6か月以上の入院) | 人数  | 108人     | 56人      | 8人     | 7人     |
|                    |     |          | 51.9%    | 7.4%   | 6.5%   |
|                    | 件数  | 956件     | 476件     | 64件    | 41件    |
|                    |     |          | 49.8%    | 6.7%   | 4.3%   |
|                    | 費用額 | 4億3429万円 | 1億8176万円 | 3693万円 | 1665万円 |
|                    |     |          | 41.9%    | 8.5%   | 3.8%   |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 2-1）6 ヶ月以上入院しているレセプトの一覧」（令和 4 年 4 月から令和 5 年 3 月診療分）より

※精神疾患については最大医療資源傷病名（主病）で計上

※脳血管疾患・虚血性心疾患は併発症の欄から抽出（重複あり）

## 7. 特定健康診査及び特定保健指導の状況

### (1) 特定健康診査

旭市の令和4年度の特定健康診査受診率は49.3%となっており、同規模、千葉県、全国  
の受診率と比較すると、いずれも上回っています。

表 21 特定健康診査受診率比較

単位：人・％

|          | 旭市     | 同規模       | 千葉県     | 全国         |
|----------|--------|-----------|---------|------------|
| 特定健診対象者数 | 12,186 | 2,468,082 | 839,906 | 16,907,199 |
| 特定健診受診者数 | 6,007  | 1,003,586 | 319,221 | 6,315,537  |
| 受診率      | 49.3   | 40.7      | 38.0    | 37.4       |

※KDB データ「地域の全体像の把握」（令和4年度）より

※同規模…対象者数・受診者数は、人口同規模市の合計

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」の数値とは異なる場合があります。

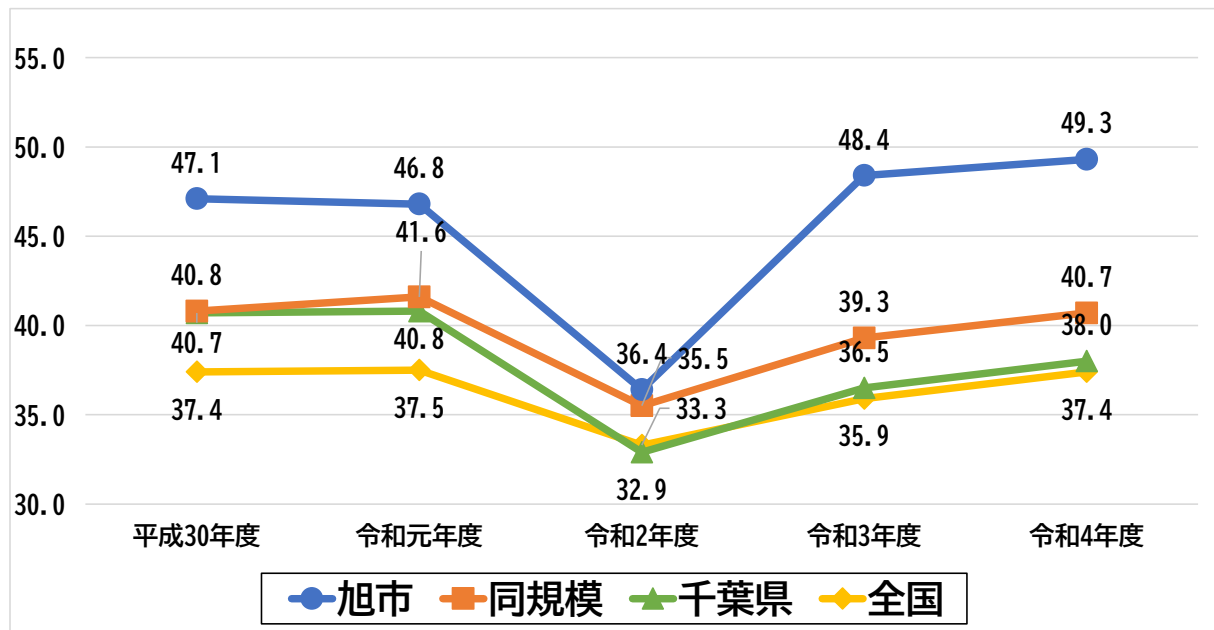


図 23 特定健康診査受診率の比較

単位：％

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

旭市の特定健康診査対象者数は、被保険者数の減少とともに減少傾向にあるため、受診者数も減少傾向で推移しています。受診率はコロナ禍にあった令和2年度に減少しましたが、令和3年度は増加し、令和4年度は受診率49.3%と平成30年度と比較すると1.9ポイント増加しています。

特定健康診査の受診率は、男性も女性も4割を超えています。令和4年度の受診率は、男性44.5%に対して女性54.3%と女性の受診率が9.8ポイント高くなっています。

表 22 特定健康診査受診者数と受診率の推移

単位：人・％

|          |    | 平成30年度 | 令和元年度  | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度  |
|----------|----|--------|--------|--------|--------|--------|
| 特定健診対象者数 | 男性 | 7,221  | 7,030  | 6,930  | 6,701  | 6,178  |
|          | 女性 | 6,887  | 6,666  | 6,622  | 6,413  | 5,982  |
|          | 全体 | 14,108 | 13,696 | 13,552 | 13,114 | 12,160 |
| 特定健診受診者数 | 男性 | 3,037  | 2,966  | 2,284  | 2,936  | 2,749  |
|          | 女性 | 3,649  | 3,484  | 2,680  | 3,429  | 3,249  |
|          | 全体 | 6,686  | 6,450  | 4,964  | 6,365  | 5,998  |
| 受診率      | 男性 | 42.1%  | 42.2%  | 33.0%  | 43.8%  | 44.5%  |
|          | 女性 | 53.0%  | 52.3%  | 40.5%  | 53.5%  | 54.3%  |
|          | 全体 | 47.4%  | 47.1%  | 36.6%  | 48.5%  | 49.3%  |

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

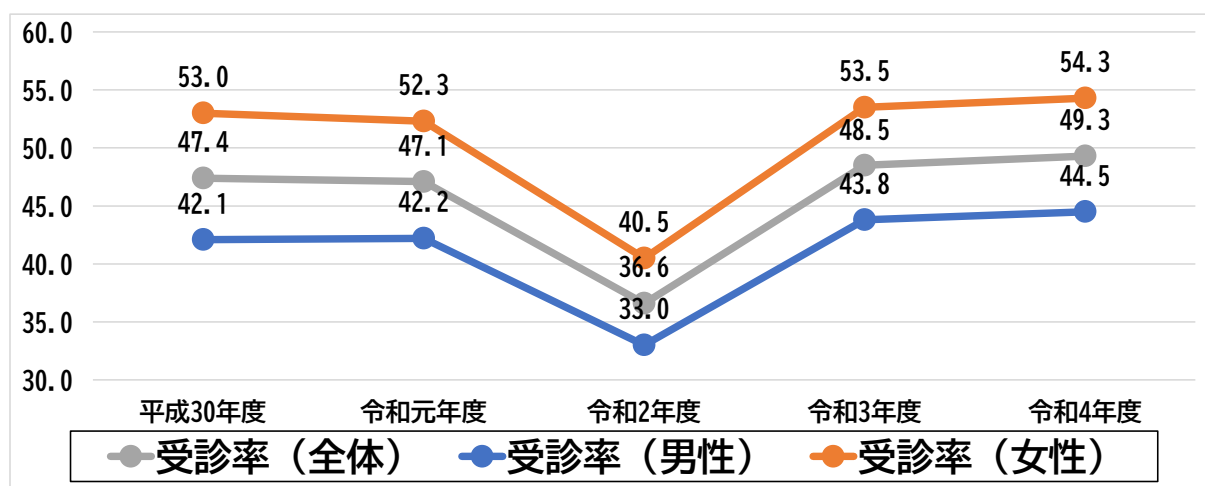


図 24 特定健康診査受診率の推移（全体、性別）

単位：％

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

特定健康診査の年齢階層別の受診率は、各年度とも 70～74 歳、65～69 歳、60～64 歳と年代が若くなるにつれ受診率が低下しています。

表 23 年齢階層別特定健康診査受診率

単位：人・％

|        | 平成30年度 |       |      | 令和元年度 |       |      | 令和2年度 |       |      | 令和3年度 |       |      | 令和4年度 |       |      |
|--------|--------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|
|        | 対象者    | 受診者数  | 受診率  | 対象者   | 受診者数  | 受診率  | 対象者   | 受診者数  | 受診率  | 対象者   | 受診者数  | 受診率  | 対象者   | 受診者数  | 受診率  |
| 40歳代   | 2,065  | 663   | 32.1 | 1,953 | 624   | 32.0 | 1,876 | 386   | 20.6 | 1,834 | 617   | 33.6 | 1,629 | 514   | 31.6 |
| 50歳代   | 2,470  | 923   | 37.4 | 2,359 | 883   | 37.4 | 2,256 | 633   | 28.1 | 2,207 | 917   | 41.5 | 2,110 | 870   | 41.2 |
| 60～64歳 | 2,229  | 982   | 44.1 | 2,016 | 881   | 43.7 | 1,849 | 621   | 33.6 | 1,734 | 808   | 46.6 | 1,575 | 776   | 49.3 |
| 65～69歳 | 3,778  | 2,093 | 55.4 | 3,545 | 1,925 | 54.3 | 3,363 | 1,417 | 42.1 | 3,136 | 1,645 | 52.5 | 2,910 | 1,551 | 53.3 |
| 70～74歳 | 3,566  | 2,025 | 56.8 | 3,823 | 2,137 | 55.9 | 4,208 | 1,907 | 45.3 | 4,203 | 2,378 | 56.6 | 3,936 | 2,287 | 58.1 |

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より



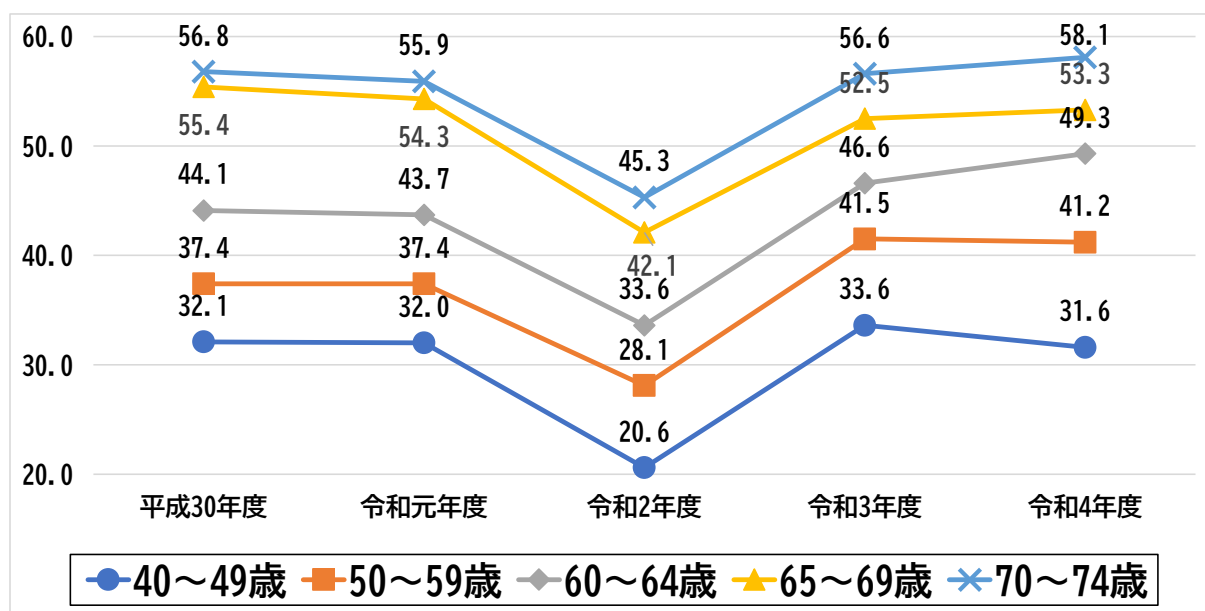


図 25 年齢階層別特定健康診査受診率の推移

単位：％

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

令和4年度の年齢階層別特定健康診査受診率について、男性は40～49歳が28.5%、50～59歳が39.3%、60歳～64歳から40%を超え、70～74歳は54.2%と高い受診率になっています。女性は40～49歳が35.9%、50～59歳が43.3%、60～64歳から50%を超え、70～74歳は61.9%と高い受診率になっています。男女ともに40歳代、50歳代の受診率が低くなっています。

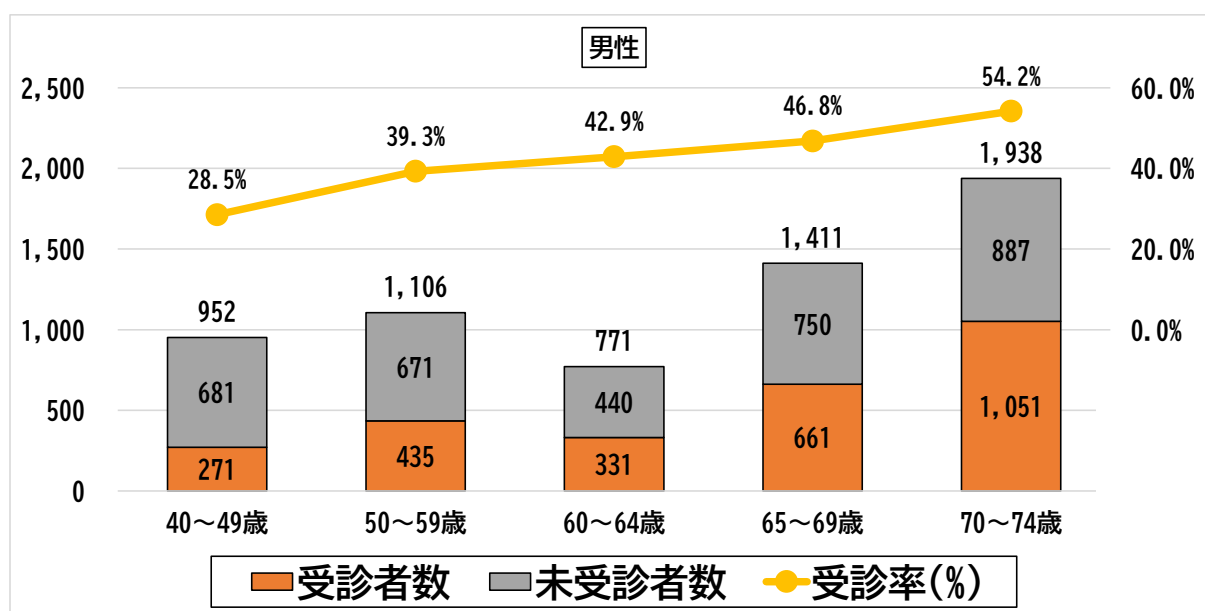


図 26 令和4年度年齢階層別受診者数と受診率(男性)

単位：人・％

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（令和4年度）より



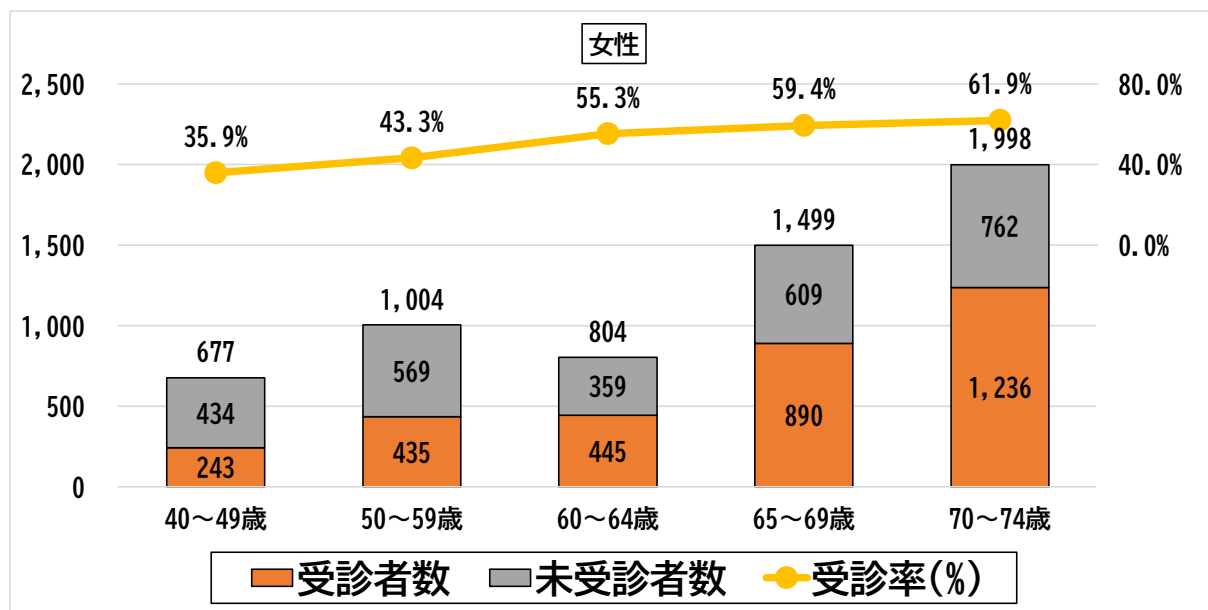


図 27 令和 4 年度年齢階層別受診者数と受診率(女性)

単位：人・%

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（令和 4 年度）より

年代別の特定健康診査受診回数をみると、年代が上がるとともに受診回数が増加する傾向にあります。このため、若年層の受診回数をいかにして増加させていくかが課題です。

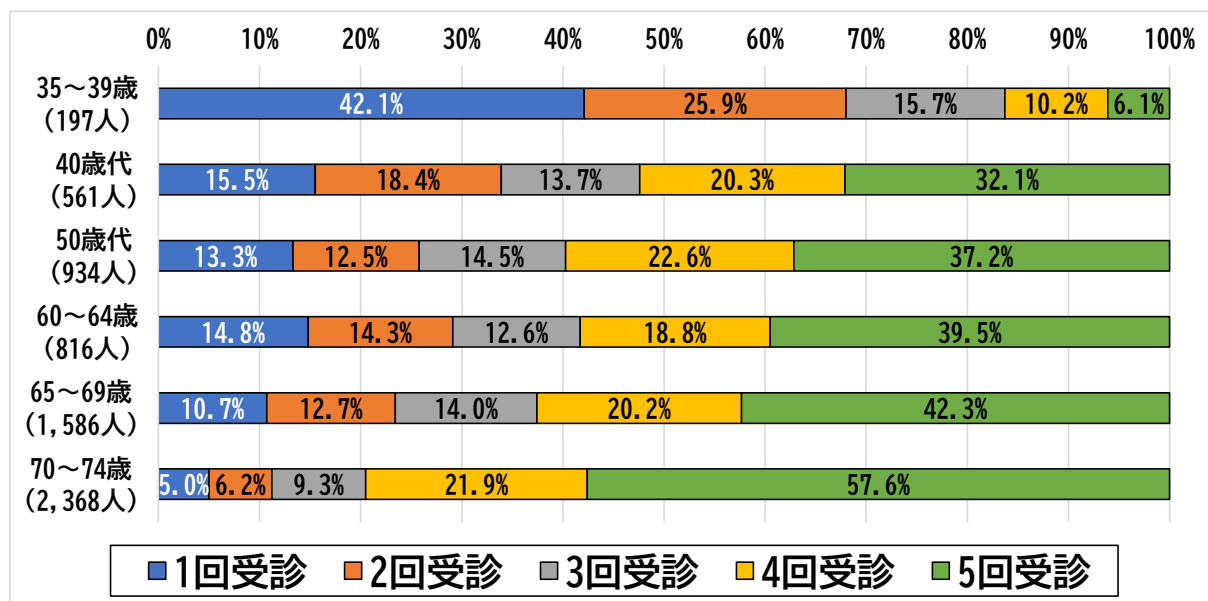


図 28 令和 4 年度における年代別受診回数の比較

単位：%

※旭市健康管理システム「特定健診受診者名簿」（令和 4 年度）より

※令和 4 年度受診者の、個人ごとの特定健診受診回数を集計した。

特定健康診査新規受診者数は、各年代とも、平成 30 年度以降増減を繰り返しています。令和 4 年度の特定健康診査受診者に占める新規受診者割合を平成 30 年度と比較すると、各年代とも減少しています。

表 24 特定健康診査新規受診者数の経年比較

単位：人

|        | 平成30年度 |       | 令和元年度  |       | 令和2年度  |       | 令和3年度  |       | 令和4年度  |       |
|--------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|
|        | 新規受診者数 | 受診者数  | 新規受診者数 | 受診者数  | 新規受診者数 | 受診者数  | 新規受診者数 | 受診者数  | 新規受診者数 | 受診者数  |
| 35～39歳 | 126    | 238   | 85     | 204   | 66     | 160   | 95     | 202   | 83     | 197   |
| 40歳代   | 160    | 702   | 138    | 684   | 90     | 435   | 156    | 666   | 82     | 561   |
| 50歳代   | 174    | 969   | 113    | 926   | 85     | 664   | 184    | 971   | 117    | 934   |
| 60～64歳 | 212    | 1,031 | 134    | 925   | 90     | 660   | 173    | 850   | 114    | 816   |
| 65～69歳 | 268    | 2,167 | 150    | 1,958 | 159    | 1,472 | 210    | 1,688 | 161    | 1,586 |
| 70～74歳 | 233    | 2,310 | 121    | 2,397 | 88     | 1,959 | 169    | 2,452 | 110    | 2,368 |

※旭市健康管理システム「特定健診受診者名簿」（各年度）より

※平成 29 年度以降初めて受診結果が記録された人を新規受診者とした。

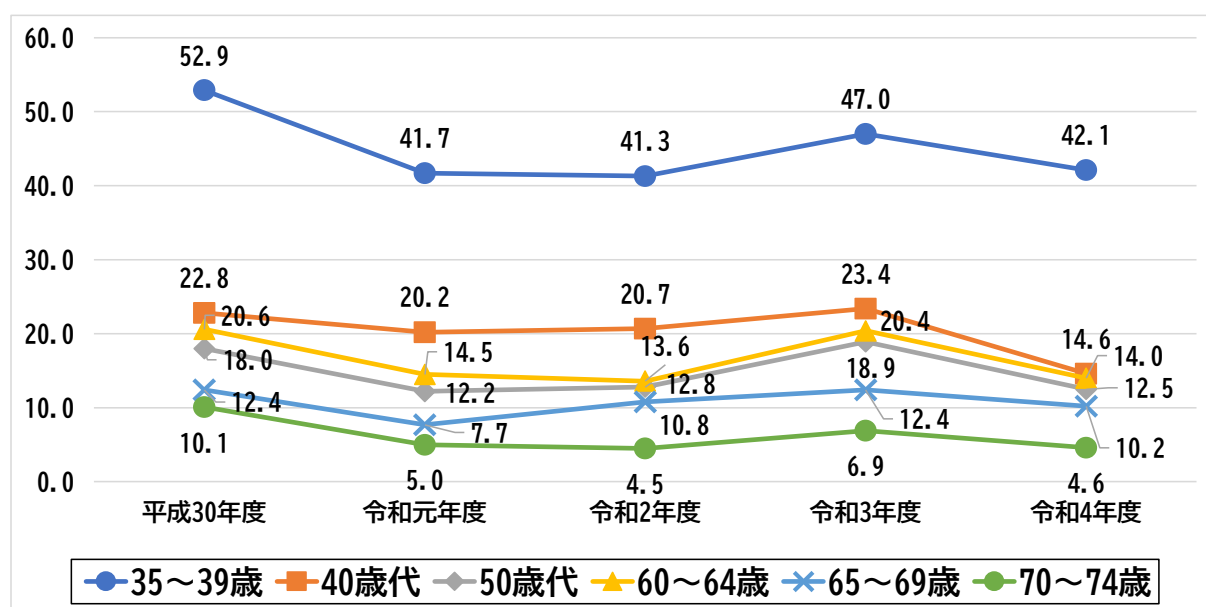


図 29 特定健康診査新規受診者割合の経年比較

単位：%

※旭市健康管理システム「特定健診受診者名簿」（各年度）より

旭市において特定健康診査新規受診者は、同規模、千葉県、全国との比較において、低い状況にあります。令和 2 年度はコロナ禍にあり、集団健康診査の実施を中止したこともあり、減少したものと考えられますが、令和 3 年度に特定健康診査受診率向上対策を復活させ

たことにより、前年度より 4.5 ポイント上昇しました。しかし、令和 4 年度は減少し、新規受診率 7.5%に留まっています。

表 25 特定健康診査新規受診者の比較

単位：人・％

|     | 平成30年度  |      | 令和元年度   |      | 令和2年度   |      | 令和3年度   |      | 令和4年度   |      |
|-----|---------|------|---------|------|---------|------|---------|------|---------|------|
|     | 人数      | 率    | 人数      | 率    | 人数      | 率    | 人数      | 率    | 人数      | 率    |
| 旭市  | 454     | 6.8  | 425     | 6.6  | 301     | 6.1  | 677     | 10.6 | 449     | 7.5  |
| 同規模 | 138,161 | 11.8 | 134,103 | 11.7 | 104,773 | 10.8 | 124,217 | 12.0 | 120,011 | 12.0 |
| 千葉県 | 48,209  | 12.2 | 44,754  | 11.7 | 32,421  | 10.6 | 39,735  | 12.1 | 39,834  | 12.5 |
| 全国  | 933,472 | 13.0 | 869,971 | 12.4 | 745,769 | 12.0 | 829,346 | 12.8 | 817,106 | 12.9 |

※KDB データ 「地域の全体像の把握」（各年度）より

※同規模…同規模市町村の合計数

※平成 24 年度以降初めて受診結果が記録された人を新規受診者とした。

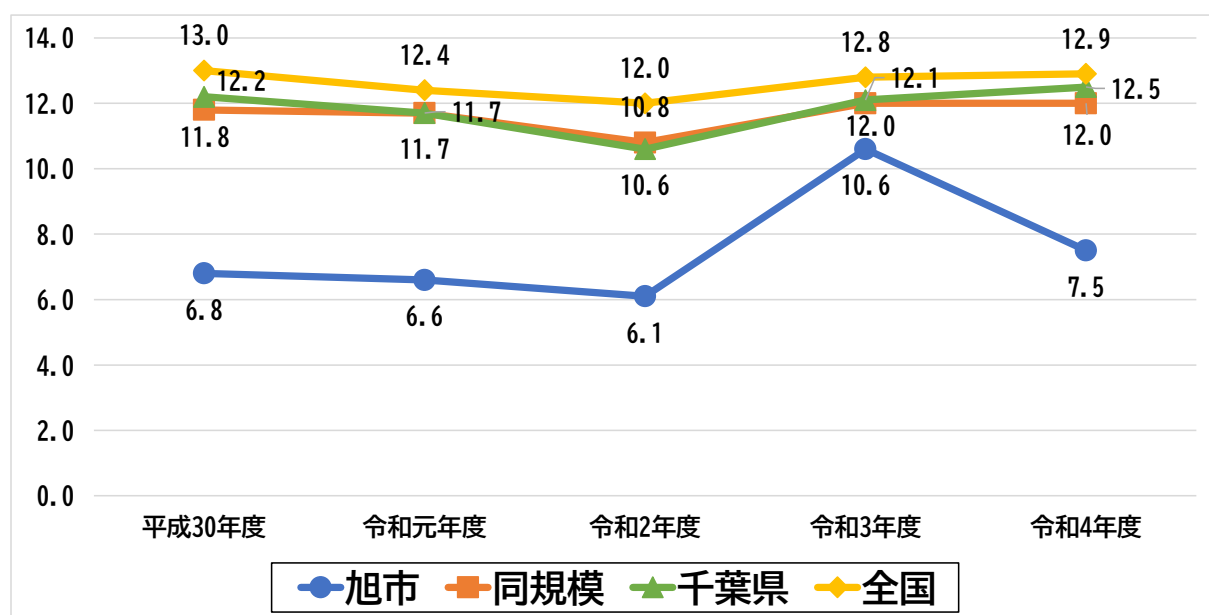


図 30 特定健康診査新規受診者の比較

単位：％

※KDB データ 「地域の全体像の把握」（各年度）より

※同規模…同規模市町村の合計数

#### 【令和 5 年度特定健康診査受診率向上対策】

令和 5 年度に受診勧奨通知を発送した 8,402 人の内訳は、過去 3 年連続受診している人が 490 人、過去 3 年間不定期に受診している人が 2,713 人、受診歴のない人が 5,199 人となっています。

受診通知発送者について、令和 5 年度特定健康診査の受診状況（9 月末現在）をみると、過去 4 年連続受診している人の受診率は 85.7%、不定期に受診している人の受診率は 59.1%、受診歴がない人の受診率は 6.2%となっており、受診歴がない人の受診率が極めて低くなっています。

性別の受診状況をみると、受診勧奨通知発送者のうちの受診者は、男性が23.7%の1,050人、女性が32.6%の1,295人で、男性の受診率が女性を8.9ポイント下回っているため、男性の受診率向上を図ることが課題です。

表 26 受診勧奨通知発送者の令和5年度特定健康診査受診状況 単位：人・%

| 受診勧奨通知発送者                              | 令和5年度特定健診 |       |       |       |       |       |
|----------------------------------------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                                        | 合計        | 割合    | 受診者   | 割合    | 未受診者  | 割合    |
| 合計                                     | 8,402     | 100%  | 2,345 | 27.9% | 6,057 | 72.1% |
| 過去3年連続受診している人<br>(R2～R4に特定健診を受診)       | 490       | 5.8%  | 420   | 85.7% | 70    | 14.3% |
| 不定期に受診している人<br>(R2～R4に特定健診を不定期に受診)     | 2,713     | 32.3% | 1,604 | 59.1% | 1,109 | 40.9% |
| 受診歴がない人<br>(過去に一度も健診の受診歴がない ※35～39歳含む) | 5,199     | 61.9% | 321   | 6.2%  | 4,878 | 93.8% |

※令和5年度特定健康診査受診率向上対策報告より

表 27 特定健康診査受診勧奨通知者の性別・年齢別の受診者人数と割合

単位：人・%

|    | 40～49歳 |      | 50～59歳 |      | 60～64歳 |      | 65～69歳 |      | 70～74歳 |      | 全体    |       | 未受診者  |
|----|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|-------|-------|-------|
|    | 人数     | 割合   | 人数     | 割合   | 人数     | 割合   | 人数     | 割合   | 人数     | 割合   | 人数    | 割合    | 人数    |
| 男性 | 182    | 17.3 | 267    | 25.4 | 115    | 11.0 | 214    | 20.4 | 272    | 25.9 | 1,050 | 100.0 | 3,379 |
| 女性 | 175    | 13.5 | 287    | 22.2 | 170    | 13.1 | 297    | 22.9 | 366    | 28.3 | 1,295 | 100.0 | 2,678 |
| 全体 | 357    | 15.2 | 554    | 23.6 | 285    | 12.2 | 511    | 21.8 | 638    | 27.2 | 2,345 | 100.0 | 6,057 |

※旭市健康管理システム「特定健診受診者名簿」（令和5年9月末現在）より

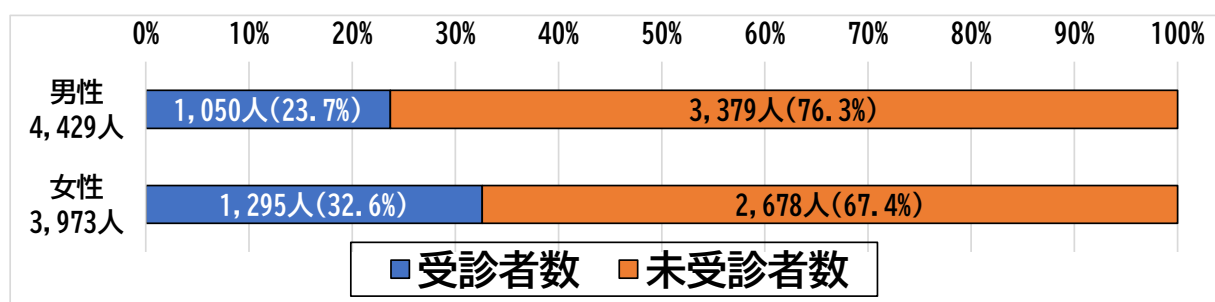


図 31 特定健康診査受診勧奨通知者の性別の受診状況

単位：人・%

※旭市健康管理システム「特定健診受診者名簿」（令和5年9月末現在）より

## (2) 特定健康診査有所見（リスク）の状況

令和4年度の特定健康診査受診者の男性の有所見者は、腹囲、ヘモグロビン A1c と収縮期血圧が 50.0%を超えています。平成30年度と比較すると GPT、HDL コレステロール、LDL コレステロール以外のほとんどの検査項目で有所見割合が増加しています。特にヘモグロビン A1c においては、4.6 ポイント増加しています。

表 28 特定健康診査有所見者の状況（男性）

単位：人・％

| 男性         | 平成30年度 |      | 令和元年度 |      | 令和2年度 |      | 令和3年度 |      | 令和4年度 |      |
|------------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
|            | 人数     | 割合   | 人数    | 割合   | 人数    | 割合   | 人数    | 割合   | 人数    | 割合   |
| BMI        | 1,131  | 37.2 | 1,118 | 37.7 | 926   | 40.5 | 1,186 | 40.3 | 1,100 | 40.0 |
| 腹囲         | 1,445  | 47.5 | 1,460 | 49.2 | 1,323 | 57.9 | 1,595 | 54.2 | 1,521 | 55.2 |
| 中性脂肪       | 894    | 29.4 | 830   | 28.0 | 675   | 29.5 | 875   | 29.8 | 843   | 30.6 |
| ALT<GPT>   | 623    | 20.5 | 594   | 20.0 | 529   | 23.2 | 692   | 23.5 | 542   | 19.7 |
| HDLコレステロール | 352    | 11.6 | 333   | 11.2 | 217   | 9.5  | 280   | 9.5  | 286   | 10.4 |
| 血糖         | 286    | 9.4  | 265   | 8.9  | 242   | 10.6 | 284   | 9.7  | 269   | 9.8  |
| ヘモグロビンA1c  | 1,602  | 52.7 | 1,690 | 57.0 | 1,357 | 59.4 | 1,745 | 59.3 | 1,577 | 57.3 |
| 尿酸         | 438    | 14.4 | 440   | 14.8 | 314   | 13.7 | 463   | 15.7 | 402   | 14.6 |
| 収縮期血圧      | 1,460  | 48.0 | 1,471 | 49.6 | 1,137 | 49.8 | 1,563 | 53.1 | 1,406 | 51.1 |
| 拡張期血圧      | 611    | 20.1 | 624   | 21.0 | 410   | 17.9 | 649   | 22.1 | 556   | 20.2 |
| LDLコレステロール | 1,308  | 43.0 | 1,290 | 43.5 | 1,007 | 44.1 | 1,334 | 45.4 | 1,131 | 41.1 |
| 血清クレアチニン   | 43     | 1.4  | 51    | 1.7  | 45    | 2.0  | 55    | 1.9  | 58    | 2.1  |
| eGFR       | 370    | 12.2 | 397   | 13.4 | 388   | 17.0 | 464   | 15.8 | 432   | 15.7 |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2）」（各年度）より

※「赤抜き」部分は令和4年度の割合が高い項目です。

※「有所見者」とは、特定健康診査検査項目の判定値（資料編 132 ページに記載）が保健指導判定値以上にあるものを示す。

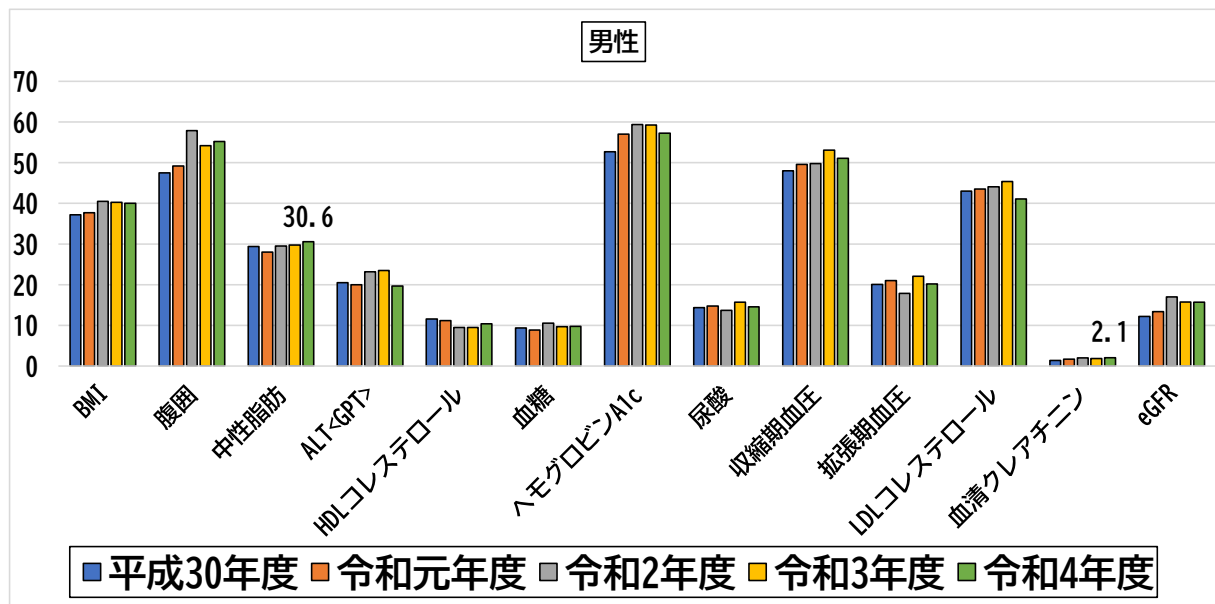


図 32 特定健康診査有所見者の状況「男性」

単位：％

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2）」（各年度）より

令和4年度の特定健康診査受診者の女性の有所見者は、ヘモグロビンA1cと収縮期血圧、LDLコレステロールの割合が高く、腹囲においては、男性より有所見者の割合が低くなっています。平成30年度と比較すると、GPT、HDLコレステロール、LDLコレステロール以外のほとんどの検査項目で有所見割合が増加しています。特にeGFR（腎機能）においては、4.5ポイント増加しています。

表 29 特定健康診査有所見者の状況（女性）

単位：人・％

| 女性         | 平成30年度 |      | 令和元年度 |      | 令和2年度 |      | 令和3年度 |      | 令和4年度 |      |
|------------|--------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
|            | 人数     | 割合   | 人数    | 割合   | 人数    | 割合   | 人数    | 割合   | 人数    | 割合   |
| BMI        | 920    | 25.2 | 892   | 25.6 | 746   | 27.8 | 924   | 26.9 | 839   | 25.8 |
| 腹囲         | 495    | 13.6 | 488   | 14.0 | 458   | 17.1 | 571   | 16.6 | 544   | 16.7 |
| 中性脂肪       | 604    | 16.5 | 567   | 16.3 | 493   | 18.4 | 635   | 18.5 | 618   | 19.0 |
| ALT<GPT>   | 297    | 8.1  | 305   | 8.7  | 250   | 9.3  | 323   | 9.4  | 263   | 8.1  |
| HDLコレステロール | 109    | 3.0  | 81    | 2.3  | 51    | 1.9  | 71    | 2.1  | 80    | 2.5  |
| 血糖         | 131    | 3.6  | 130   | 3.7  | 114   | 4.3  | 135   | 3.9  | 139   | 4.3  |
| ヘモグロビンA1c  | 1,799  | 49.3 | 1,936 | 55.5 | 1,503 | 56.1 | 1,917 | 55.8 | 1,765 | 54.2 |
| 尿酸         | 54     | 1.5  | 66    | 1.9  | 43    | 1.6  | 54    | 1.6  | 67    | 2.1  |
| 収縮期血圧      | 1,545  | 42.3 | 1,523 | 43.7 | 1,237 | 46.1 | 1,681 | 49.0 | 1,517 | 46.6 |
| 拡張期血圧      | 398    | 10.9 | 395   | 11.3 | 290   | 10.8 | 437   | 12.7 | 411   | 12.6 |
| LDLコレステロール | 1,887  | 51.7 | 1,773 | 50.8 | 1,423 | 53.1 | 1,837 | 53.5 | 1,590 | 48.9 |
| 血清クレアチニン   | 6      | 0.2  | 7     | 0.2  | 5     | 0.2  | 3     | 0.1  | 8     | 0.2  |
| eGFR       | 353    | 9.7  | 367   | 10.5 | 392   | 14.6 | 439   | 12.8 | 463   | 14.2 |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2）」（各年度）より

※「赤抜き」部分は令和4年度の割合が高い項目です。

※「有所見者」とは、特定健康診査検査項目の判定値（資料編 132 ページに記載）が保健指導判定値以上にあるものを示す。

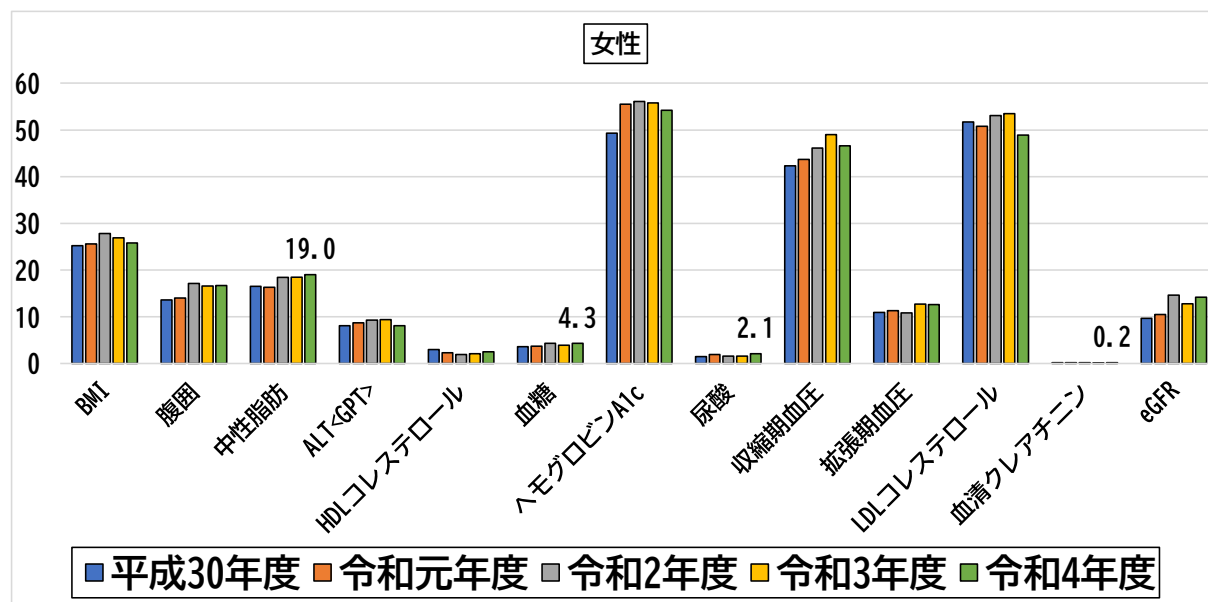


図 33 特定健康診査有所見者の状況<女性>

単位：％

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2）」（各年度）より

令和4年度特定健康診査項目別有所見者（重複含）の人数と割合を同規模、千葉県、全国と比較すると、旭市はBMIが7.7%と千葉県より3.0ポイント、「血糖・脂質」が1.3%で千葉県より0.2ポイント、「血糖・血圧・脂質」7.8%で千葉県より1.1ポイント高い割合になっています。

表30 特定健康診査項目別有所見者（重複含）の比較 単位：人・％

| 検査項目     | 旭市    |      | 同規模     |      | 千葉県     |      | 全国        |      |
|----------|-------|------|---------|------|---------|------|-----------|------|
|          | 人数    | 割合   | 人数      | 割合   | 人数      | 割合   | 人数        | 割合   |
| 腹囲       | 2,065 | 34.4 | 351,341 | 35.0 | 112,076 | 35.1 | 2,203,427 | 34.9 |
| BMI      | 464   | 7.7  | 48,524  | 4.8  | 15,058  | 4.7  | 296,800   | 4.7  |
| 血糖       | 26    | 0.4  | 6,772   | 0.7  | 2,065   | 0.6  | 39,607    | 0.6  |
| 血圧       | 430   | 7.2  | 78,231  | 7.8  | 25,243  | 7.9  | 495,004   | 7.8  |
| 脂質       | 171   | 2.8  | 25,814  | 2.6  | 8,795   | 2.8  | 164,663   | 2.6  |
| 血糖・血圧    | 138   | 2.3  | 31,471  | 3.1  | 9,243   | 2.9  | 189,740   | 3.0  |
| 血糖・脂質    | 78    | 1.3  | 10,747  | 1.1  | 3,432   | 1.1  | 65,540    | 1.0  |
| 血圧・脂質    | 601   | 10.0 | 97,332  | 9.7  | 30,948  | 9.7  | 617,462   | 9.8  |
| 血糖・血圧・脂質 | 467   | 7.8  | 69,851  | 7.0  | 21,319  | 6.7  | 427,950   | 6.8  |

※KDB データ 「地域の全体像の把握」（令和4年度）より

※同規模…人数は、人口同規模市の合計

※「赤抜き」部分は同規模、千葉県、全国より高い割合です。

### （3）問診結果について

#### 【食習慣】

令和4年度「食事習慣」の回答率比較では、旭市はすべての項目で同規模、千葉県、全国より改善が必要な回答の割合が高くなっています。中でも、「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上」が18.5%、「朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取している（毎日）」が24.3%でいずれも千葉県より3.1ポイント高くなっています。

平成30年度と比較すると、「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上」は1.9ポイント低く、「朝食を抜くことが週3回以上」は1.6ポイント高くなっています。

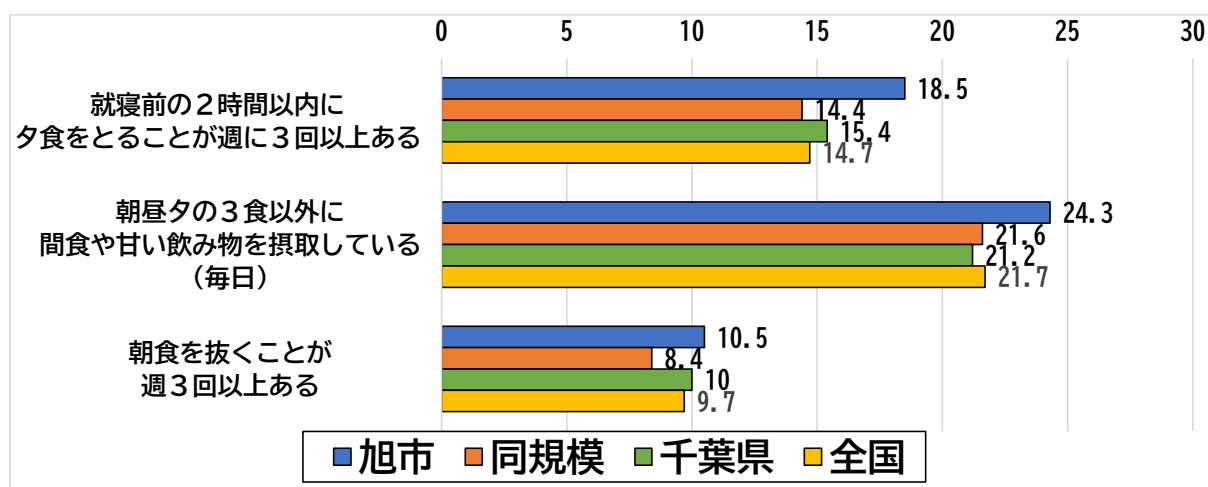


図34 「食事習慣」の回答率の比較

単位：％

※KDB データ 「地域の全体像の把握」（令和4年度）より

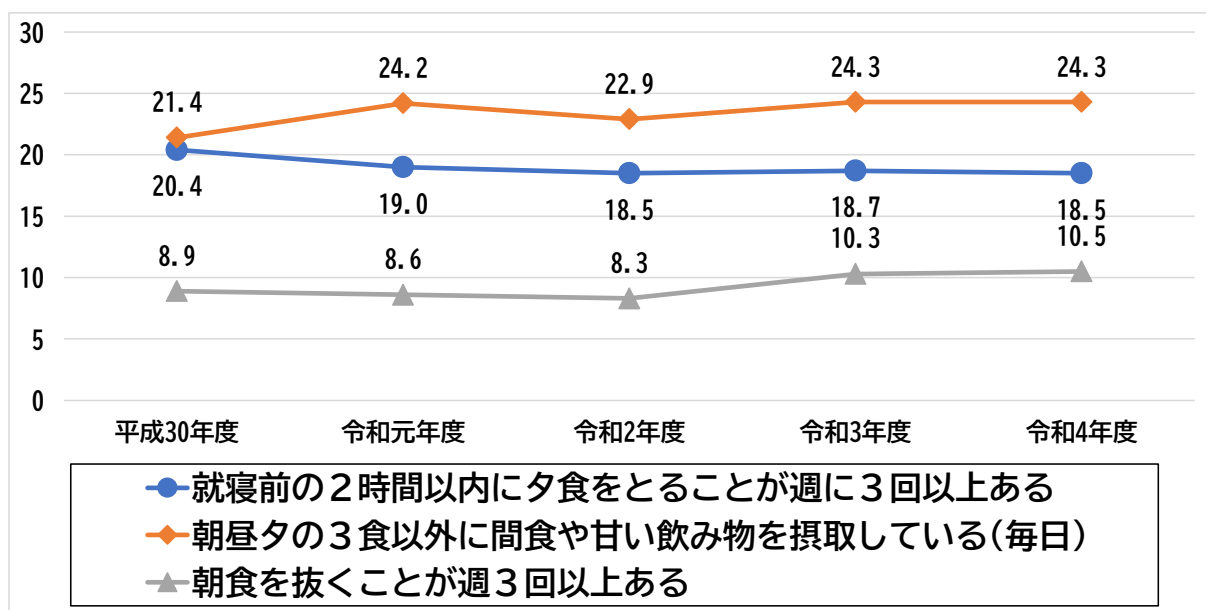


図 35 食事習慣の各年度推移

単位：％

※KDB データ 「地域の全体像の把握」(各年度) より

### 【体重増加と運動習慣】

令和 4 年度「体重増加と運動習慣」回答率比較では、旭市は「20 歳のときの体重から 10kg 以上増加」が 37.4%で、千葉県の 35.2%より 2.2 ポイント高くなっています。

さらに、運動習慣は「1 回 30 分以上の運動習慣なし」が 68.3%で千葉県より 11.6 ポイント、「1 日 1 時間以上の運動習慣なし」が 53.0%で千葉県より 8.5 ポイント、「ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が遅い」が 56.0%で千葉県より 9.0 ポイントそれぞれ高くなっています。

平成 30 年度と比較すると、「20 歳のときの体重から 10kg 以上増加」が 4.3 ポイント高く、「1 回 30 分以上の運動習慣なし」が 2.5 ポイント高くなっています。

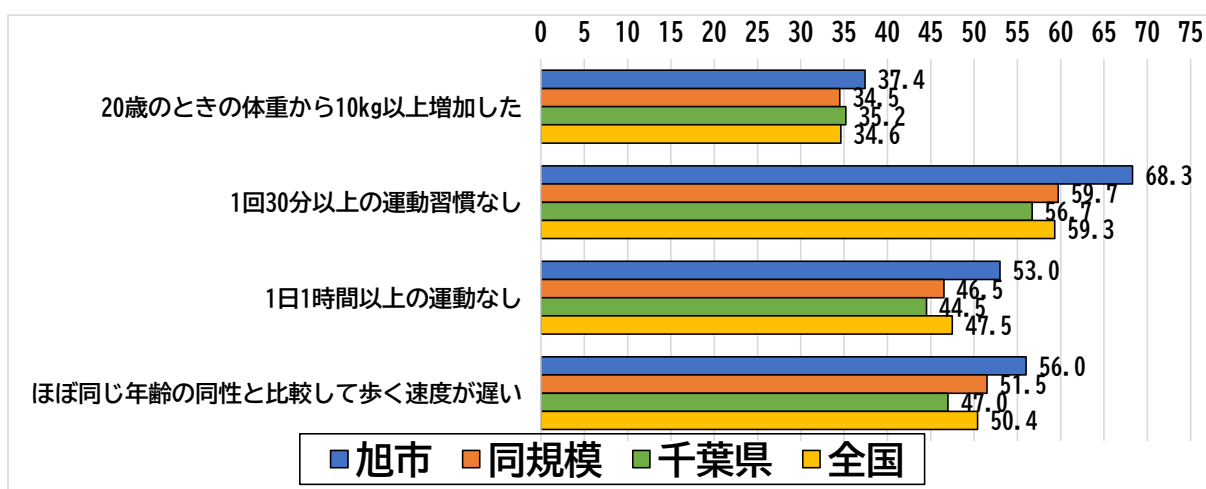


図 36 「体重増加と運動習慣」に対する回答率の比較

単位：％

※KDB データ 「地域の全体像の把握」(令和 4 年度) より



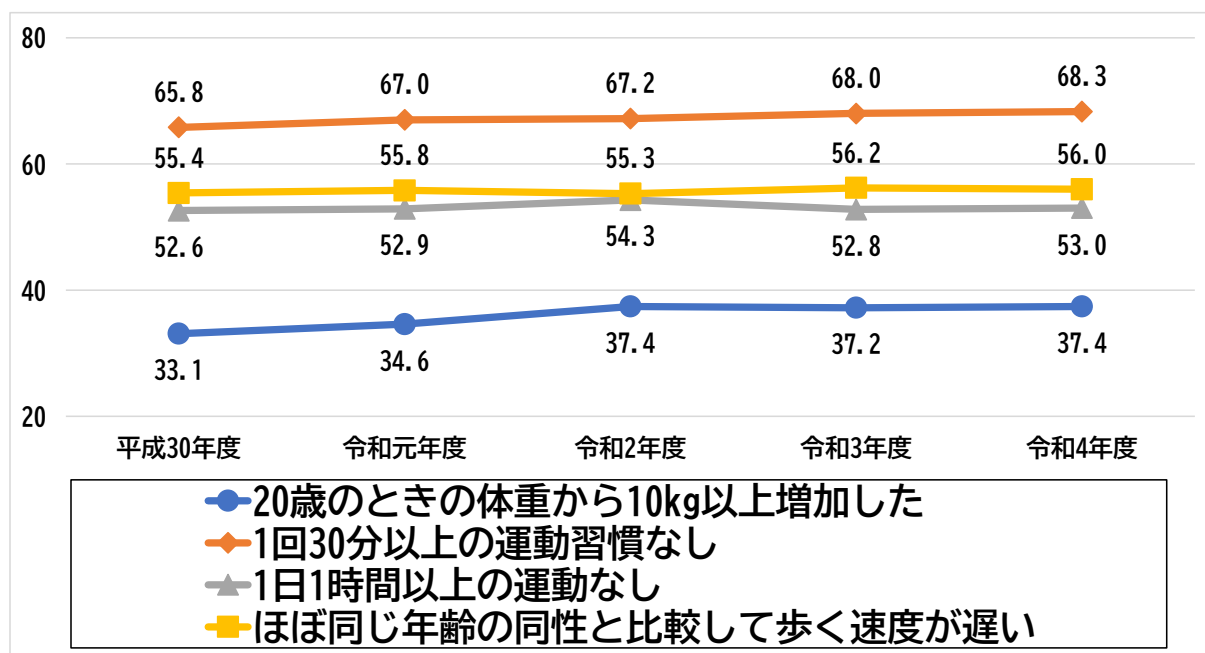


図 37 体重増加と運動習慣の各年度推移

単位：％

※KDB データ 「地域の全体像の把握」(各年度) より

### 【喫煙】

令和 4 年度「喫煙の状況」の回答率比較では、旭市は 14.3%で、平成 30 年度と比較し、0.2 ポイント高くなっています。同規模、千葉県、全国より高く、千葉県より 2.2 ポイント高くなっています。

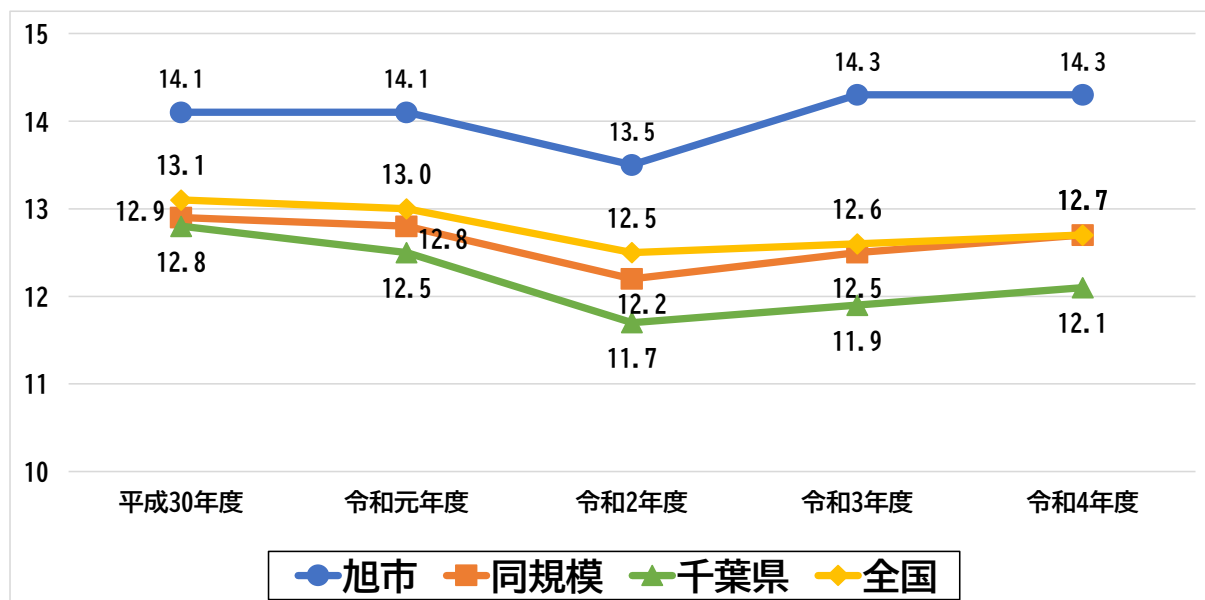


図 38 「喫煙の状況」の回答率の比較

単位：％

※KDB データ 「地域の全体像の把握」(各年度)より

## 【飲酒】

令和4年度の「飲酒の状況」の回答率比較では、旭市は「飲まない」が58.4%と同規模、千葉県、全国と比較して高く、平成30年度との比較でも「飲まない」が0.5ポイント高くなっています。

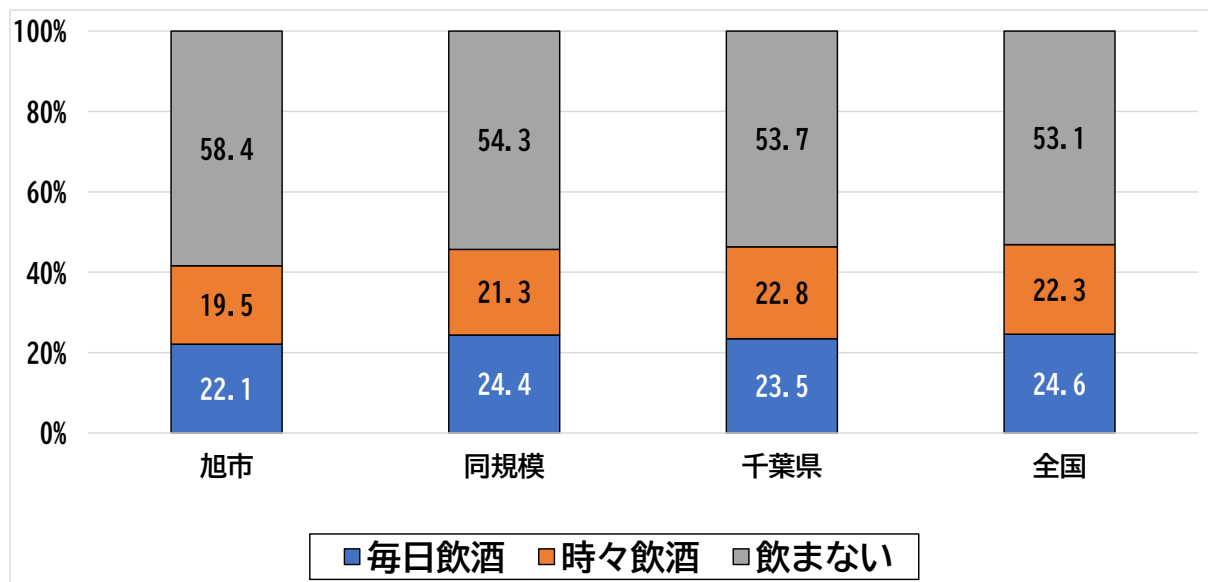


図 39 「飲酒の状況」の回答率の比較

単位：％

※KDB データ 「地域の全体像の把握」（令和4年度）より

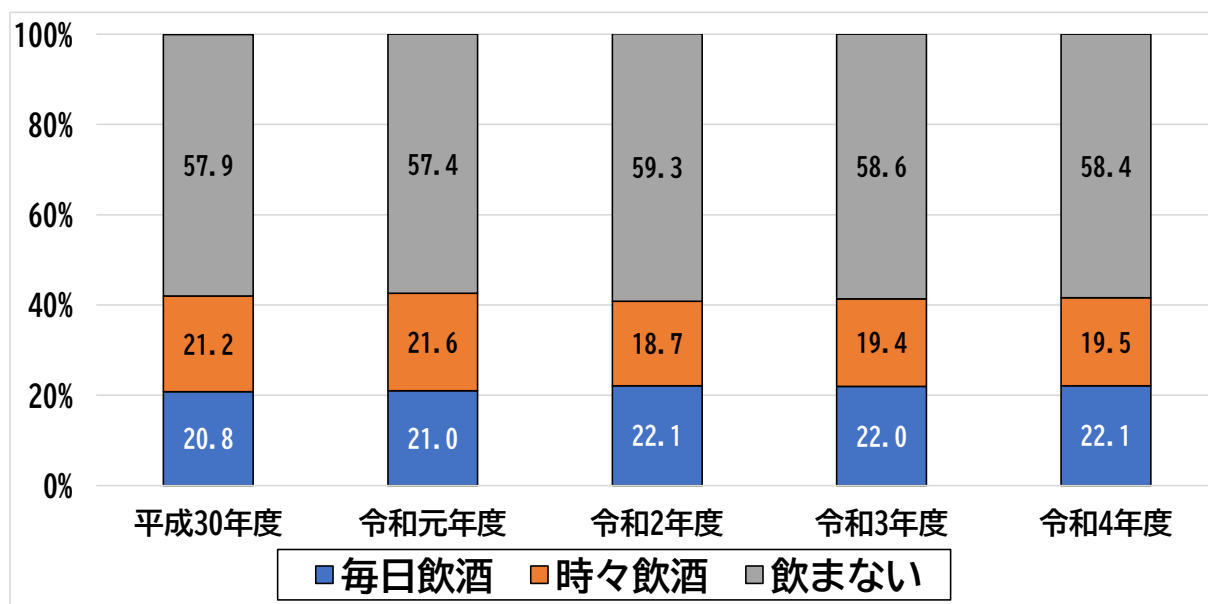


図 40 「飲酒の状況」の回答率の経年比較

単位：％

※KDB データ 「地域の全体像の把握」（各年度）より

## 【咀嚼】

各年度とも、咀嚼良好者（何でもかんで食べることができる）の割合が旭市が一番低く、令和4年度は千葉県よりも6.1ポイント低くなっています。

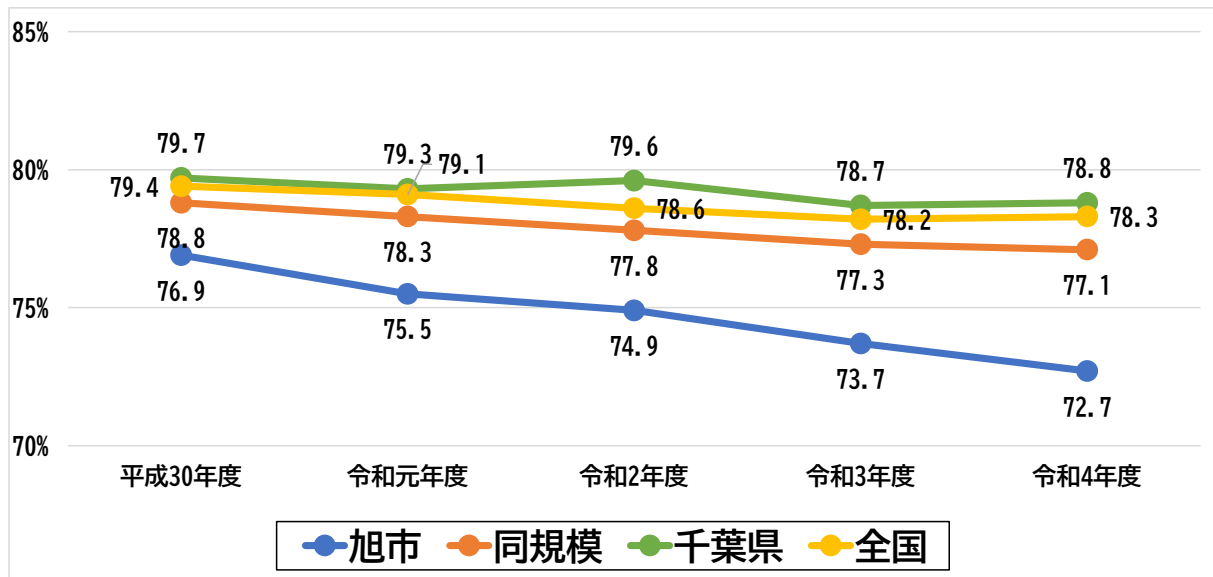


図 41 50 歳以上 74 歳以下における咀嚼良好者割合の比較

単位：％

※KDB データ 「質問票調査の状況」（各年度）より



#### (4) メタボリックシンドローム該当者及び予備群の状況

##### ①メタボリックシンドローム該当者及び予備群の状況（全体）

メタボリックシンドロームとは、内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態を指します。単に腹囲が大きいだけでは、メタボリックシンドロームにはあてはまりません。

メタボリックシンドローム該当者の状況は、令和4年度は21.4%で平成30年度と比較して4.3ポイント高くなっています。

また、メタボリックシンドローム予備群の状況は、令和4年度は10.5%で平成30年度と比較して1.4ポイント高くなっています。

表 31 メタボリックシンドローム該当者及び予備群の状況 単位：人・％

|                 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 特定健康診査受診者数      | 6,686  | 6,450 | 4,964 | 6,365 | 5,998 |
| メタボリックシンドローム該当者 | 1,144  | 1,134 | 1,089 | 1,321 | 1,282 |
| 該当者割合           | 17.1%  | 17.6% | 21.9% | 20.7% | 21.4% |
| メタボリックシンドローム予備群 | 611    | 617   | 550   | 679   | 627   |
| 予備群割合           | 9.1%   | 9.3%  | 11.1% | 10.7% | 10.5% |

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

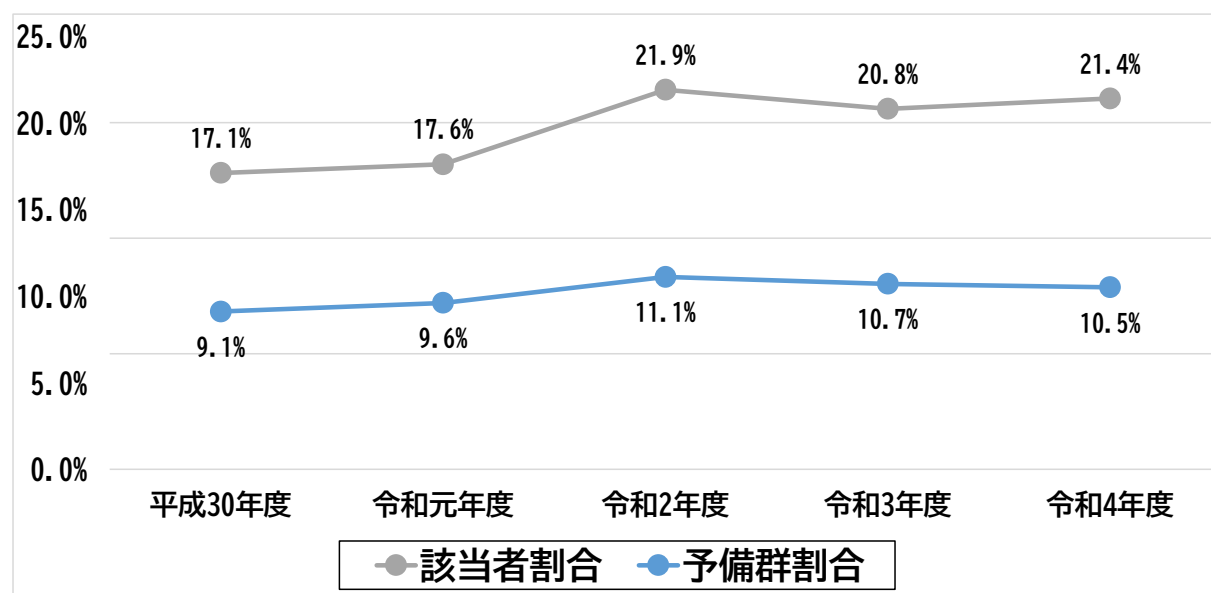


図 42 メタボリックシンドローム該当者及び予備群の状況

単位：％

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

令和4年度のメタボリックシンドローム該当者割合を同規模、千葉県、全国と比較すると、男性は33.9%で千葉県より1.0ポイント高く、女性は10.8%で0.4ポイント低くなっています。

また、メタボリックシンドローム予備群割合を同規模、千葉県、全国と比較すると、男性は17.1%で千葉県より1.2ポイント低く、女性は4.8%で1.4ポイント低くなっています。

表32 メタボリックシンドローム該当者及び予備群の比較 単位：人・%

|    | 旭市               |                | 同規模                |                    | 千葉県               |                   | 全国                   |                    |
|----|------------------|----------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|----------------------|--------------------|
|    | 該当者              | 予備群            | 該当者                | 予備群                | 該当者               | 予備群               | 該当者                  | 予備群                |
| 男性 | 933<br>(33.9%)   | 471<br>(17.1%) | 144,535<br>(32.7%) | 77,049<br>(17.5%)  | 44,368<br>(32.9%) | 24,675<br>(18.3%) | 894,997<br>(32.9%)   | 483,505<br>(17.8%) |
| 女性 | 351<br>(10.8%)   | 156<br>(4.8%)  | 64,866<br>(11.5%)  | 33,768<br>(6.0%)   | 20,574<br>(11.2%) | 11,428<br>(6.2%)  | 405,695<br>(11.3%)   | 215,769<br>(6.0%)  |
| 合計 | 1,284<br>(21.4%) | 627<br>(10.4%) | 209,401<br>(20.9%) | 110,817<br>(11.0%) | 64,942<br>(20.3%) | 36,103<br>(11.3%) | 1,300,692<br>(20.6%) | 699,274<br>(11.1%) |

※KDB データ 「地域の全体像の把握」(令和4年度)より

※同規模…該当者、予備群の人数は、人口同規模市の合計

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム(法定報告)」の数値とは異なる場合があります。

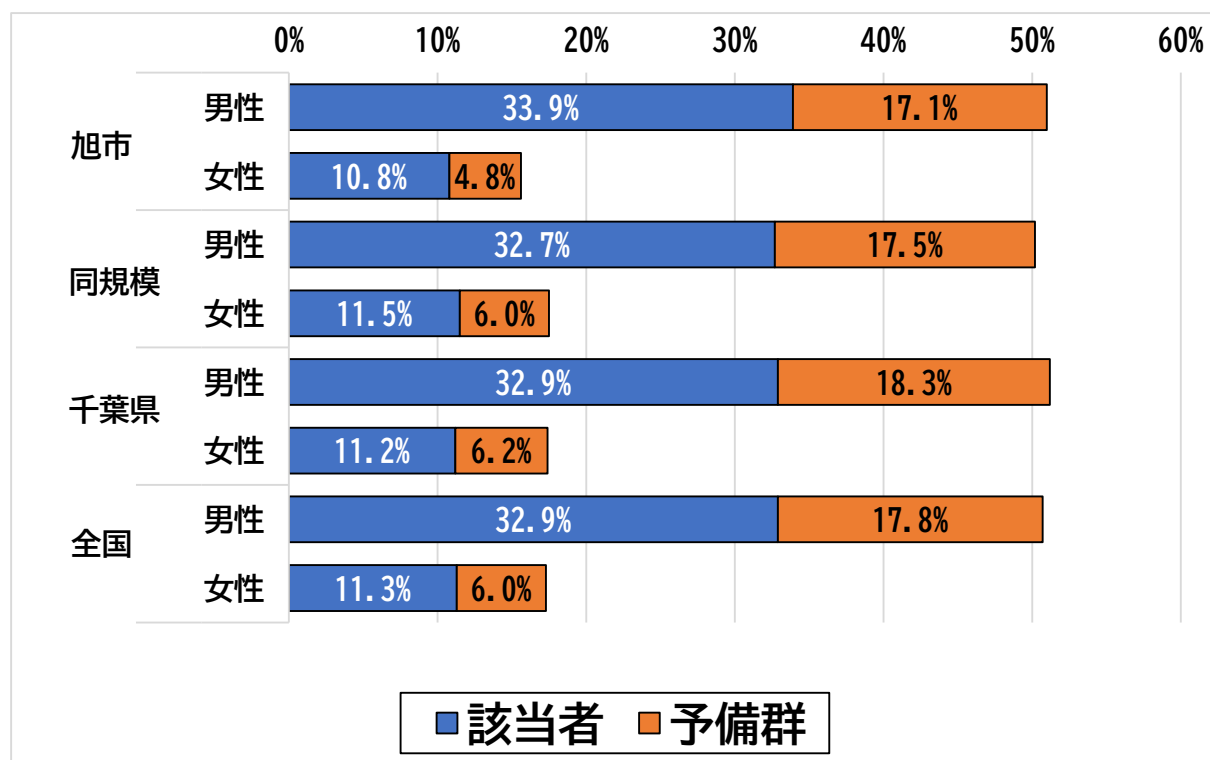


図43 令和4年度メタボリックシンドローム該当者及び予備群割合の比較 単位：%

※KDB データ 「地域の全体像の把握」(令和4年度)より

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム(法定報告)」の数値とは異なる場合があります。

## ②男女別メタボリックシンドローム該当者の状況

該当者は、男性が女性の3倍以上の割合と多くなっています。男性は平成30年度と比較すると令和4年度は33.9%で6.1ポイント高く、女性は平成30年度と比較すると令和4年度は10.7%で2.5ポイント高くなっています。

表 33 男女別メタボリックシンドローム該当者の状況

単位：人・%

|            | 男性     |       |       |       |       | 女性     |       |       |       |       |
|------------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
|            | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 特定健康診査受診者数 | 3,034  | 2,966 | 2,284 | 2,936 | 2,749 | 3,647  | 3,484 | 2,680 | 3,429 | 3,249 |
| 該当者数       | 842    | 834   | 798   | 953   | 933   | 298    | 300   | 291   | 368   | 349   |
| 該当者割合      | 27.8%  | 28.1% | 34.9% | 32.5% | 33.9% | 8.2%   | 8.6%  | 10.9% | 10.7% | 10.7% |

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

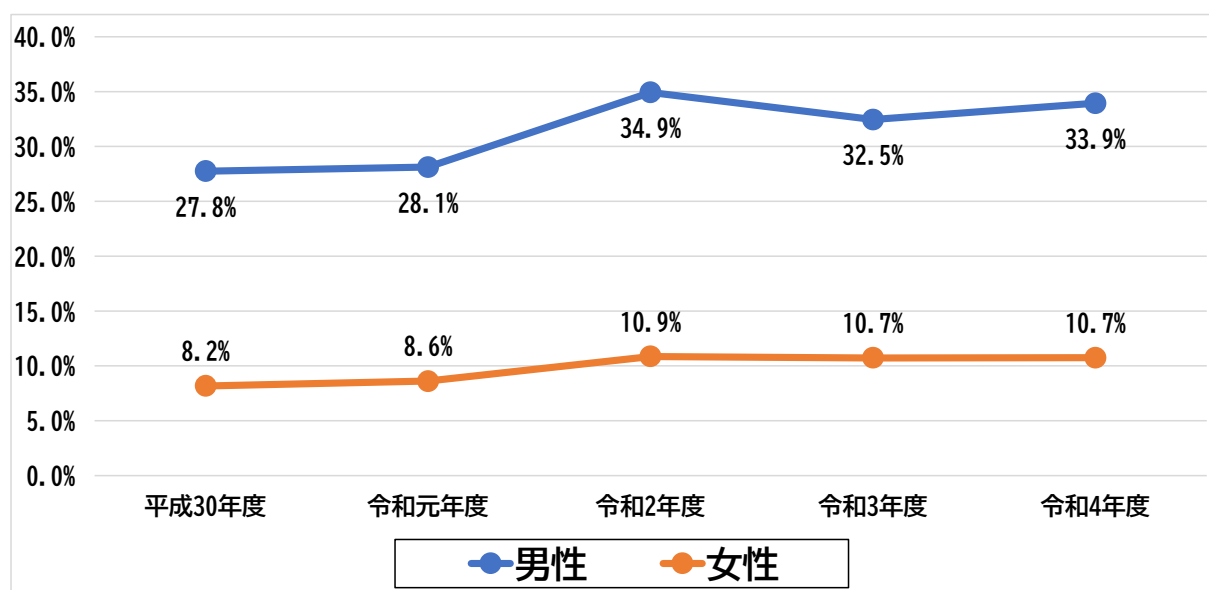


図 44 男女別メタボリックシンドローム該当者の状況

単位：%

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

### ③男女別メタボリックシンドローム予備群の状況

予備群は、男性が女性の3倍以上の割合と多くなっています。男性は平成30年度と比較すると令和4年度は17.1%で2.1ポイント高く、女性は平成30年度と比較すると令和4年度は4.8%で0.5ポイント高くなっています。

表 34 男女別メタボリックシンドローム予備群の状況 単位：人・％

|            | 男性     |       |       |       |       | 女性     |       |       |       |       |
|------------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
|            | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 特定健康診査受診者数 | 3,034  | 2,966 | 2,284 | 2,936 | 2,749 | 3,647  | 3,484 | 2,680 | 3,429 | 3,249 |
| 予備群数       | 455    | 480   | 416   | 516   | 471   | 156    | 137   | 134   | 163   | 156   |
| 予備群割合      | 15.0%  | 16.2% | 18.2% | 17.6% | 17.1% | 4.3%   | 3.9%  | 5.0%  | 4.8%  | 4.8%  |

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

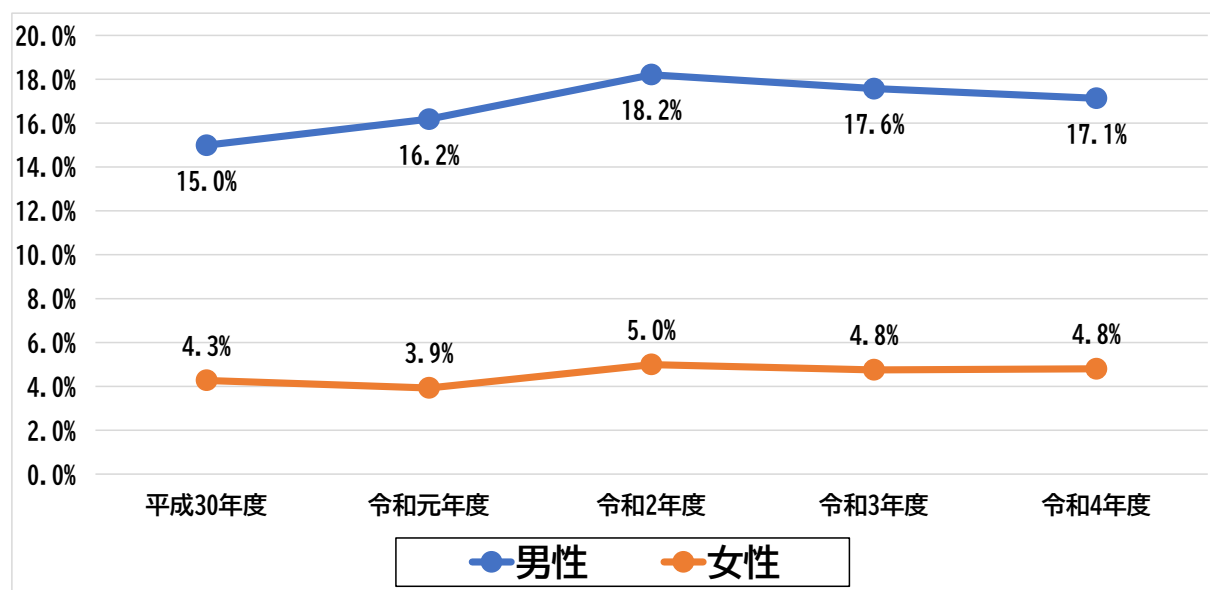


図 45 男女別メタボリックシンドローム予備群の状況 単位：％

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

### 【BMI】

男性・BMI25.0以上の特定健康診査有所見保有状況を年代別にみると、令和4年度の有所見保有割合は、40歳代の48.5%が最も高くなっています。また、各年代ともに平成30年度と比較して高くなっていますが、中でも65～69歳の保有割合は39.2%で、平成30年度と比較して6.5ポイント高く、年代別の上昇幅が最も高くなっています。

表 35 特定健康診査有所見（BMI25 以上）保有状況の比較（男性）

単位：人

| 男性     |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|        | 平成30年度 |       | 令和元年度 |       | 令和2年度 |       | 令和3年度 |       | 令和4年度 |       |
|        | 受診者数   | 有所見者数 | 受診者数  | 有所見者数 | 受診者数  | 有所見者数 | 受診者数  | 有所見者数 | 受診者数  | 有所見者数 |
| 40歳代   | 333    | 152   | 318   | 142   | 199   | 92    | 324   | 159   | 272   | 132   |
| 50歳代   | 433    | 189   | 418   | 183   | 318   | 153   | 451   | 211   | 435   | 192   |
| 60～64歳 | 406    | 161   | 370   | 150   | 247   | 107   | 335   | 148   | 331   | 136   |
| 65～69歳 | 932    | 305   | 840   | 289   | 620   | 235   | 715   | 276   | 663   | 260   |
| 70～74歳 | 935    | 324   | 1,019 | 354   | 901   | 339   | 1,116 | 392   | 1,052 | 380   |

※KDB システム「厚生労働省様式 5-2 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

※BMI…身長・体重からの肥満の割合（基準値 24.9 以下）

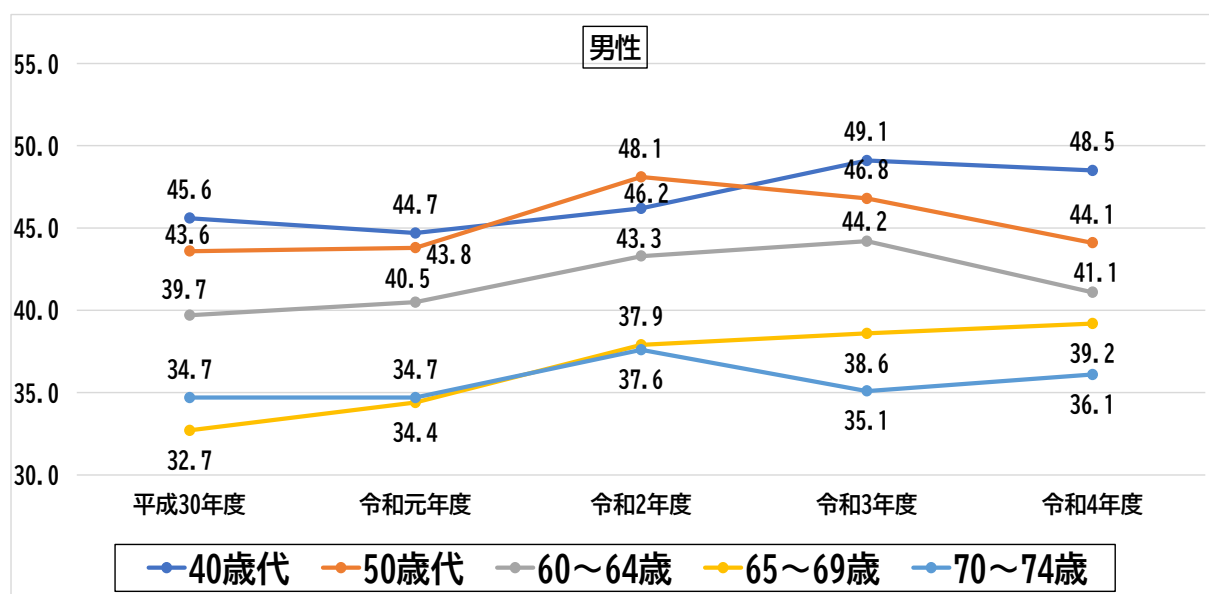


図 46 特定健康診査有所見（BMI25 以上）保有割合の推移（男性）

単位：%

※KDB システム「厚生労働省様式 5-2 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より



女性・BMI25.0以上の特定健康診査有所見保有状況を年代別にみると、令和4年度の有所見保有割合は、60～64歳の29.1%が最も高くなっています。また、60～64歳と65～69歳がともに平成30年度と比較して高くなっていますが、中でも60～64歳の保有割合は平成30年度と比較して4.8ポイント高く、年代別の上昇幅が最も高くなっています。

表 36 特定健康診査有所見（BMI25 以上）保有状況の比較（女性） 単位：人

| 女性     |        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|        | 平成30年度 |       | 令和元年度 |       | 令和2年度 |       | 令和3年度 |       | 令和4年度 |       |
|        | 受診者数   | 有所見者数 | 受診者数  | 有所見者数 | 受診者数  | 有所見者数 | 受診者数  | 有所見者数 | 受診者数  | 有所見者数 |
| 40歳代   | 332    | 65    | 306   | 69    | 187   | 44    | 293   | 69    | 244   | 47    |
| 50歳代   | 491    | 124   | 466   | 134   | 316   | 102   | 467   | 139   | 436   | 110   |
| 60～64歳 | 576    | 140   | 511   | 121   | 375   | 101   | 472   | 124   | 447   | 130   |
| 65～69歳 | 1,161  | 289   | 1,085 | 252   | 797   | 208   | 932   | 237   | 891   | 226   |
| 70～74歳 | 1,090  | 302   | 1,119 | 316   | 1,006 | 291   | 1,269 | 355   | 1,236 | 326   |

※KDB システム「厚生労働省様式 5-2 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

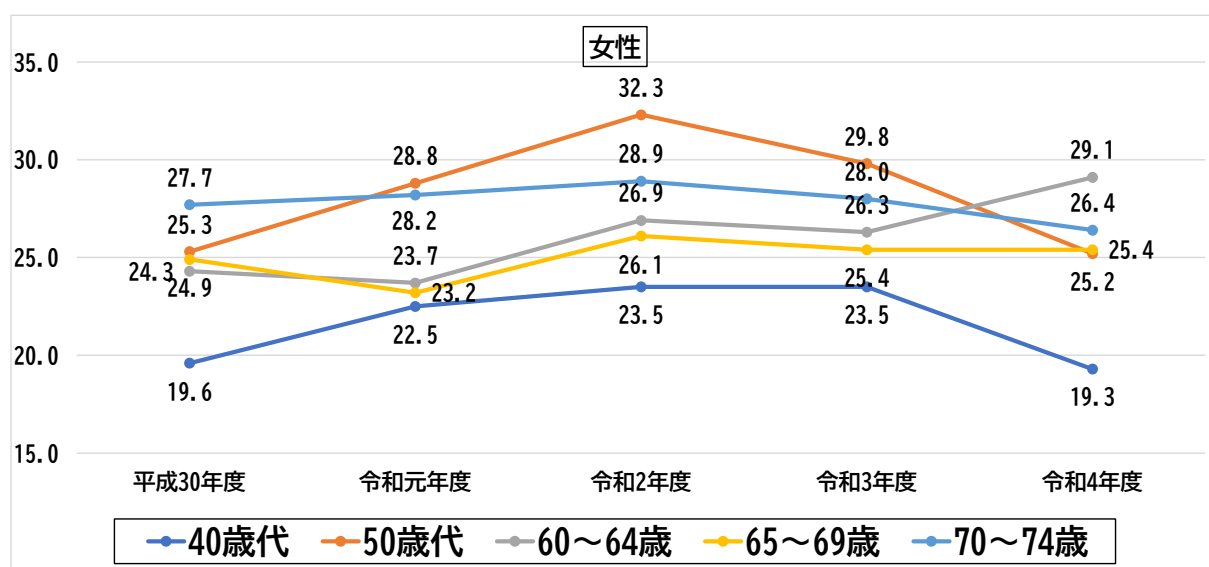


図 47 特定健康診査有所見（BMI25 以上）保有割合の推移(女性) 単位：%

※KDB システム「厚生労働省様式 5-2 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

## (5) 特定保健指導

特定健康診査の受診者のうち、特定保健指導の対象者となった者（保健指導レベルが積極的支援レベル、動機付け支援レベルに該当する者）の割合を対象者割合と呼んでいます。また、対象者のうち最後まで保健指導を終了した者の割合を実施率と呼びます。

旭市の平成30年度から令和4年度までの対象者割合の推移をみると10%台前半で増減を繰り返しています。令和4年度の対象者割合は11.7%で、同規模、千葉県、全国と比較すると、同規模、全国より高く、千葉県より低い割合でした。

対して実施率は、平成30年度と比較して令和4年度は大幅に落ち込んでいますが、千葉県よりは高くなっています。これは新型コロナウイルス感染症の流行により、対面での指導が難しくなったことやマンパワーが不足したことが影響したと考えられます。

表 37 特定健康診査受診者と特定保健指導実施者の推移 単位：人・％

|        | 特定健診  |       | 特定保健指導 |       |      |       |
|--------|-------|-------|--------|-------|------|-------|
|        | 受診者数  | 受診率   | 対象者数   | 対象者割合 | 実施者数 | 実施率   |
| 平成30年度 | 6,686 | 47.4% | 790    | 11.8% | 387  | 49.0% |
| 令和元年度  | 6,450 | 47.1% | 724    | 11.2% | 376  | 51.9% |
| 令和2年度  | 4,964 | 36.6% | 597    | 12.0% | 239  | 40.0% |
| 令和3年度  | 6,365 | 48.5% | 825    | 13.0% | 201  | 24.4% |
| 令和4年度  | 5,998 | 49.3% | 703    | 11.7% | 186  | 26.5% |

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

表 38 令和4年度特定健康診査受診者と特定保健指導実施者の比較 単位：人・％

|     | 特定健診      |       | 特定保健指導  |       |         |       |
|-----|-----------|-------|---------|-------|---------|-------|
|     | 受診者数      | 受診率   | 対象者数    | 対象者割合 | 実施者数    | 実施率   |
| 旭市  | 6,007     | 49.3% | 704     | 11.7% | 188     | 26.7% |
| 同規模 | 1,003,586 | 40.7% | 115,306 | 11.5% | 42,126  | 36.5% |
| 千葉県 | 319,211   | 38.0% | 37,960  | 11.9% | 8,375   | 22.1% |
| 全国  | 6,315,537 | 37.4% | 712,349 | 11.3% | 192,578 | 27.0% |

※KDB データ 「地域の全体像の把握」（各年度）より

※同規模…受診者数・対象者数・実施者数は、人口同規模市の合計

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」の数値とは異なる場合があります。

特定保健指導の対象者は、令和2年度コロナ禍において特定健康診査の受診者数が低下したことに伴い減少しています。特定保健指導の利用率も、平成30年度との比較で令和4年度は31.4%と21.6ポイントも減少しています。

表 39 特定保健指導利用率と実施率の経年比較

単位：人・%

|          | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|----------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 保健指導対象者数 | 790    | 724   | 597   | 825   | 703   |
| 保健指導利用者数 | 419    | 429   | 276   | 248   | 221   |
| 利用率      | 53.0   | 59.3  | 46.2  | 30.1  | 31.4  |
| 保健指導終了者数 | 387    | 376   | 239   | 201   | 186   |
| 実施率      | 49.0   | 51.9  | 40.0  | 24.4  | 26.5  |

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

※利用者（率）…初回面接を実施した人（率）

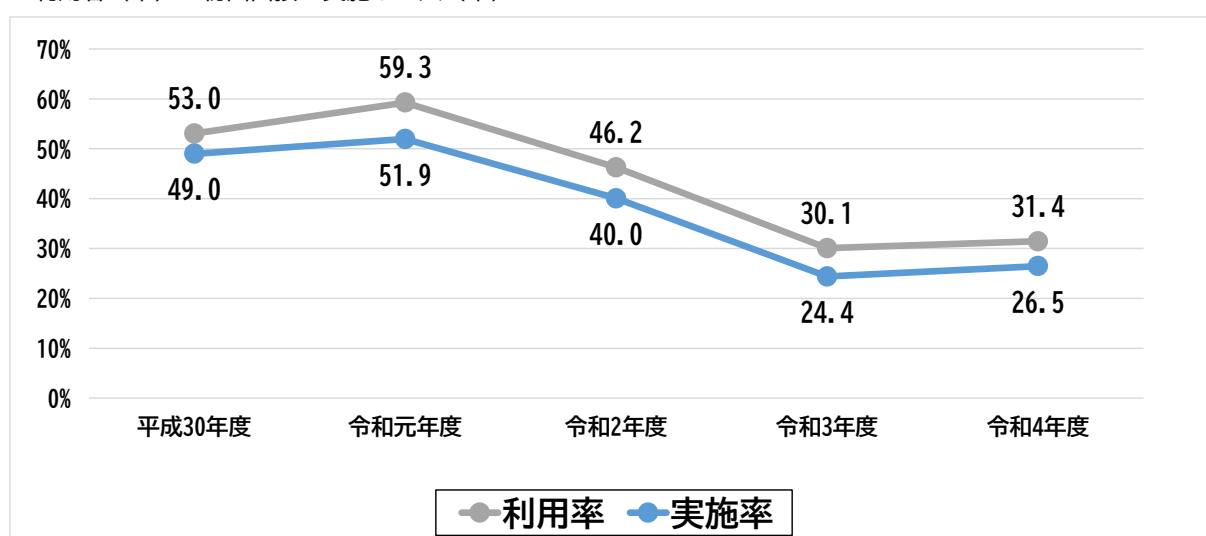


図 48 特定保健指導利用率と実施率の経年比較

単位：%

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

特定保健指導の対象者数は女性より男性が多く、令和4年度においては、男性は女性の1.8倍となっています。実施率は各年度で異なりますが、令和4年度は、男女ともほぼ同率でした。

表 40 特定保健指導対象者数と終了者数及び実施率

単位：人・%

|            | 男性     |       |       |       |       | 女性     |       |       |       |       |
|------------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
|            | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 特定保健指導対象者数 | 525    | 471   | 402   | 532   | 453   | 265    | 253   | 195   | 293   | 250   |
| 特定保健指導終了者数 | 240    | 221   | 156   | 125   | 120   | 147    | 155   | 83    | 76    | 66    |
| 実施率        | 45.7%  | 46.9% | 38.8% | 23.5% | 26.5% | 55.5%  | 61.3% | 42.6% | 25.9% | 26.4% |

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

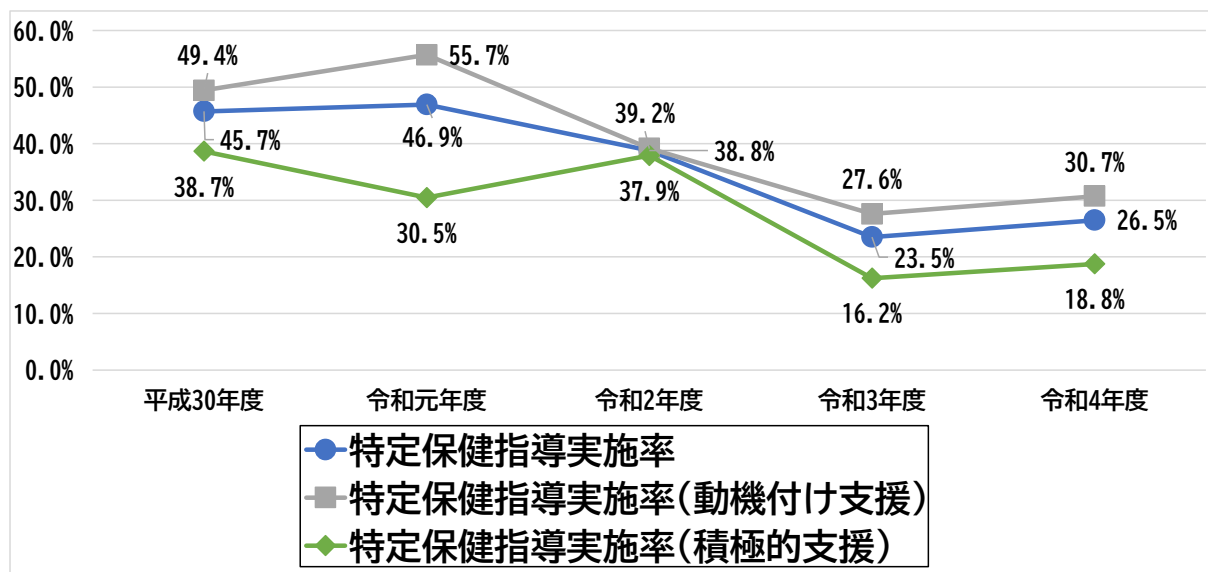


図 49 特定保健指導実施率(男性)

単位：％

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」(各年度)より

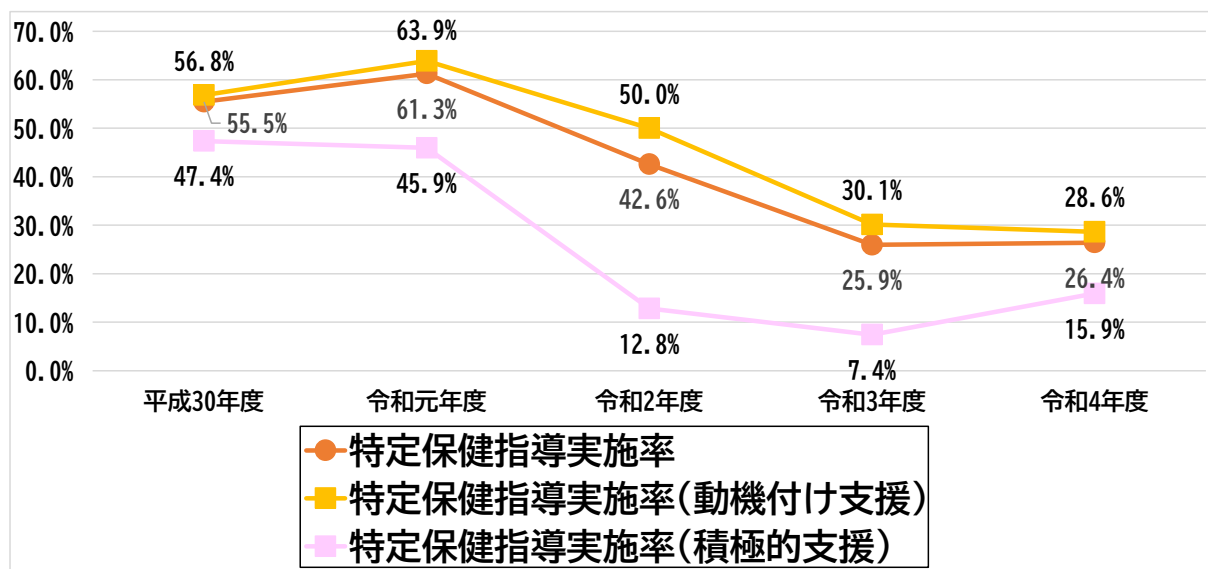


図 50 特定保健指導実施率(女性)

単位：％

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」(各年度)より

動機付け支援の対象者割合は、各年度多少の変動があるものの、横ばい傾向です。利用率は平成 30 年度から減少しており、実施率も、平成 30 年度との比較で令和 4 年度は男女とも減少し、男性の実施率 30.7%、女性の実施率 28.6%でした。

表 41 動機付け支援対象者の特定保健指導利用率と実施率の経年比較 単位：人・％

|        | 動機付け支援 |       |      |       |      |       |
|--------|--------|-------|------|-------|------|-------|
|        | 対象者数   | 対象者割合 | 利用者数 | 利用率   | 終了者数 | 実施率   |
| 平成30年度 | 571    | 8.3%  | 306  | 53.6% | 299  | 52.4% |
| 令和元年度  | 523    | 7.8%  | 331  | 63.3% | 309  | 59.1% |
| 令和2年度  | 442    | 6.9%  | 212  | 48.0% | 190  | 43.0% |
| 令和3年度  | 580    | 11.7% | 183  | 31.6% | 166  | 28.6% |
| 令和4年度  | 499    | 7.8%  | 161  | 32.3% | 149  | 29.9% |

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

表 42 動機付け支援対象者数と終了者数及び実施率 単位：人・％

|            | 男性     |       |       |       |       | 女性     |       |       |       |       |
|------------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
|            | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 動機付け支援対象者数 | 344    | 307   | 286   | 341   | 293   | 227    | 216   | 156   | 239   | 206   |
| 動機付け支援終了者数 | 170    | 171   | 112   | 94    | 90    | 129    | 138   | 78    | 72    | 59    |
| 実施率        | 49.4%  | 55.7% | 39.2% | 27.6% | 30.7% | 56.8%  | 63.9% | 50.0% | 30.1% | 28.6% |

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

積極的支援対象者の特定保健指導実施率は、動機付け支援対象者より低い状況にあります。平成 30 年度から減少傾向にあり、令和 4 年度は男性の実施率が 18.8%、女性の実施率が 15.9%でした。

表 43 積極的支援対象者の特定保健指導利用率と実施率の経年比較 単位：人・％

|        | 積極的支援 |       |      |       |      |       |
|--------|-------|-------|------|-------|------|-------|
|        | 対象者数  | 対象者割合 | 利用者数 | 利用率   | 終了者数 | 実施率   |
| 平成30年度 | 219   | 3.2%  | 113  | 51.6% | 88   | 40.2% |
| 令和元年度  | 201   | 3.0%  | 98   | 48.8% | 67   | 33.3% |
| 令和2年度  | 155   | 2.4%  | 64   | 41.3% | 49   | 31.6% |
| 令和3年度  | 245   | 4.9%  | 65   | 26.5% | 35   | 14.3% |
| 令和4年度  | 204   | 3.2%  | 60   | 29.4% | 37   | 18.1% |

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

表 44 積極的支援対象者数と終了者数及び実施率

単位：人・％

|               | 男性         |           |           |           |           | 女性         |           |           |           |           |
|---------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|               | 平成30<br>年度 | 令和元<br>年度 | 令和2<br>年度 | 令和3<br>年度 | 令和4<br>年度 | 平成30<br>年度 | 令和元<br>年度 | 令和2<br>年度 | 令和3<br>年度 | 令和4<br>年度 |
| 積極的支援<br>対象者数 | 181        | 164       | 116       | 191       | 160       | 38         | 37        | 39        | 54        | 44        |
| 積極的支援<br>終了者数 | 70         | 50        | 44        | 31        | 30        | 18         | 17        | 5         | 4         | 7         |
| 実施率           | 38.7%      | 30.5%     | 37.9%     | 16.2%     | 18.8%     | 47.4%      | 45.9%     | 12.8%     | 7.4%      | 15.9%     |

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より

表 45 特定保健指導対象者割合と実施率の比較

単位：人・％

|            |     | 健診受診者<br>数 | 健診受診<br>率 | 特定保健<br>指導対象<br>者割合 | 特定保健<br>指導実施<br>率 | 動機付け<br>支援対象<br>者割合 | 動機付け<br>支援実施<br>率 | 積極的支<br>援対象者<br>割合 | 積極的支<br>援実施率 |
|------------|-----|------------|-----------|---------------------|-------------------|---------------------|-------------------|--------------------|--------------|
| 平成30<br>年度 | 旭市  | 6,689      | 47.1%     | 11.8%               | 48.2%             | 8.5%                | 51.8%             | 3.3%               | 38.8%        |
|            | 同規模 | 1,175,812  | 40.8%     | 12.1%               | 34.9%             | 9.3%                | 38.7%             | 2.8%               | 22.2%        |
|            | 千葉県 | 394,221    | 40.7%     | 12.3%               | 21.1%             | 9.6%                | 23.3%             | 2.7%               | 13.6%        |
|            | 全国  | 7,205,521  | 37.4%     | 11.8%               | 25.8%             | 9.0%                | 28.8%             | 2.7%               | 15.8%        |
| 令和元<br>年度  | 旭市  | 6,452      | 46.8%     | 11.2%               | 51.2%             | 8.1%                | 57.9%             | 3.1%               | 33.8%        |
|            | 同規模 | 1,151,062  | 41.6%     | 12.0%               | 35.8%             | 9.3%                | 39.6%             | 2.7%               | 22.9%        |
|            | 千葉県 | 382,145    | 40.8%     | 12.3%               | 21.7%             | 9.6%                | 24.0%             | 2.7%               | 13.3%        |
|            | 全国  | 7,027,440  | 37.5%     | 11.6%               | 26.3%             | 8.9%                | 29.3%             | 2.7%               | 16.1%        |
| 令和2年<br>度  | 旭市  | 4,966      | 36.4%     | 12.0%               | 39.4%             | 8.9%                | 42.5%             | 3.1%               | 30.3%        |
|            | 同規模 | 968,218    | 35.5%     | 11.8%               | 36.0%             | 9.2%                | 39.6%             | 2.6%               | 23.2%        |
|            | 千葉県 | 304,794    | 32.9%     | 12.1%               | 19.5%             | 9.6%                | 21.7%             | 2.5%               | 11.5%        |
|            | 全国  | 6,194,855  | 33.3%     | 11.6%               | 25.9%             | 9.0%                | 28.7%             | 2.6%               | 16.2%        |
| 令和3年<br>度  | 旭市  | 6,374      | 48.4%     | 12.9%               | 24.9%             | 9.1%                | 28.8%             | 3.8%               | 15.5%        |
|            | 同規模 | 1,033,189  | 39.3%     | 11.9%               | 36.0%             | 9.2%                | 39.6%             | 2.7%               | 23.7%        |
|            | 千葉県 | 327,438    | 36.5%     | 12.4%               | 19.6%             | 9.6%                | 21.5%             | 2.7%               | 13.1%        |
|            | 全国  | 6,501,280  | 35.9%     | 11.7%               | 25.9%             | 8.9%                | 28.9%             | 2.7%               | 16.4%        |
| 令和4年<br>度  | 旭市  | 6,007      | 49.3%     | 11.7%               | 26.7%             | 8.3%                | 29.5%             | 3.4%               | 20.0%        |
|            | 同規模 | 1,003,586  | 40.7%     | 11.5%               | 36.5%             | 8.8%                | 40.1%             | 2.7%               | 24.7%        |
|            | 千葉県 | 319,211    | 38.0%     | 11.9%               | 22.1%             | 9.2%                | 24.4%             | 2.7%               | 14.2%        |
|            | 全国  | 6,315,537  | 37.4%     | 11.3%               | 27.0%             | 8.6%                | 30.1%             | 2.7%               | 17.2%        |

※KDB データ 「地域の全体像の把握」（各年度）より

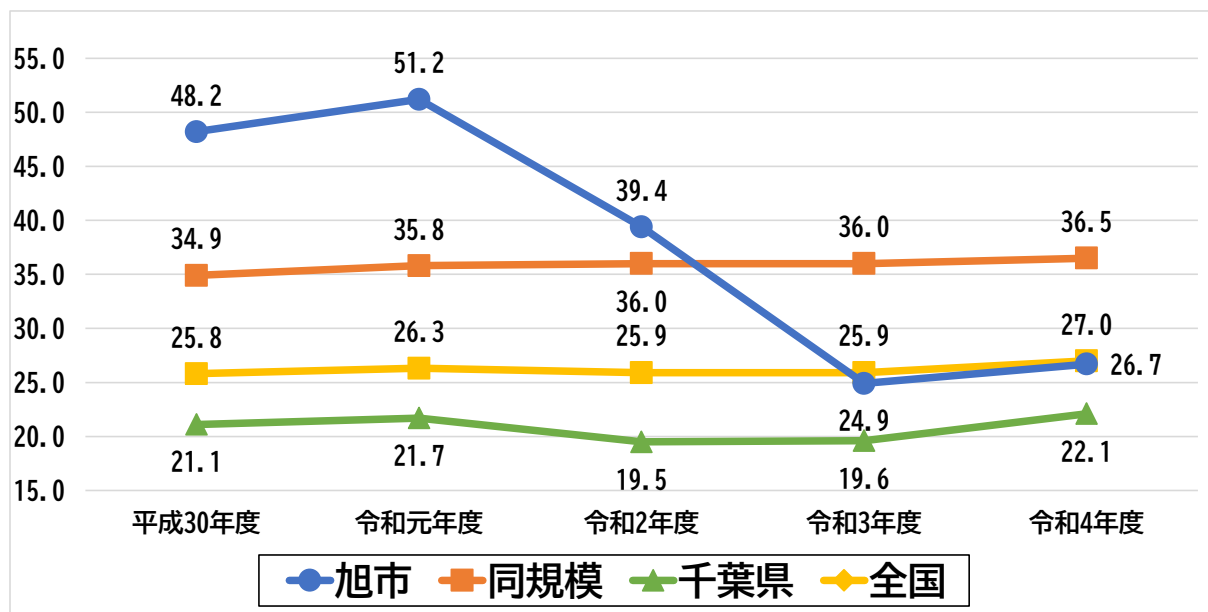


図 51 特定保健指導実施率比較（全体）

単位：％

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

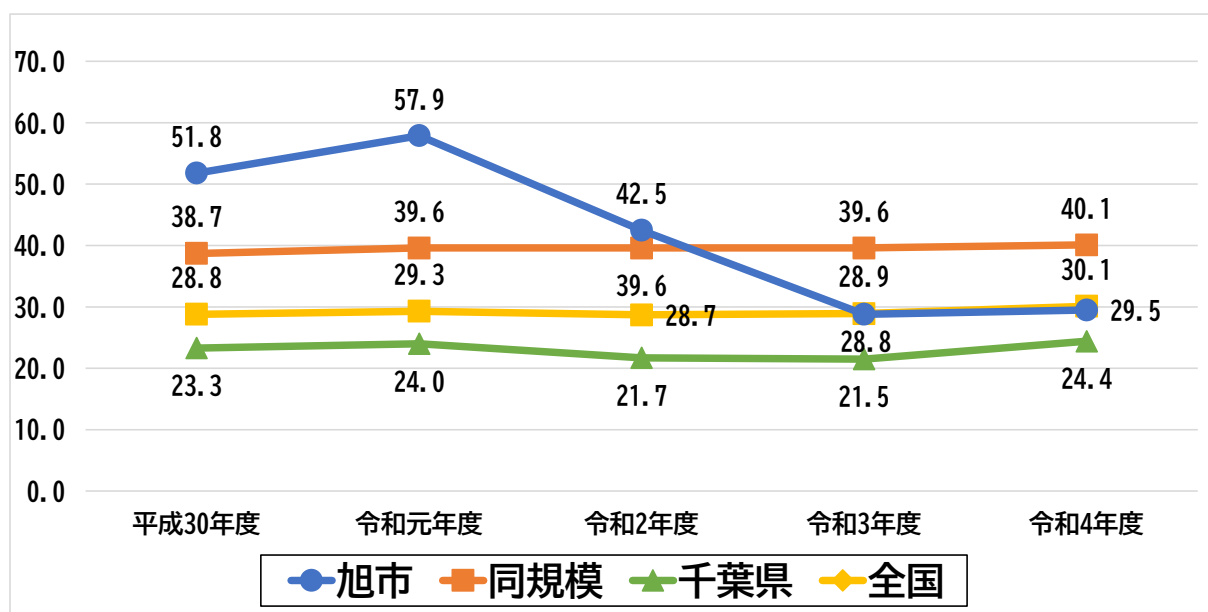


図 52 特定保健指導の実施率比較（動機付け支援）

単位：％

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

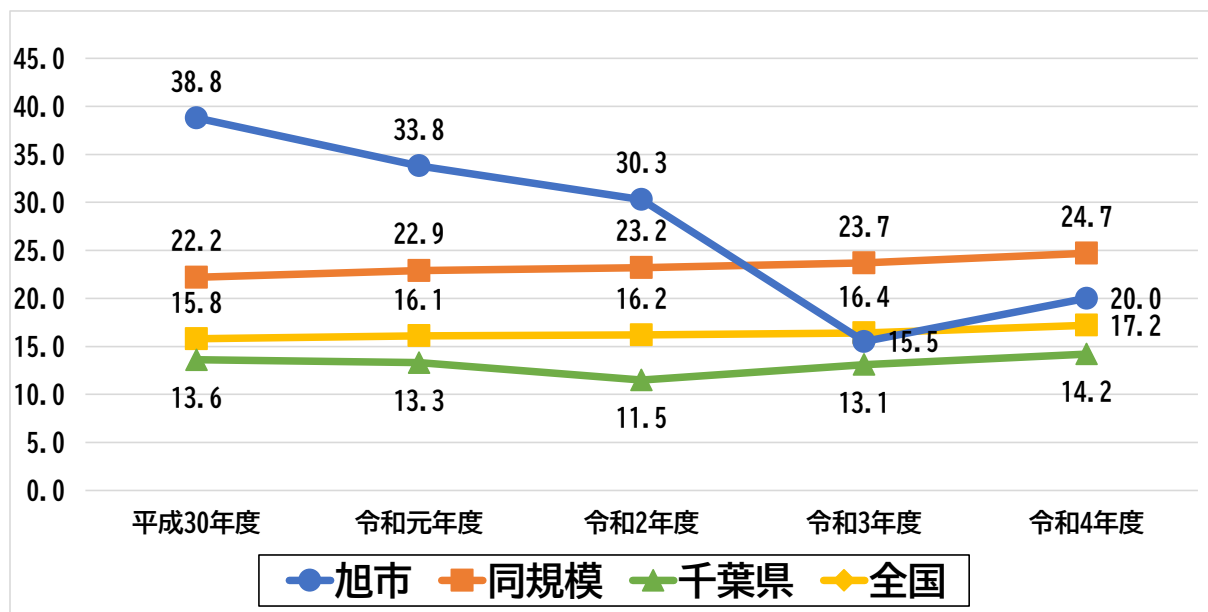


図 53 特定保健指導の実施率比較（積極的支援）

単位：％

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

#### 【特定保健指導利用者の改善状況】

特定保健指導利用者の改善状況について、前年度特定保健指導利用者のうち、当該年度は特定保健指導対象ではなくなった者の割合を「特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率」と定義し、平成 30 年度から令和 4 年度までの推移をみると、平成 30 年度は 12.3%であった減少率は、令和 4 年度には 15.9%に上昇し、特定保健指導利用者の状況は改善しています。

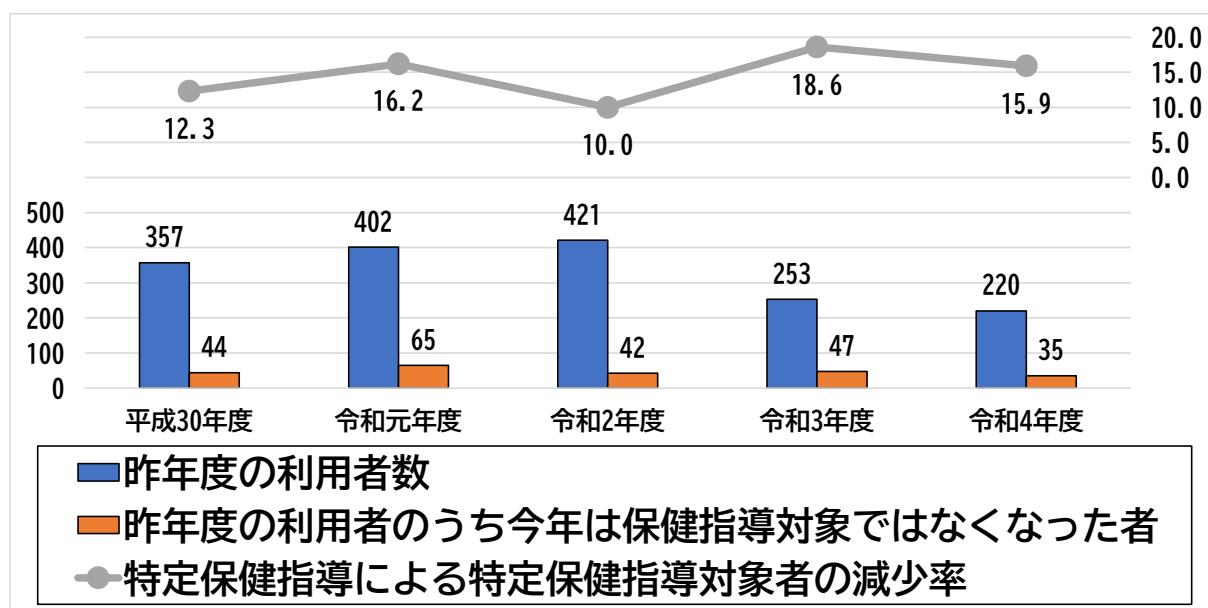


図 54 特定保健指導利用者の状況

単位：人・％

※「国保連合会 特定健診等データ管理システム（法定報告）」（各年度）より



## 8. 生活習慣病

### (1) 生活習慣病の診療状況

令和4年度における生活習慣病の医療費は、医科医療費全体の49.2%を占めています。

表 46 医科医療費全体に占める生活習慣病医療費

単位：円

|        |     | 生活習慣病(がんを除く)  | 生活習慣病(がん)     | 生活習慣病以外       | 総額            |
|--------|-----|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 平成30年度 | 医療費 | 1,976,657,280 | 868,819,400   | 2,829,726,460 | 5,675,203,140 |
|        | 割合  | 34.8%         | 15.3%         | 49.9%         |               |
| 令和元年度  | 医療費 | 1,886,526,710 | 917,070,320   | 2,835,539,870 | 5,639,136,900 |
|        | 割合  | 33.5%         | 16.3%         | 50.3%         |               |
| 令和2年度  | 医療費 | 1,851,476,560 | 955,562,980   | 2,835,284,960 | 5,642,324,500 |
|        | 割合  | 32.8%         | 16.9%         | 50.3%         |               |
| 令和3年度  | 医療費 | 1,914,698,400 | 1,016,696,610 | 2,872,273,660 | 5,803,668,670 |
|        | 割合  | 33.0%         | 17.5%         | 49.5%         |               |
| 令和4年度  | 医療費 | 1,866,388,440 | 930,252,150   | 2,891,707,020 | 5,688,347,610 |
|        | 割合  | 32.8%         | 16.4%         | 50.8%         |               |

※医科医療費のうち生活習慣病医療費はKDB データ「疾病別医療費分析（生活習慣病）」（各年度）より

※医科医療費のうち生活習慣病以外医療費は総額と生活習慣病医療費の差額

※医科医療費総額はKDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

令和4年5月診療分の旭市の被保険者数は、男性9,699人、女性9,049人の合計18,748人に対し、生活習慣病対象者は、男性3,395人、女性3,450人の合計6,845人と3割を超えています。生活習慣病対象者は加齢とともに増加し、女性が多くなっています。

表 47 【男性】主な生活習慣病の年齢階層別人数

単位：人

|        |       | 男性               |                  |                  |                  |                |                |              |
|--------|-------|------------------|------------------|------------------|------------------|----------------|----------------|--------------|
| 年齢区分   | 被保険者数 | 生活習慣病            | 高血圧症             | 糖尿病              | 脂質異常症            | 脳血管疾患          | 虚血性心疾患         | 人工透析         |
| 20歳代以下 | 1,664 | 107<br>(6.4%)    | 3<br>(2.8%)      | 9<br>(8.4%)      | 6<br>(5.6%)      | 1<br>(0.9%)    | 3<br>(2.8%)    | 0<br>(0.0%)  |
| 30歳代   | 885   | 115<br>(13.0%)   | 21<br>(18.3%)    | 31<br>(27.0%)    | 33<br>(28.7%)    | 3<br>(2.6%)    | 6<br>(5.2%)    | 2<br>(1.7%)  |
| 40歳代   | 1,133 | 246<br>(21.7%)   | 95<br>(38.6%)    | 75<br>(30.5%)    | 106<br>(43.1%)   | 15<br>(6.1%)   | 13<br>(5.3%)   | 4<br>(1.6%)  |
| 50歳代   | 1,265 | 445<br>(35.2%)   | 231<br>(51.9%)   | 179<br>(40.2%)   | 212<br>(47.6%)   | 42<br>(9.4%)   | 58<br>(13.0%)  | 15<br>(3.4%) |
| 60～64歳 | 954   | 425<br>(44.5%)   | 279<br>(65.6%)   | 198<br>(46.6%)   | 228<br>(53.6%)   | 53<br>(12.5%)  | 47<br>(11.1%)  | 7<br>(1.6%)  |
| 65～69歳 | 1,636 | 824<br>(50.4%)   | 545<br>(66.1%)   | 394<br>(47.8%)   | 450<br>(54.6%)   | 107<br>(13.0%) | 92<br>(11.2%)  | 9<br>(1.1%)  |
| 70～74歳 | 2,162 | 1,233<br>(57.0%) | 875<br>(71.0%)   | 604<br>(49.0%)   | 661<br>(53.6%)   | 175<br>(14.2%) | 198<br>(16.1%) | 13<br>(1.1%) |
| 全体     | 9,699 | 3,395<br>(35.0%) | 2,049<br>(60.4%) | 1,490<br>(43.9%) | 1,696<br>(50.0%) | 396<br>(11.7%) | 417<br>(12.3%) | 50<br>(1.5%) |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式3-1）」（令和4年5月診療分）より

※生活習慣病対象者の割合は被保険者数との割合、各疾病の割合は生活習慣病対象者に対しての割合

表 48 【女性】主な生活習慣病の年齢階層別人数

単位：人

| 女性     |       |                  |                  |                  |                  |               |               |              |
|--------|-------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------|---------------|--------------|
| 年齢区分   | 被保険者数 | 生活習慣病            | 高血圧症             | 糖尿病              | 脂質異常症            | 脳血管疾患         | 虚血性心疾患        | 人工透析         |
| 20歳代以下 | 1,471 | 100<br>(6.8%)    | 2<br>(2.0%)      | 14<br>(14.0%)    | 11<br>(11.0%)    | 0<br>(0.0%)   | 1<br>(1.0%)   | 0<br>(0.0%)  |
| 30歳代   | 658   | 111<br>(16.9%)   | 9<br>(8.1%)      | 11<br>(9.9%)     | 9<br>(8.1%)      | 0<br>(0.0%)   | 1<br>(0.9%)   | 1<br>(0.9%)  |
| 40歳代   | 900   | 239<br>(26.6%)   | 49<br>(20.5%)    | 58<br>(24.3%)    | 51<br>(21.3%)    | 16<br>(6.7%)  | 10<br>(4.2%)  | 1<br>(0.4%)  |
| 50歳代   | 1,185 | 419<br>(35.4%)   | 165<br>(39.4%)   | 120<br>(28.6%)   | 184<br>(43.9%)   | 18<br>(4.3%)  | 23<br>(5.5%)  | 7<br>(1.7%)  |
| 60～64歳 | 965   | 414<br>(42.9%)   | 208<br>(50.2%)   | 145<br>(35.0%)   | 224<br>(54.1%)   | 27<br>(6.5%)  | 24<br>(5.8%)  | 5<br>(1.2%)  |
| 65～69歳 | 1,702 | 882<br>(51.8%)   | 501<br>(56.8%)   | 324<br>(36.7%)   | 550<br>(62.4%)   | 48<br>(5.4%)  | 67<br>(7.6%)  | 3<br>(0.3%)  |
| 70～74歳 | 2,168 | 1,285<br>(59.3%) | 804<br>(62.6%)   | 480<br>(37.4%)   | 771<br>(60.0%)   | 103<br>(8.0%) | 114<br>(8.9%) | 5<br>(0.4%)  |
| 全体     | 9,049 | 3,450<br>(38.1%) | 1,738<br>(50.4%) | 1,152<br>(33.4%) | 1,800<br>(52.2%) | 212<br>(6.1%) | 240<br>(7.0%) | 22<br>(0.6%) |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 3-1）」（令和 4 年 5 月診療分）より

※生活習慣病対象者の割合は被保険者数との割合、各疾病の割合は生活習慣病対象者に対する割合

令和 4 年 5 月診療分の主な生活習慣病の人数は、男性、女性ともに 50 歳代以降に多くなっています。年齢階層別人数割合は、50 歳代で男性は 35.2%、女性は 35.4%と 3 割を超え、加齢とともに増加していき 70～74 歳では、男性が 57.0%、女性は 59.3%と高い割合になっています。

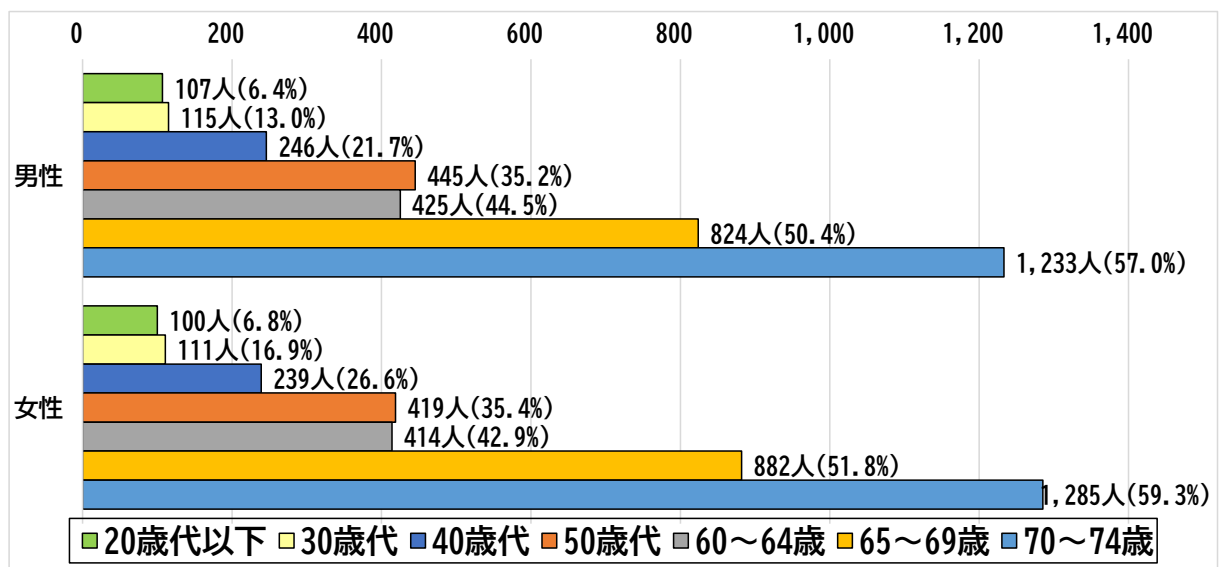


図 55 主な生活習慣病の人数

単位：人

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 3-1）」（令和 4 年 5 月診療分）より

平成 30 年との比較においては、女性の人工透析の有病割合は横ばいですが、男性、女性とも生活習慣病の有病割合は増加しています。

表 49 主な生活習慣病の性別人数

単位：人・％

|    |       | 高血圧症  |      | 糖尿病   |      | 脂質異常症 |      | 脳血管疾患 |      | 虚血性心疾患 |      | 人工透析 |     |
|----|-------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|--------|------|------|-----|
|    |       | 人数    | 割合   | 人数    | 割合   | 人数    | 割合   | 人数    | 割合   | 人数     | 割合   | 人数   | 割合  |
| 男性 | 平成30年 | 2,185 | 59.7 | 1,519 | 41.5 | 1,647 | 45.0 | 386   | 10.5 | 390    | 10.6 | 48   | 1.3 |
|    | 令和 4年 | 2,049 | 60.4 | 1,490 | 43.9 | 1,696 | 50.0 | 396   | 11.7 | 417    | 12.3 | 50   | 1.5 |
| 女性 | 平成30年 | 1,843 | 50.0 | 1,127 | 30.6 | 1,835 | 49.8 | 202   | 5.5  | 229    | 6.2  | 21   | 0.6 |
|    | 令和 4年 | 1,738 | 50.4 | 1,152 | 33.4 | 1,800 | 52.2 | 212   | 6.1  | 240    | 7.0  | 22   | 0.6 |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 3-1）」（平成 30 年・令和 4 年 5 月診療分）より

※各疾病の割合は生活習慣病対象者（表 47・表 48）に対しての割合

## （２）糖尿病

### 【医療費】

医療費（医科）における糖尿病の平成 30 年度から令和 4 年度の医療費割合は、入院が 0.6 ポイント低く、外来の医療費割合は年々増加し 0.6 ポイント高く、医療費合計は、568 万円増額となっています。

表 50 糖尿病の医療費の経年変化

単位：千円・％

|        | 入院医療費  | 医療費割合 | 外来医療費   | 医療費割合 | 医療費合計   | 医療費割合 |
|--------|--------|-------|---------|-------|---------|-------|
| 平成30年度 | 19,343 | 0.9   | 289,983 | 8.4   | 309,326 | 5.5   |
| 令和元年度  | 19,508 | 0.9   | 305,159 | 8.7   | 324,667 | 5.8   |
| 令和2年度  | 12,855 | 0.6   | 303,738 | 8.8   | 316,594 | 5.6   |
| 令和3年度  | 14,888 | 0.6   | 314,514 | 9.0   | 329,401 | 5.7   |
| 令和4年度  | 6,794  | 0.3   | 308,214 | 9.0   | 315,008 | 5.6   |

※KDB データ「医療費分析（大、中、細小分類）」（各年度）より

※疾病分類内訳 「大分類）分泌，栄養及び代謝疾患、中分類）糖尿病、細小 82 分類）糖尿病」

### 【有病者】

令和 4 年 5 月診療分の糖尿病の年齢階層別人数割合は、50 歳代から 1 割を超え、年代が上がるほど高くなり、70～74 歳は 25.0%と 4 人に 1 人の割合になっています。

平成 30 年 5 月診療分と比較すると、全体で、平成 30 年度 12.3%、令和 4 年度 14.1%と 1.8 ポイント高くなっています。

また、男女別の生活習慣病対象者における糖尿病割合ではすべての年代で男性が多くなっています。

表 51 糖尿病の年齢階層別人数割合の比較

単位：人・％

|        | 平成30年5月診療分 |        |      | 令和4年5月診療分 |        |      |
|--------|------------|--------|------|-----------|--------|------|
|        | 被保険者数      | 糖尿病患者数 | 割合   | 被保険者数     | 糖尿病患者数 | 割合   |
| 20歳代以下 | 3,926      | 11     | 0.3  | 3,135     | 23     | 0.7  |
| 30歳代   | 1,904      | 34     | 1.8  | 1,543     | 42     | 2.7  |
| 40歳代   | 2,378      | 112    | 4.7  | 2,033     | 133    | 6.5  |
| 50歳代   | 2,827      | 289    | 10.2 | 2,450     | 299    | 12.2 |
| 60～64歳 | 2,691      | 454    | 16.9 | 1,919     | 343    | 17.9 |
| 65～69歳 | 4,247      | 860    | 20.2 | 3,338     | 718    | 21.5 |
| 70～74歳 | 3,479      | 886    | 25.5 | 4,330     | 1,084  | 25.0 |
| 全体     | 21,452     | 2,646  | 12.3 | 18,748    | 2,642  | 14.1 |

※厚生労働省様式「様式 3-2 糖尿病のレセプト分析」（平成 30 年・令和 4 年 5 月診療分）より

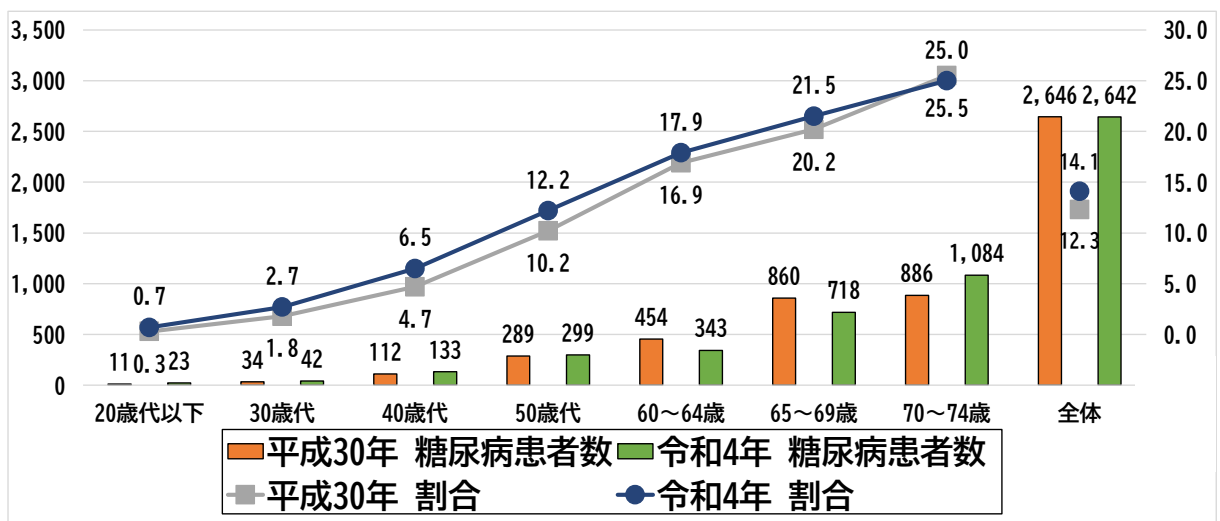


図 56 糖尿病の年齢階層別人数割合の比較

単位：％

※厚生労働省様式「様式 3-2 糖尿病のレセプト分析」（平成 30 年・令和 4 年 5 月診療分）より

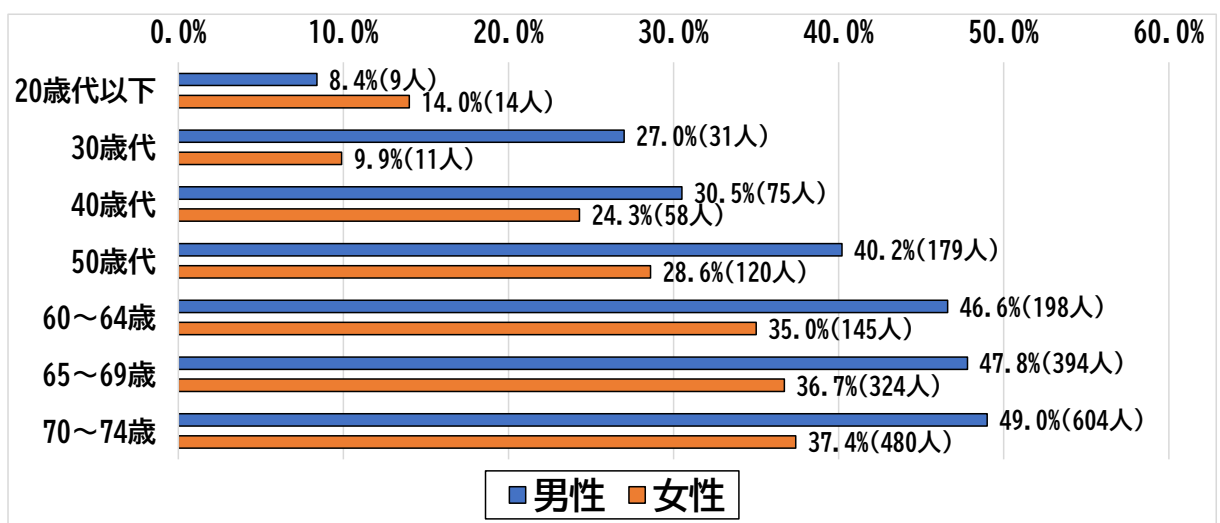


図 57 男女別生活習慣病対象者の糖尿病割合

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 3-1）」（令和 4 年 5 月診療分）より

### 【特定健康診査結果】

特定健康診査結果におけるヘモグロビン A1c5.6%以上の割合は、男性が女性より高く、年齢階層別は、70 歳代が約 6 割で多い状況です。令和 4 年度の 40 歳代では、男性が 28.3% で女性より 9.9 ポイント多くなっていますが、70～74 歳ではその差が 0.3 ポイントとなり、年齢が上がると女性の割合も増えています。

表 52 特定健康診査有所見（HbA1c）保有状況

単位：％

|        | 血糖(HbA1c5.6以上) |      |       |      |       |      |       |      |       |      |
|--------|----------------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
|        | 平成30年度         |      | 令和元年度 |      | 令和2年度 |      | 令和3年度 |      | 令和4年度 |      |
|        | 男性             | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   |
| 40歳代   | 29.1           | 20.2 | 29.6  | 23.5 | 34.2  | 18.7 | 34.0  | 21.5 | 28.3  | 18.4 |
| 50歳代   | 41.1           | 39.5 | 45.7  | 44.4 | 50.9  | 41.1 | 51.4  | 40.7 | 49.4  | 38.8 |
| 60～64歳 | 52.0           | 50.2 | 61.9  | 54.8 | 61.9  | 56.0 | 62.1  | 55.9 | 62.2  | 57.0 |
| 65～69歳 | 56.9           | 54.3 | 58.9  | 62.0 | 60.2  | 60.9 | 62.1  | 62.0 | 62.3  | 58.0 |
| 70～74歳 | 62.7           | 56.7 | 66.8  | 62.9 | 66.7  | 63.9 | 67.3  | 64.8 | 63.3  | 63.0 |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2）健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

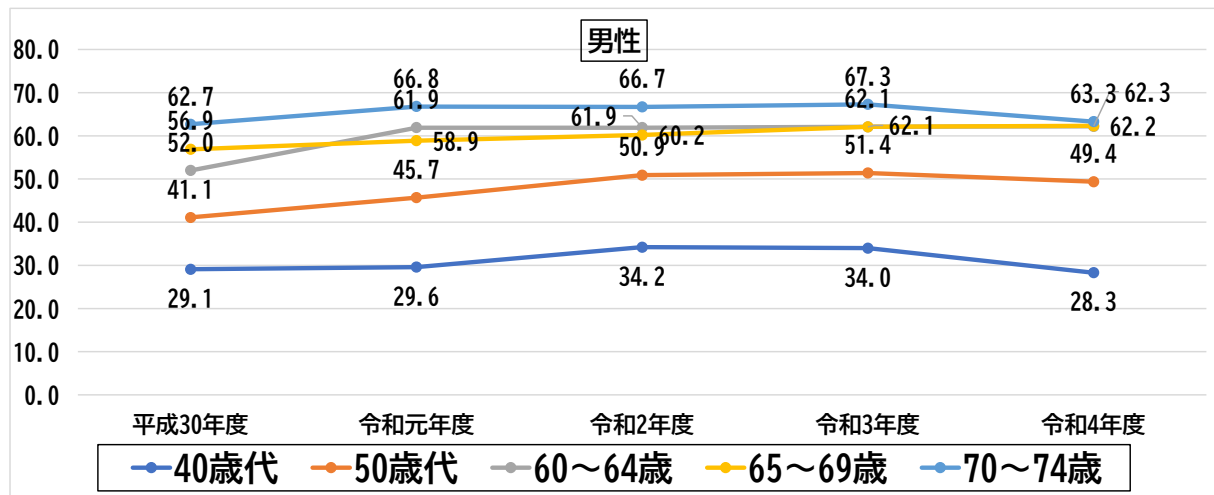


図 58 特定健康診査有所見（HbA1c5.6%以上）保有割合の推移(男性)

単位：％

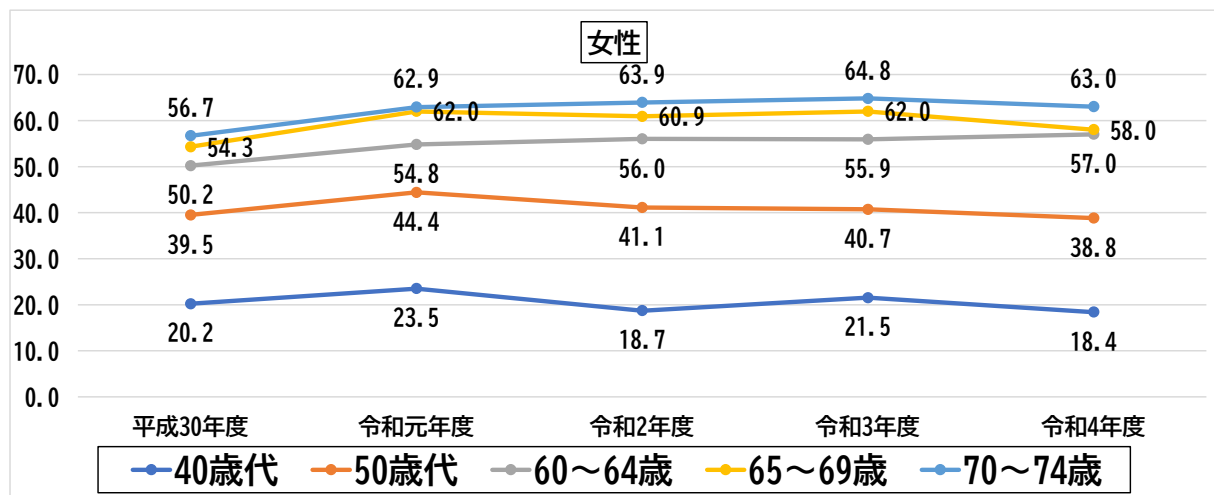


図 59 特定健康診査有所見（HbA1c5.6%以上）保有割合の推移(女性)

単位：％

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2）健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

ヘモグロビン A1c 有所見者のうち、受診勧奨値である 6.5%以上の割合は、令和 3 年度 9.9%に対し、令和 4 年度で 0.7 ポイント減少しているものの平成 30 年度との比較では、1.4 ポイント増加しています。

ヘモグロビン A1c 有所見者のうち、治療強化が困難な際の血糖コントロール目標を上回る 8.0%以上は、令和 3 年度まで増加していましたが、令和 4 年度は、平成 30 年度と変わらない状況にあります。

表 53 HbA1c6.5%以上・8.0%以上の者の割合

割合単位：％

|        | HbA1c | 6.5以上 |     | 8.0以上 |     |
|--------|-------|-------|-----|-------|-----|
|        | 検査人数  | 人数    | 割合  | 人数    | 割合  |
| 平成30年度 | 7,414 | 577   | 7.8 | 90    | 1.2 |
| 令和元年度  | 7,092 | 632   | 8.9 | 95    | 1.3 |
| 令和2年度  | 5,349 | 496   | 9.3 | 75    | 1.4 |
| 令和3年度  | 6,802 | 673   | 9.9 | 109   | 1.6 |
| 令和4年度  | 6,458 | 596   | 9.2 | 80    | 1.2 |

※旭市健康管理システム「特定健診受診者名簿」（各年度）より

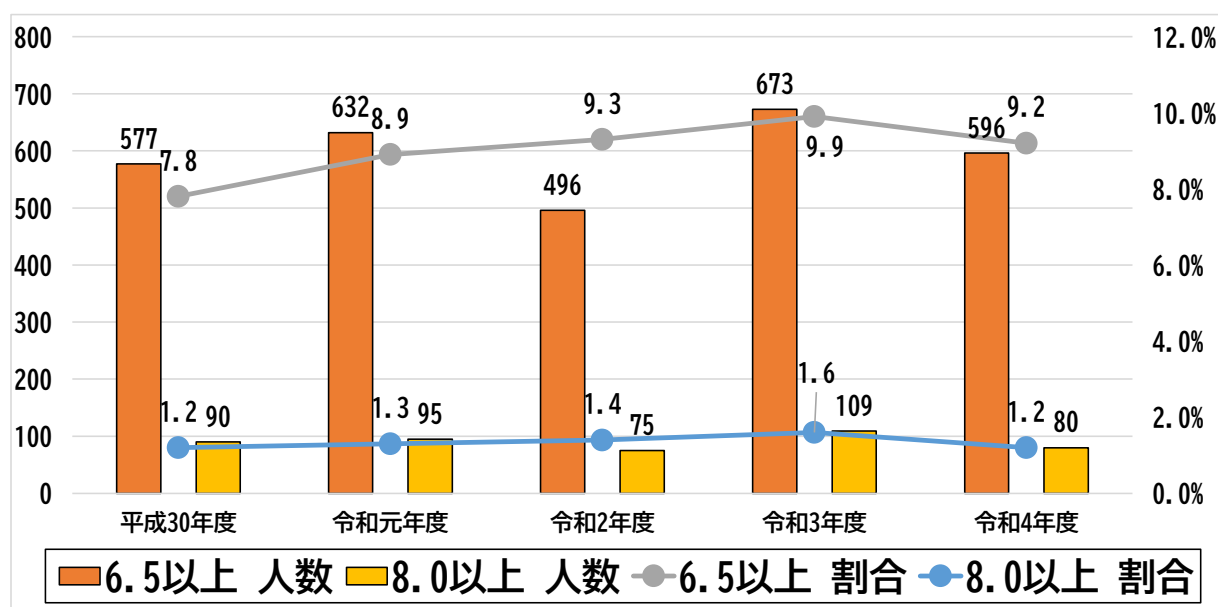


図 60 HbA1c 有所見者 6.5%以上・8.0%以上の者の割合経年比較

単位：人・％

※旭市健康管理システム「特定健診受診者名簿」（各年度）より

### (3) 高血圧症

#### 【医療費】

高血圧症の平成 30 年度から令和 4 年度の医療費割合は、入院が 0.1 ポイント高く、外来は 1.2 ポイント低くなっています。

表 54 高血圧症の医療費の経年変化

単位：千円・％

|        | 入院医療費 | 医療費割合 | 外来医療費   | 医療費割合 | 医療費合計   | 医療費割合 |
|--------|-------|-------|---------|-------|---------|-------|
| 平成30年度 | 2,016 | 0.1   | 215,098 | 6.2   | 217,114 | 3.8   |
| 令和元年度  | 998   | 0.0   | 204,128 | 5.8   | 205,125 | 3.6   |
| 令和2年度  | 866   | 0.0   | 190,742 | 5.5   | 191,608 | 3.4   |
| 令和3年度  | 1,013 | 0.0   | 177,652 | 5.1   | 178,666 | 3.1   |
| 令和4年度  | 4,878 | 0.2   | 169,495 | 5.0   | 174,372 | 3.1   |

※KDB データ 「医療費分析（大、中、細小分類）」（各年度）より

※疾病分類内訳 「大分類）循環器系の疾患、中分類）高血圧性疾患、細小 82 分類）高血圧症」

#### 【有病者】

令和 4 年 5 月診療分の高血圧症の年齢階層別人数割合は、65 歳以降が 3 割を超えています。平成 30 年と比較すると、全体で、平成 30 年 18.8%、令和 4 年 20.2%と 1.4 ポイント高くなっています。

また、男女別の生活習慣病対象者における高血圧症割合では、全体的に男性の割合が高く、特に 30 歳代、40 歳代が女性と比較して多くなっています。

表 55 高血圧症の年齢階層別人数割合の比較

単位：人・％

|        | 平成30年5月診療分 |         |      | 令和4年5月診療分 |         |      |
|--------|------------|---------|------|-----------|---------|------|
|        | 被保険者数      | 高血圧症患者数 | 割合   | 被保険者数     | 高血圧症患者数 | 割合   |
| 20歳代以下 | 3,926      | 4       | 0.1  | 3,135     | 5       | 0.2  |
| 30歳代   | 1,904      | 37      | 1.9  | 1,543     | 30      | 1.9  |
| 40歳代   | 2,378      | 153     | 6.4  | 2,033     | 144     | 7.1  |
| 50歳代   | 2,827      | 418     | 14.8 | 2,450     | 396     | 16.2 |
| 60～64歳 | 2,691      | 643     | 23.9 | 1,919     | 487     | 25.4 |
| 65～69歳 | 4,247      | 1,376   | 32.4 | 3,338     | 1,046   | 31.3 |
| 70～74歳 | 3,479      | 1,397   | 40.2 | 4,330     | 1,679   | 38.8 |
| 全体     | 21,452     | 4,028   | 18.8 | 18,748    | 3,787   | 20.2 |

※厚生労働省様式「様式 3-3 高血圧のレセプト分析」（平成 30 年・令和 4 年 5 月診療分）より

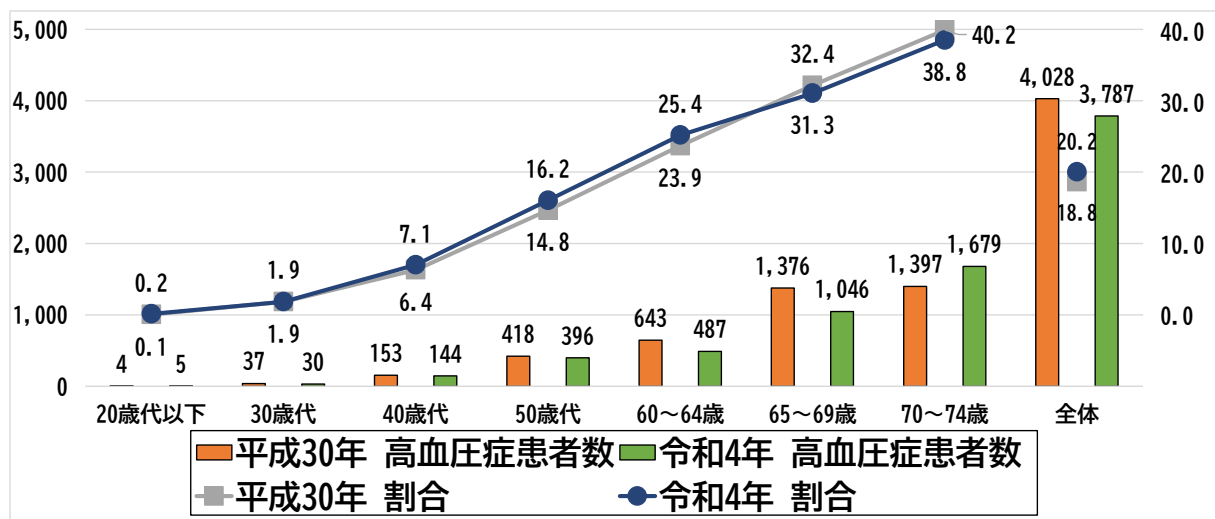


図 61 高血圧症の年齢階層別人数割合の比較

単位：人・％

※厚生労働省様式「様式 3-3 高血圧のレセプト分析」（平成 30 年・令和 4 年 5 月診療分）より

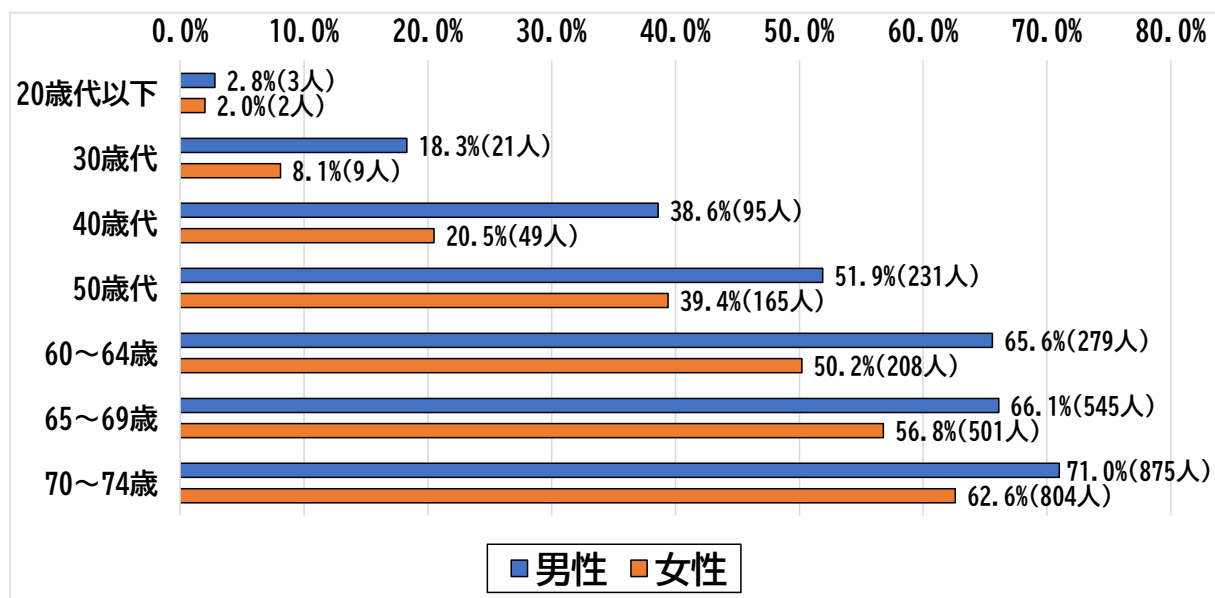


図 62 男女別生活習慣病対象者の高血圧症割合

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 3-1）」（令和 4 年 5 月診療分）より



【特定健康診査有所見血圧状況】

表 56 特定健康診査有所見（収縮期血圧 130 以上）保有状況

単位：％

|        | 血圧(収縮期血圧130以上) |      |       |      |       |      |       |      |       |      |
|--------|----------------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
|        | 平成30年度         |      | 令和元年度 |      | 令和2年度 |      | 令和3年度 |      | 令和4年度 |      |
|        | 男性             | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   |
| 40歳代   | 30.9           | 16.0 | 29.6  | 19.6 | 33.7  | 16.6 | 38.6  | 19.8 | 34.6  | 17.6 |
| 50歳代   | 46.4           | 30.1 | 46.4  | 30.5 | 41.2  | 32.3 | 50.3  | 34.3 | 40.2  | 32.3 |
| 60～64歳 | 49.3           | 38.5 | 49.2  | 38.0 | 51.4  | 40.0 | 54.3  | 44.3 | 53.8  | 38.7 |
| 65～69歳 | 48.9           | 45.8 | 53.1  | 47.9 | 52.3  | 50.6 | 57.1  | 55.8 | 54.4  | 53.4 |
| 70～74歳 | 53.5           | 54.1 | 54.5  | 54.2 | 54.2  | 54.8 | 55.6  | 57.8 | 56.8  | 55.3 |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

表 57 特定健康診査有所見（拡張期血圧 85 以上）保有状況

単位：％

|        | 血圧(拡張期血圧85以上) |      |       |      |       |      |       |      |       |      |
|--------|---------------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
|        | 平成30年度        |      | 令和元年度 |      | 令和2年度 |      | 令和3年度 |      | 令和4年度 |      |
|        | 男性            | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   |
| 40歳代   | 23.1          | 7.8  | 21.4  | 9.5  | 24.1  | 7.5  | 27.8  | 12.3 | 25.7  | 9.8  |
| 50歳代   | 34.4          | 11.4 | 31.8  | 12.0 | 26.4  | 15.2 | 32.6  | 13.3 | 26.2  | 13.8 |
| 60～64歳 | 27.8          | 14.2 | 26.2  | 11.5 | 24.7  | 10.7 | 28.7  | 14.6 | 24.8  | 15.7 |
| 65～69歳 | 16.2          | 11.2 | 19.8  | 13.4 | 17.6  | 12.0 | 22.7  | 13.4 | 21.7  | 13.6 |
| 70～74歳 | 12.9          | 9.5  | 15.7  | 9.5  | 12.0  | 9.1  | 13.8  | 11.4 | 13.9  | 11.0 |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

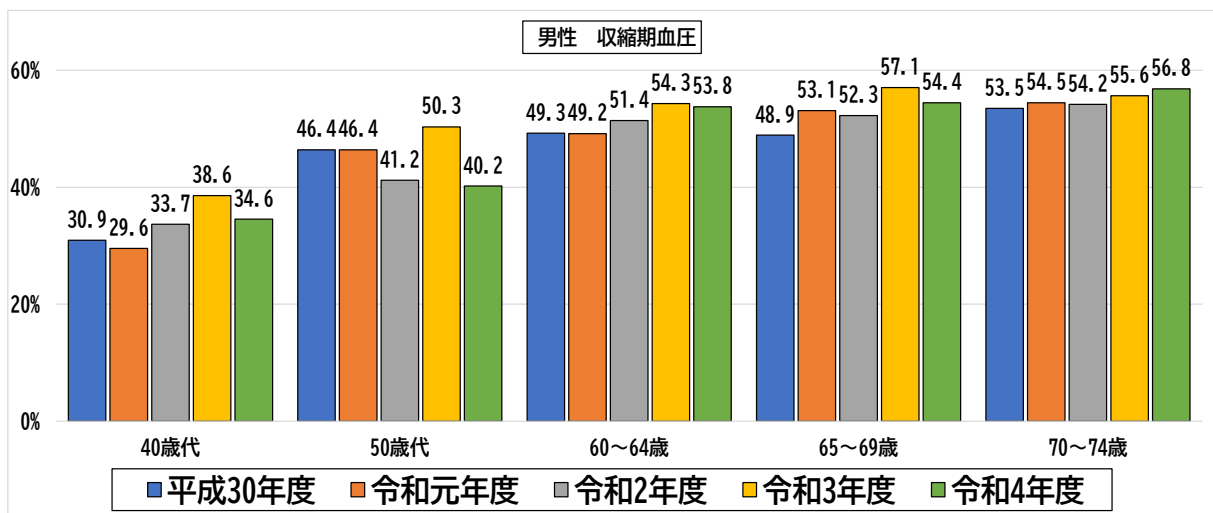


図 63 特定健康診査有所見（収縮期血圧 130 以上）保有割合の推移(男性)

単位：％

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

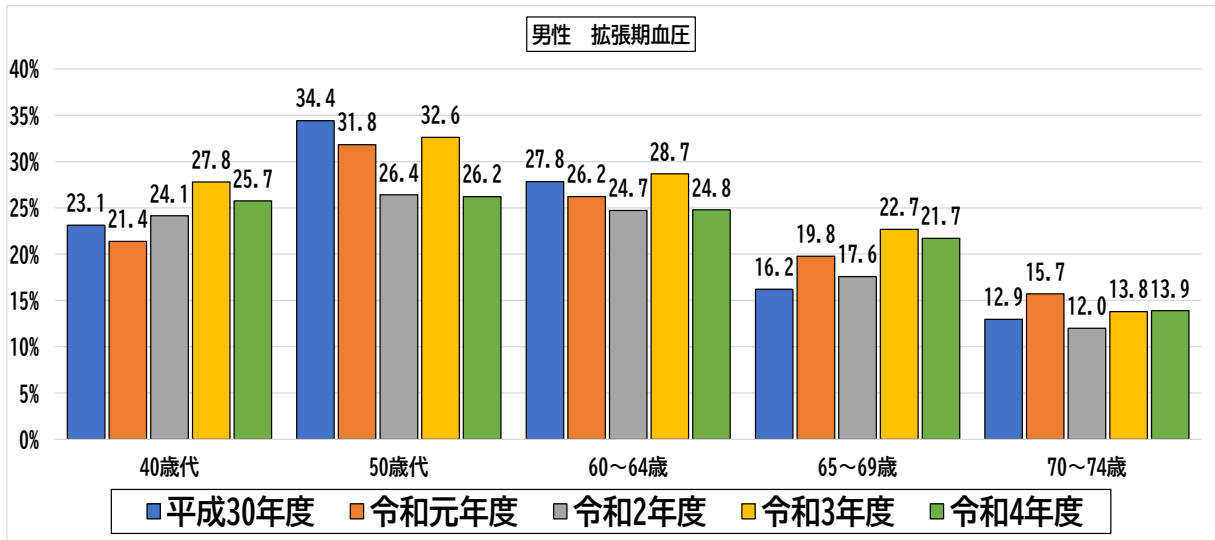


図 64 特定健康診査有所見（拡張期血圧 85 以上）保有割合の推移(男性) 単位：％  
 ※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

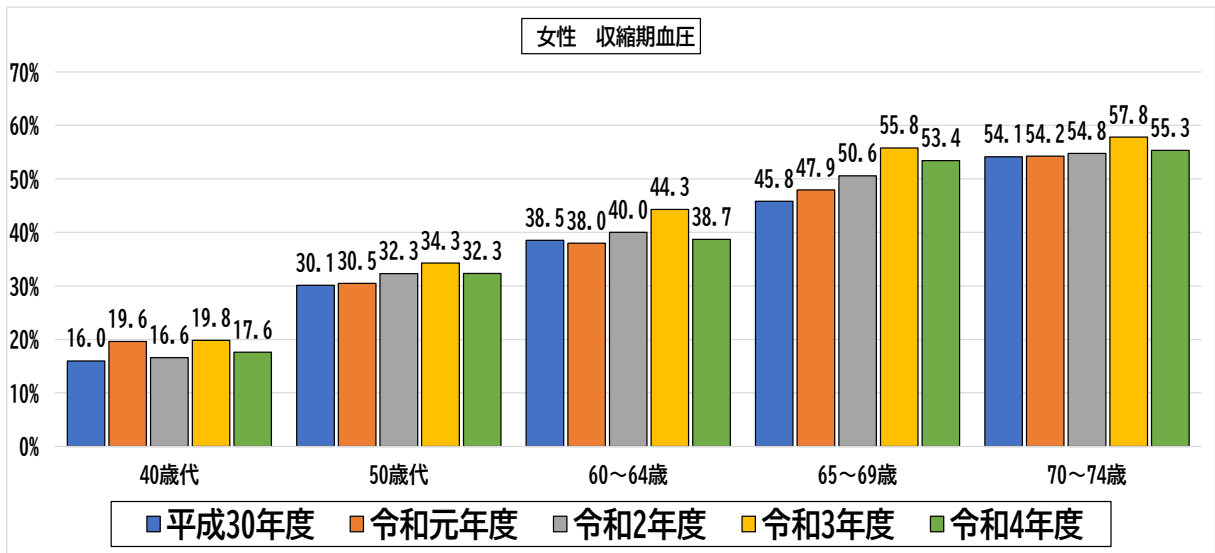


図 65 特定健康診査有所見（収縮期血圧 130 以上）保有割合の推移(女性) 単位：％

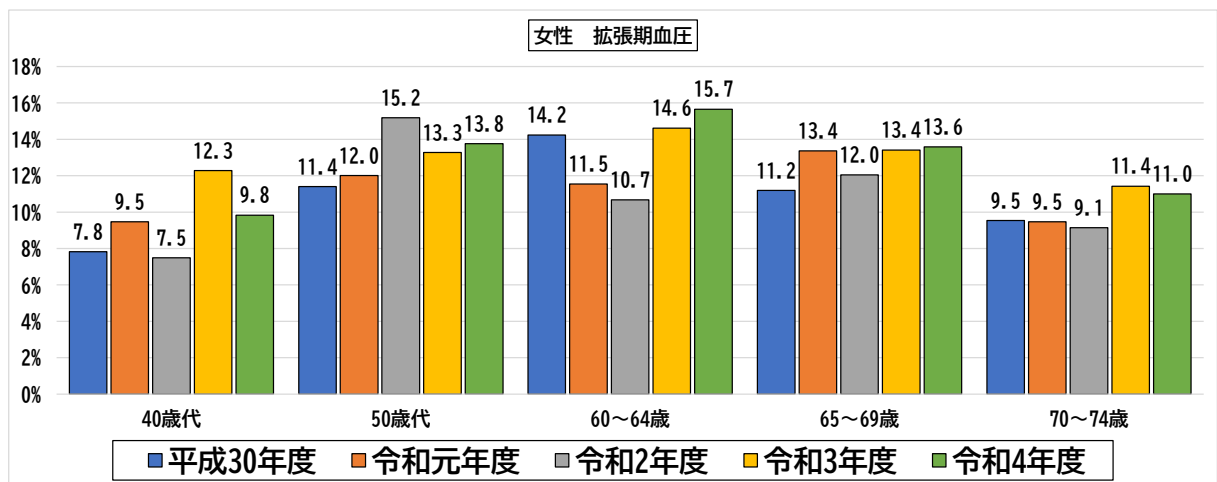
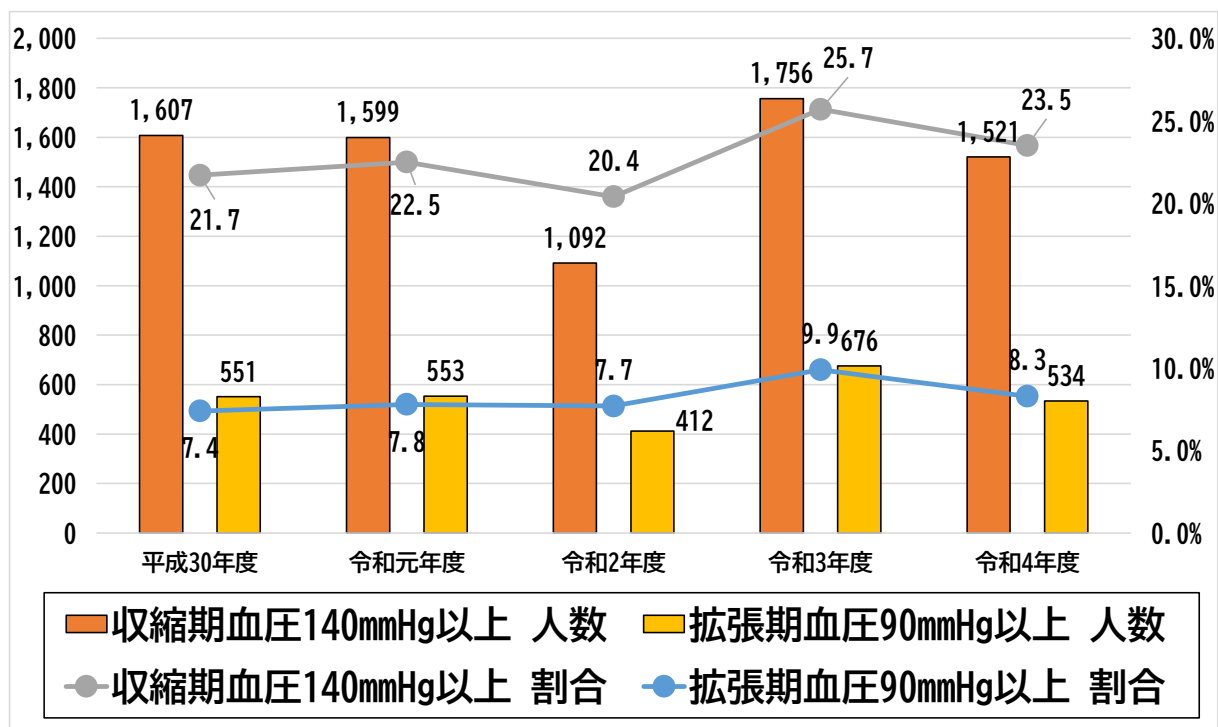


図 66 特定健康診査有所見（拡張期血圧 85 以上）保有割合の推移(女性) 単位：％  
 ※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

【血圧受診勧奨判定値】



収縮期血圧 140mmHg 以上・拡張期血圧 90mmHg 以上の者の割合経年比較    単位：人・％  
 ※旭市健康管理システム「特定健診受診者名簿」（各年度）より



#### (4) 脂質異常症

##### 【医療費】

脂質異常症の平成 30 年度から令和 4 年度の医療費割合は、入院は 0.009 ポイント低く、外来は 0.8 ポイント低くなっています。医療費合計は、2,765 万円減額となっています。

表 58 脂質異常症の医療費の経年変化

単位：千円・％

|        | 入院医療費 | 医療費割合 | 外来医療費   | 医療費割合 | 医療費合計   | 医療費割合 |
|--------|-------|-------|---------|-------|---------|-------|
| 平成30年度 | 203   | 0.009 | 140,981 | 4.1   | 141,184 | 2.5   |
| 令和元年度  | 59    | 0.003 | 139,602 | 4.0   | 139,661 | 2.5   |
| 令和2年度  | 813   | 0.037 | 127,251 | 3.7   | 128,065 | 2.3   |
| 令和3年度  | 489   | 0.021 | 131,800 | 3.8   | 132,289 | 2.3   |
| 令和4年度  | 6     | 0.000 | 113,530 | 3.3   | 113,537 | 2.0   |

※KDB データ 「医療費分析（大、中、細小分類）」（各年度）より

※疾病分類内訳 「大分類）内分泌、栄養および代謝疾患、中分類）脂質異常症、細小分類）脂質異常症」

##### 【有病者】

令和 4 年 5 月診療分の脂質異常症の年齢階層別人数割合は、50 歳代から増え始め 70～74 歳は 33.1%と高い割合になっています。

平成 30 年と比較すると、全体で平成 30 年 16.2%、令和 4 年 18.6%と 2.4 ポイント高くなっています。

また、男女別の生活習慣病対象者における脂質異常症割合では、若年層では男性の割合が高いものの、60 歳代以降は女性が多くなっています。

表 59 脂質異常症の年齢階層別人数割合の比較

単位：人・％

|        | 平成30年5月診療分 |          |      | 令和4年5月診療分 |          |      |
|--------|------------|----------|------|-----------|----------|------|
|        | 被保険者数      | 脂質異常症患者数 | 割合   | 被保険者数     | 脂質異常症患者数 | 割合   |
| 20歳代以下 | 3,926      | 10       | 0.3  | 3,135     | 17       | 0.5  |
| 30歳代   | 1,904      | 37       | 1.9  | 1,543     | 42       | 2.7  |
| 40歳代   | 2,378      | 144      | 6.1  | 2,033     | 157      | 7.7  |
| 50歳代   | 2,827      | 385      | 13.6 | 2,450     | 396      | 16.2 |
| 60～64歳 | 2,691      | 569      | 21.1 | 1,919     | 452      | 23.6 |
| 65～69歳 | 4,247      | 1,161    | 27.3 | 3,338     | 1,000    | 30.0 |
| 70～74歳 | 3,479      | 1,176    | 33.8 | 4,330     | 1,432    | 33.1 |
| 全体     | 21,452     | 3,482    | 16.2 | 18,748    | 3,496    | 18.6 |

※厚生労働省様式「様式 3-4 脂質異常症のレセプト分析」（平成 30 年・令和 4 年 5 月診療分）より

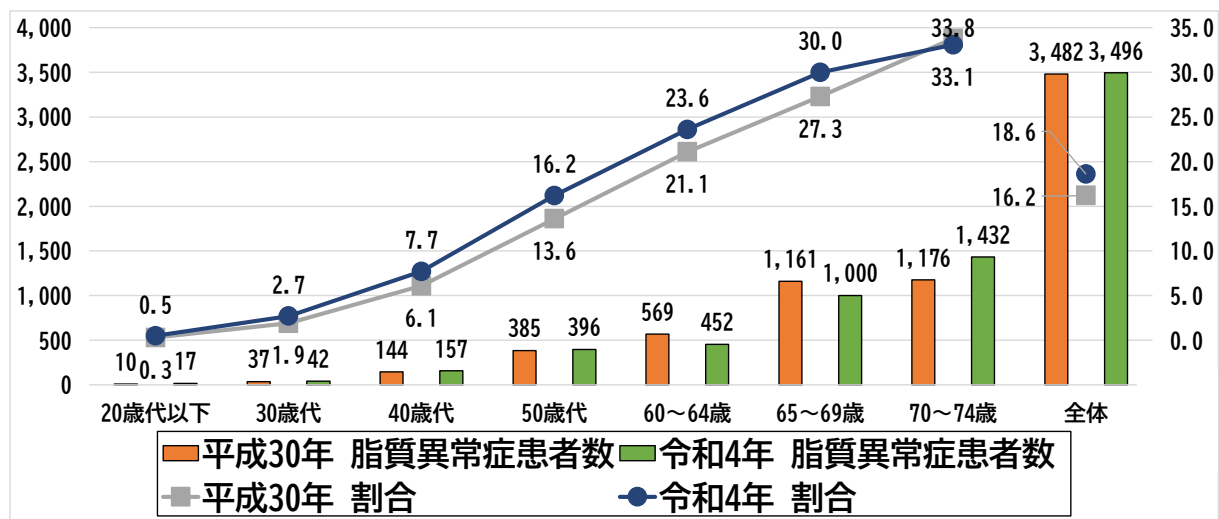


図 67 脂質異常症の年齢階層別人数割合の比較

単位：人・％

※厚生労働省様式「様式 3-4 脂質異常症のレセプト分析」（平成 30 年・令和 4 年 5 月診療分）より

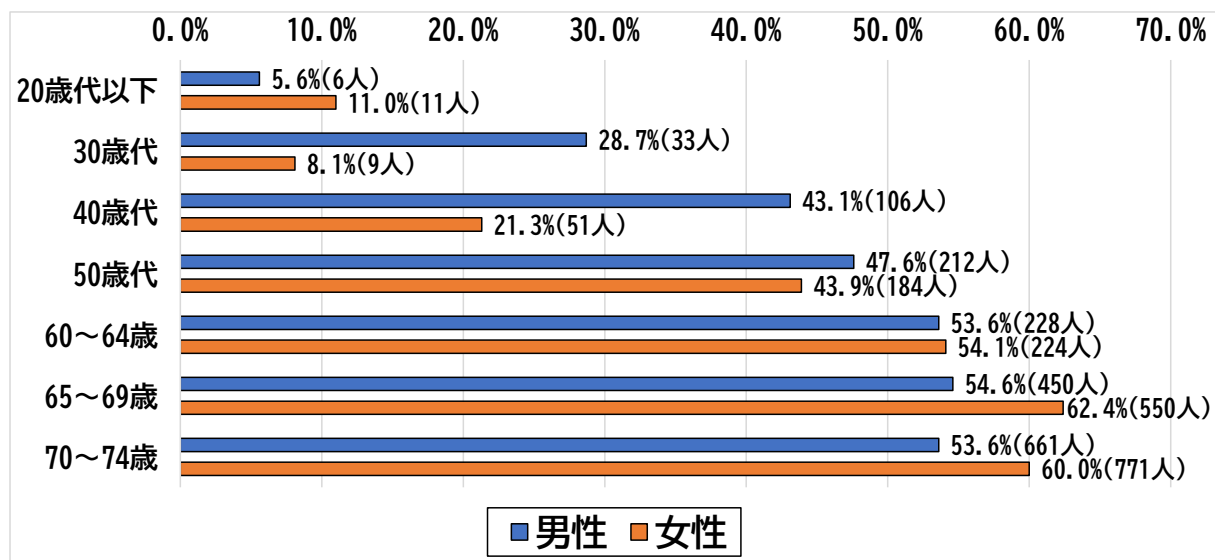


図 68 男女別生活習慣病対象者の脂質異常症割合

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 3-1）」（令和 4 年 5 月診療分）より

【特定健康診査結果】

表 60 特定健康診査有所見（HDL コレステロール 40mg/dL 未満）保有状況

単位：％

|        | 脂質(HDLコレステロール40mg/dL未満) |     |       |     |       |     |       |     |       |     |
|--------|-------------------------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
|        | 平成30年度                  |     | 令和元年度 |     | 令和2年度 |     | 令和3年度 |     | 令和4年度 |     |
|        | 男性                      | 女性  | 男性    | 女性  | 男性    | 女性  | 男性    | 女性  | 男性    | 女性  |
| 40歳代   | 9.0                     | 2.4 | 9.4   | 2.9 | 6.5   | 1.6 | 6.5   | 1.7 | 8.8   | 1.6 |
| 50歳代   | 11.8                    | 2.4 | 10.3  | 1.5 | 7.9   | 1.6 | 10.0  | 1.3 | 9.4   | 2.3 |
| 60～64歳 | 10.3                    | 2.8 | 14.1  | 2.3 | 10.9  | 0.8 | 7.8   | 1.1 | 11.5  | 1.3 |
| 65～69歳 | 12.0                    | 2.8 | 10.5  | 2.0 | 8.5   | 1.8 | 10.3  | 1.3 | 10.0  | 1.9 |
| 70～74歳 | 12.5                    | 3.7 | 11.8  | 2.8 | 11.0  | 2.6 | 10.2  | 3.4 | 11.1  | 3.5 |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

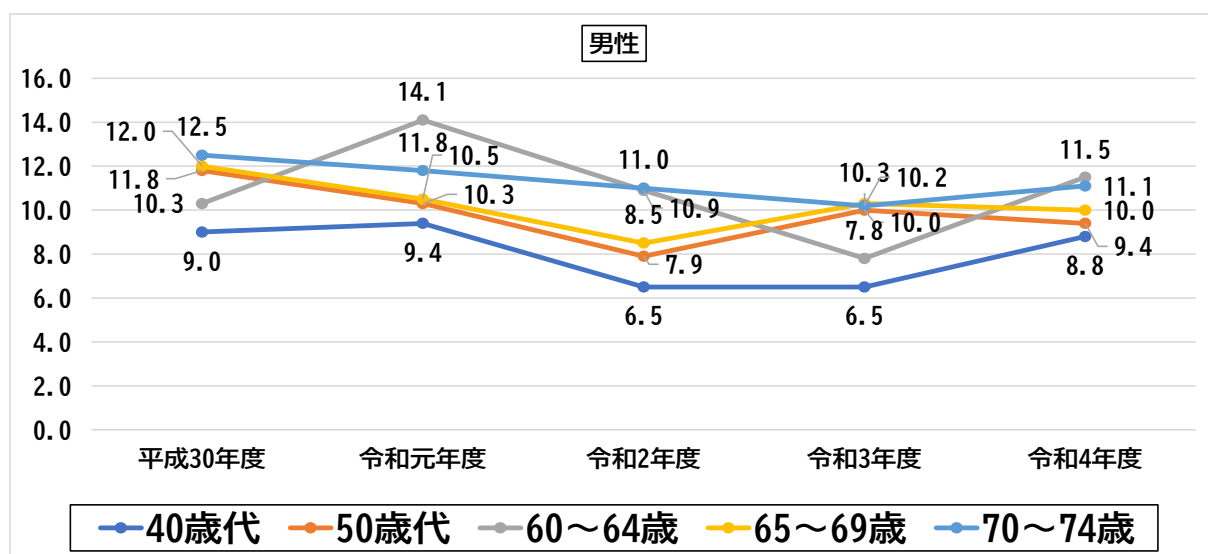


図 69 特定健康診査有所見（HDL コレステロール 40mg/dL 未満）保有割合の推移(男性) 単位：％  
 ※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

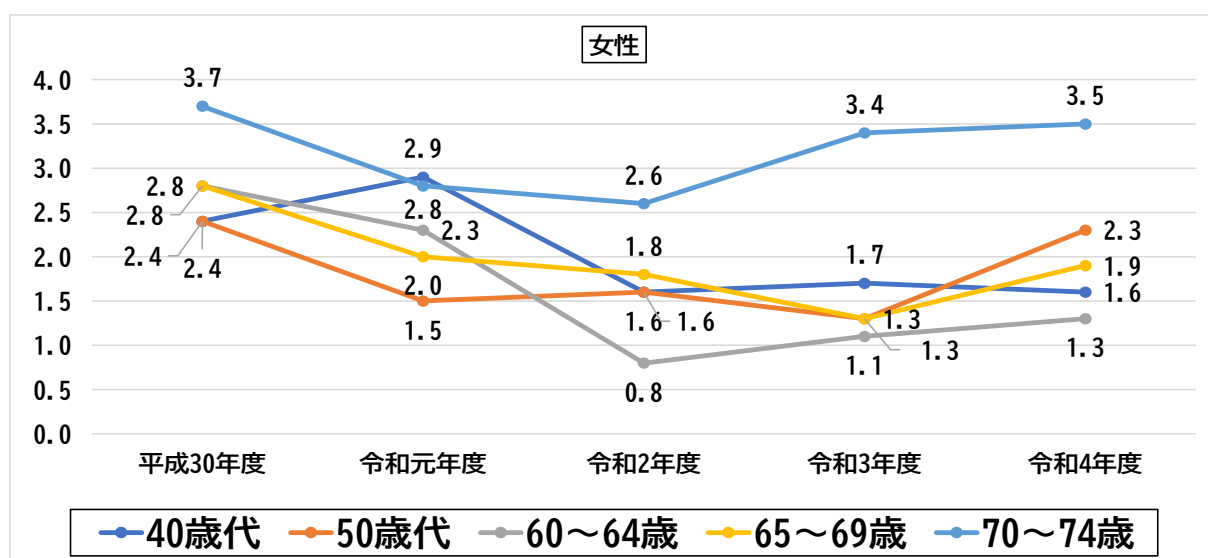


図 70 特定健康診査有所見（HDL コレステロール 40mg/dL 未満）保有割合の推移(女性) 単位：％  
 ※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

表 61 特定健康診査有所見（中性脂肪 150mg/dL 以上）保有状況 単位：％

|        | 脂質(中性脂肪150mg/dl以上) |      |       |      |       |      |       |      |       |      |
|--------|--------------------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
|        | 平成30年度             |      | 令和元年度 |      | 令和2年度 |      | 令和3年度 |      | 令和4年度 |      |
|        | 男性                 | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   |
| 40歳代   | 34.8               | 8.4  | 28.6  | 10.1 | 33.7  | 7.5  | 31.5  | 9.6  | 36.8  | 10.7 |
| 50歳代   | 33.9               | 20.0 | 32.1  | 15.7 | 33.0  | 21.2 | 34.1  | 19.3 | 35.6  | 17.4 |
| 60～64歳 | 32.0               | 16.7 | 31.4  | 16.8 | 32.0  | 18.9 | 29.3  | 19.7 | 32.6  | 19.0 |
| 65～69歳 | 28.6               | 16.4 | 26.5  | 16.9 | 27.9  | 19.7 | 30.9  | 18.8 | 31.5  | 20.0 |
| 70～74歳 | 25.0               | 17.6 | 26.1  | 17.3 | 27.9  | 18.3 | 26.9  | 19.6 | 25.8  | 20.5 |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

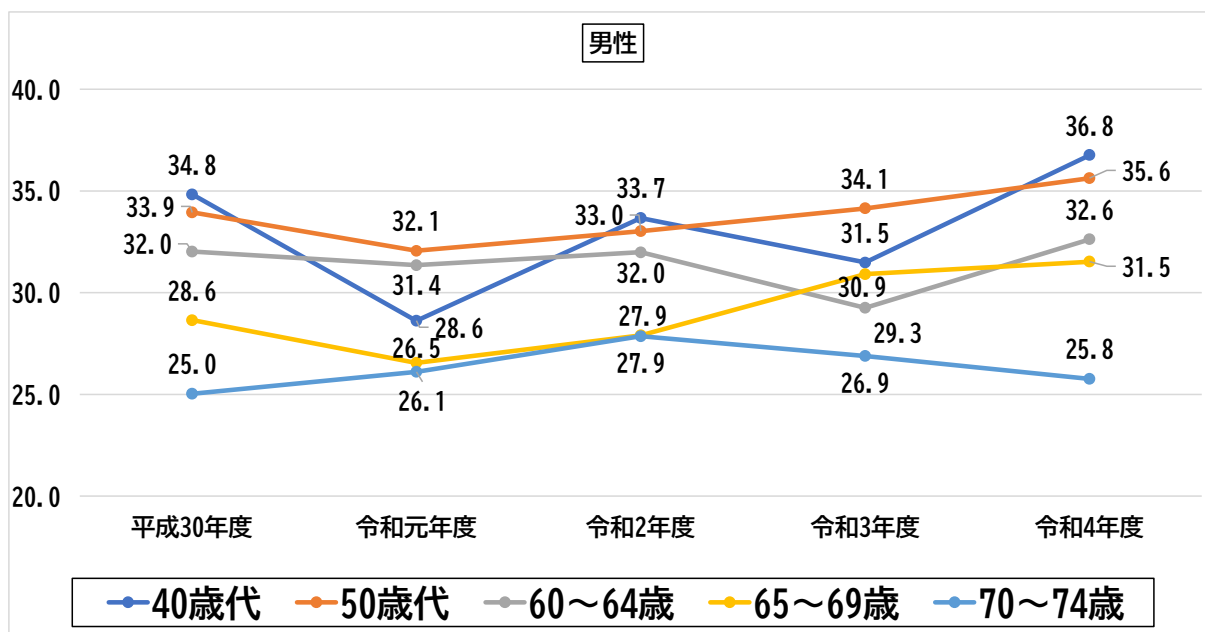


図 71 特定健康診査有所見（中性脂肪 150mg/dL 以上）保有割合の推移(男性) 単位：％  
 ※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

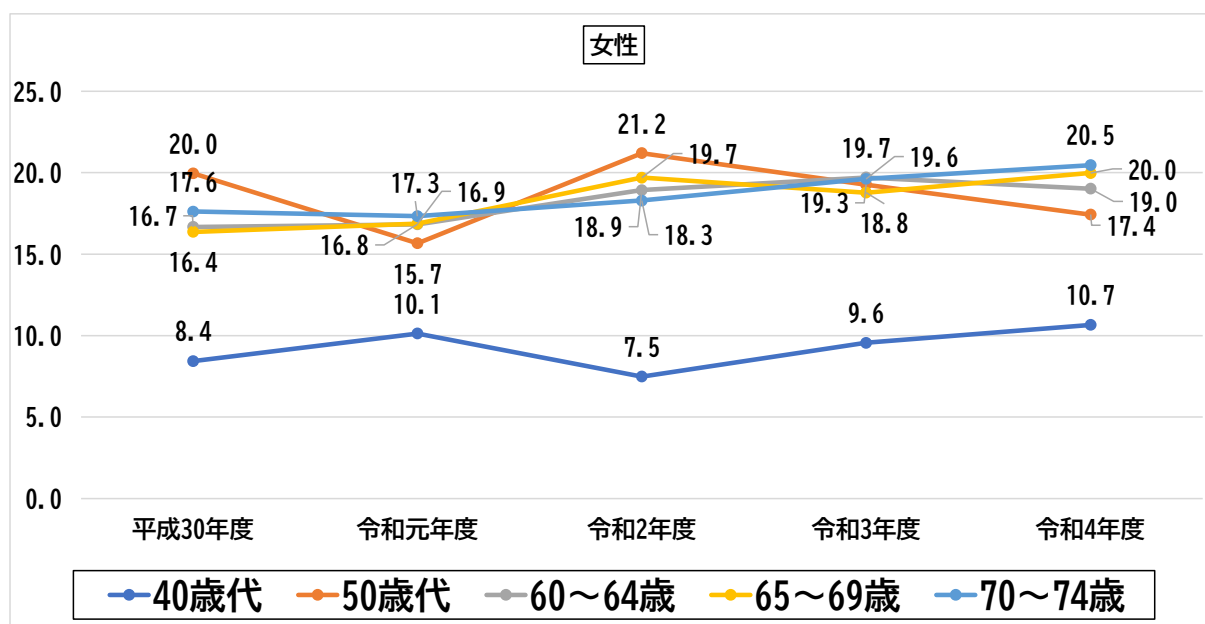


図 72 特定健康診査有所見（中性脂肪 150mg/dL 以上）保有割合の推移(女性) 単位：％  
 ※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

## (5) 脳血管疾患

### 【医療費】

脳血管疾患の平成 30 年度から令和 4 年度の医療費割合は、入院は 0.6 ポイント高く、外来は 0.1 ポイントで横ばいです。医療費合計は、1,457 万円の増額となっています。

表 62 脳血管疾患の医療費の経年変化

単位：千円・％

|        | 入院医療費  | 医療費割合 | 外来医療費 | 医療費割合 | 医療費合計  | 医療費割合 |
|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 平成30年度 | 8,168  | 0.4   | 3,828 | 0.1   | 11,996 | 0.2   |
| 令和元年度  | 11,980 | 0.6   | 4,779 | 0.1   | 16,759 | 0.3   |
| 令和2年度  | 23,408 | 1.1   | 4,918 | 0.1   | 28,326 | 0.5   |
| 令和3年度  | 27,347 | 1.2   | 3,916 | 0.1   | 31,263 | 0.5   |
| 令和4年度  | 22,121 | 1.0   | 4,449 | 0.1   | 26,570 | 0.5   |

※KDB データ 「医療費分析（大、中、細小分類）」（各年度）より

※疾病分類内訳 「中分類」その他の脳血管疾患」

### 【有病者】

令和 4 年 5 月診療分の脳血管疾患の年齢階層別人数割合は、50 歳代から増加しています。

平成 30 年と比較すると、全体で、平成 30 年 2.7%、令和 4 年 3.2%と 0.5 ポイント高くなっています。

表 63 脳血管疾患の年齢階層別人数割合の比較

単位：％

|        | 平成30年5月診療分 |          |     | 令和4年5月診療分 |          |     |
|--------|------------|----------|-----|-----------|----------|-----|
|        | 被保険者数      | 脳血管疾患患者数 | 割合  | 被保険者数     | 脳血管疾患患者数 | 割合  |
| 20歳代以下 | 3,926      | 1        | 0.0 | 3,135     | 1        | 0.0 |
| 30歳代   | 1,904      | 2        | 0.1 | 1,543     | 3        | 0.2 |
| 40歳代   | 2,378      | 21       | 0.9 | 2,033     | 31       | 1.5 |
| 50歳代   | 2,827      | 64       | 2.3 | 2,450     | 60       | 2.4 |
| 60～64歳 | 2,691      | 89       | 3.3 | 1,919     | 80       | 4.2 |
| 65～69歳 | 4,247      | 176      | 4.1 | 3,338     | 155      | 4.6 |
| 70～74歳 | 3,479      | 235      | 6.8 | 4,330     | 278      | 6.4 |
| 全体     | 21,452     | 588      | 2.7 | 18,748    | 608      | 3.2 |

※厚生労働省様式「様式 3-6 脳血管疾患のレセプト分析」（平成 30 年・令和 4 年 5 月診療分）より



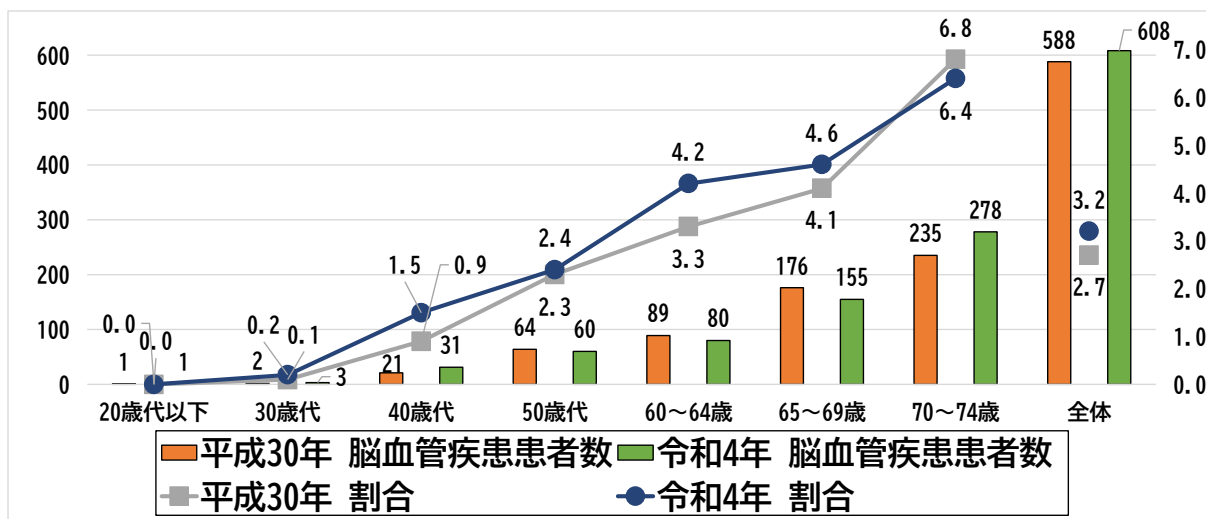


図 73 脳血管疾患の年齢階層別人数割合の比較

単位：人・％

※厚生労働省様式「様式 3-6 脳血管疾患のレセプト分析」（平成 30 年・令和 4 年 5 月診療分）より

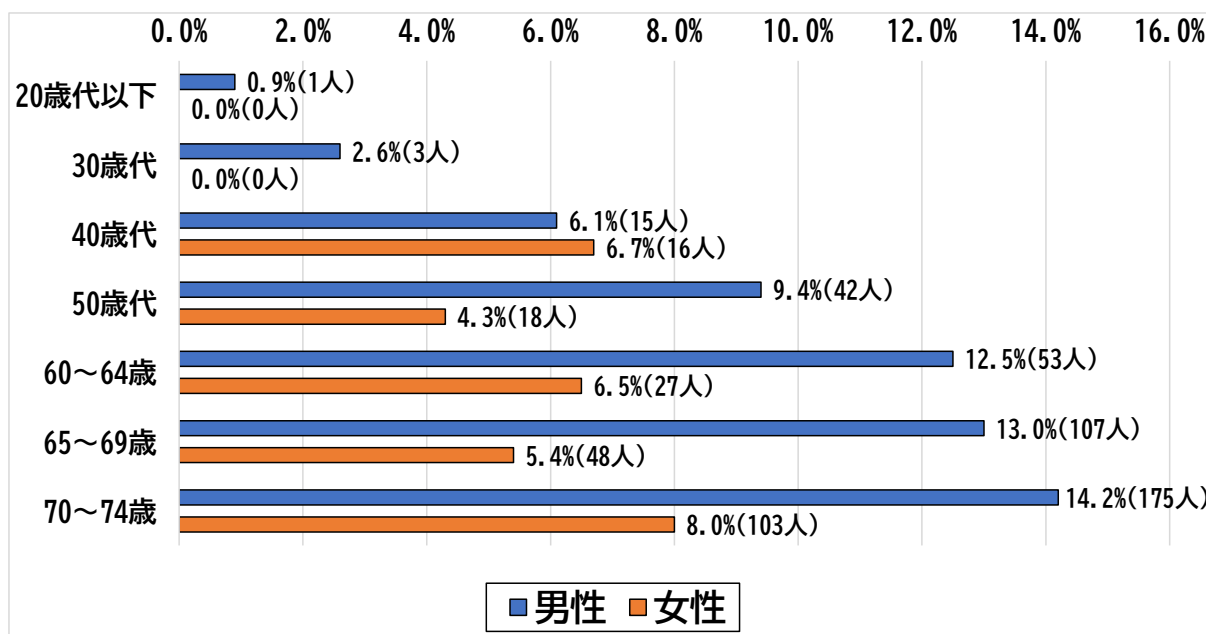


図 74 男女別生活習慣病対象者の脳血管疾患割合

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 3-1）」（令和 4 年 5 月診療分）より

## (6) 虚血性心疾患

### 【医療費】

虚血性心疾患の平成 30 年度から令和 4 年度の医療費割合は、入院は 0.7 ポイント高く、外来は 0.1 ポイント低くなっています。医療費合計は、1,566 万円増額となっています。

表 64 虚血性心疾患の医療費の経年変化

単位：千円・％

|        | 入院医療費   | 医療費割合 | 外来医療費  | 医療費割合 | 医療費合計   | 医療費割合 |
|--------|---------|-------|--------|-------|---------|-------|
| 平成30年度 | 85,341  | 3.9   | 38,688 | 1.1   | 124,030 | 2.2   |
| 令和元年度  | 90,075  | 4.2   | 33,700 | 1.0   | 123,774 | 2.2   |
| 令和2年度  | 77,973  | 3.6   | 30,898 | 0.9   | 108,870 | 1.9   |
| 令和3年度  | 87,698  | 3.8   | 30,232 | 0.9   | 117,930 | 2.0   |
| 令和4年度  | 103,859 | 4.6   | 35,831 | 1.0   | 139,690 | 2.5   |

※KDB データ 「医療費分析（大、中、細小分類）」（各年度）より

※疾病分類内訳 「中分類」虚血性心疾患」

### 【有病者】

令和 4 年 5 月診療分の虚血性心疾患の年齢階層別人数割合は、40 歳代から増加しています。特に 70～74 歳が 7.2%と急増しています。

平成 30 年と比較すると、全体で平成 30 年 2.9%、令和 4 年 3.5%と 0.6 ポイント高くなっています。

表 65 虚血性心疾患の年齢階層別人数割合の比較

単位：％

|        | 平成30年5月診療分 |               |     | 令和4年5月診療分 |               |     |
|--------|------------|---------------|-----|-----------|---------------|-----|
|        | 被保険者数      | 虚血性心疾患<br>患者数 | 割合  | 被保険者数     | 虚血性心疾患<br>患者数 | 割合  |
| 20歳代以下 | 3,926      | 0             | 0.0 | 3,135     | 4             | 0.1 |
| 30歳代   | 1,904      | 3             | 0.2 | 1,543     | 7             | 0.5 |
| 40歳代   | 2,378      | 18            | 0.8 | 2,033     | 23            | 1.1 |
| 50歳代   | 2,827      | 48            | 1.7 | 2,450     | 81            | 3.3 |
| 60～64歳 | 4,247      | 86            | 2.0 | 1,919     | 71            | 3.7 |
| 65～69歳 | 3,479      | 195           | 5.6 | 3,338     | 159           | 4.8 |
| 70～74歳 | 3,479      | 269           | 7.7 | 4,330     | 312           | 7.2 |
| 全体     | 21,452     | 619           | 2.9 | 18,748    | 657           | 3.5 |

※厚生労働省様式「様式 3-5 虚血性心疾患のレセプト分析」（平成 30 年・令和 4 年 5 月診療分）より

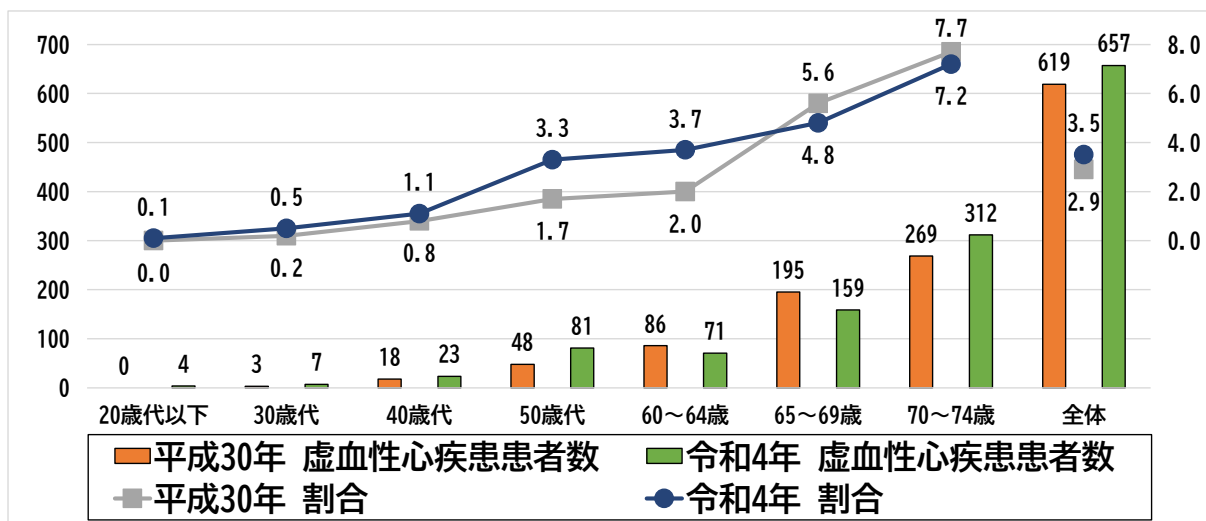


図 75 虚血性心疾患の年齢階層別人数割合の比較

単位：人・％

※厚生労働省様式「様式 3-5 虚血性心疾患のレセプト分析」（平成 30 年・令和 4 年 5 月診療分）より

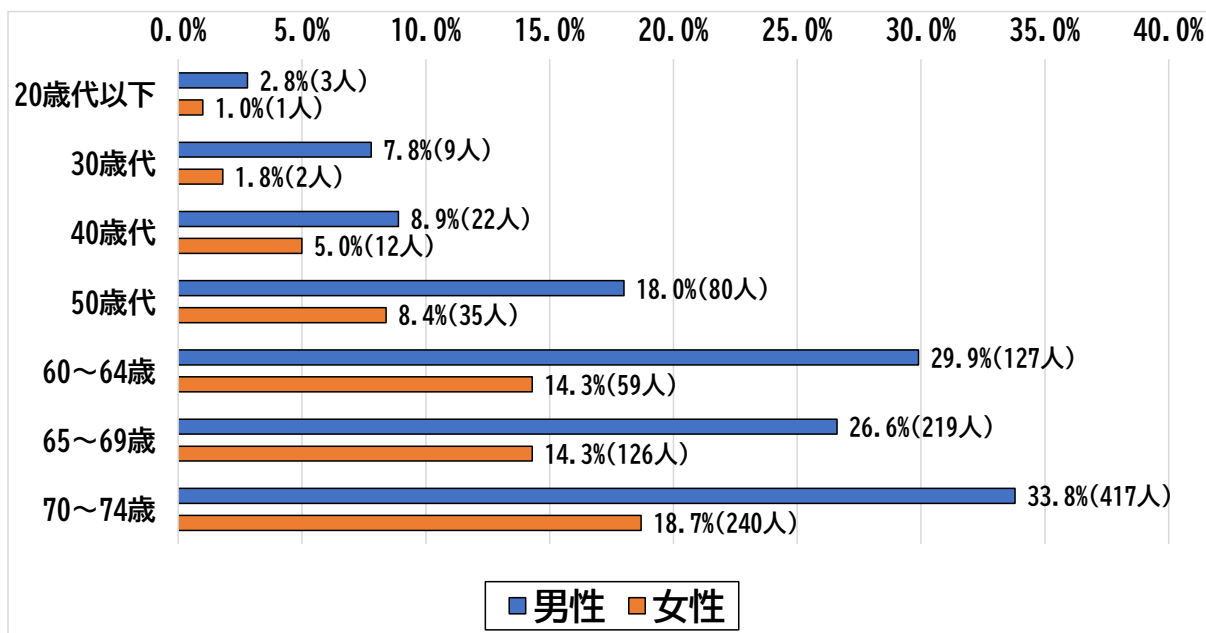


図 76 男女別生活習慣病対象者の虚血性心疾患割合

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 3-1）」（令和 4 年 5 月診療分）より

# (7) 慢性腎臓病

## 【医療費】

慢性腎臓病（透析あり）の平成 30 年度から令和 4 年度の医療費割合は、入院は変わらず、外来も 0.7 ポイント低くなっています。医療費合計は、2,190 万円減額となっています。

表 66 慢性腎臓病（透析あり）の医療費の経年変化 単位：千円・％

|        | 入院医療費  | 医療費割合 | 外来医療費   | 医療費割合 | 医療費合計   | 医療費割合 |
|--------|--------|-------|---------|-------|---------|-------|
| 平成30年度 | 60,924 | 2.8   | 146,584 | 4.3   | 207,508 | 3.7   |
| 令和元年度  | 55,979 | 2.6   | 155,853 | 4.5   | 211,832 | 3.8   |
| 令和2年度  | 66,785 | 3.1   | 156,100 | 4.5   | 222,885 | 4.0   |
| 令和3年度  | 87,262 | 3.8   | 134,688 | 3.9   | 221,950 | 3.8   |
| 令和4年度  | 62,148 | 2.8   | 123,462 | 3.6   | 185,610 | 3.3   |

※KDB データ 「医療費分析（大、中、細小分類）」（各年度）より

※疾病分類内訳 「大分類）尿路性器系の疾患、中分類）腎不全、細小分類）慢性腎臓病（透析あり）」

慢性腎臓病（透析なし）の平成 30 年度から令和 4 年度の医療費割合は、入院は変わらず、外来は 0.1 ポイント高くなっています。医療費合計は、451 万円増額となっています。

表 67 慢性腎臓病（透析なし）の医療費の経年変化 単位：千円・％

|        | 入院医療費 | 医療費割合 | 外来医療費 | 医療費割合 | 医療費合計 | 医療費割合 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 平成30年度 | 1,696 | 0.1   | 2,574 | 0.1   | 4,270 | 0.1   |
| 令和元年度  | 4,753 | 0.2   | 3,395 | 0.1   | 8,148 | 0.1   |
| 令和2年度  | 1,206 | 0.1   | 6,194 | 0.2   | 7,399 | 0.1   |
| 令和3年度  | 4,196 | 0.2   | 5,156 | 0.1   | 9,353 | 0.2   |
| 令和4年度  | 3,283 | 0.1   | 5,494 | 0.2   | 8,777 | 0.2   |

※KDB データ 「医療費分析（大、中、細小分類）」（各年度）より

※疾病分類内訳 「大分類）尿路性器系の疾患、中分類）腎不全、細小分類）慢性腎臓病（透析なし）」

## 【有病者】

人工透析患者の割合は、令和 4 年 5 月診療分では平成 30 年との比較で 40 歳代と 50 歳代で年齢移行もあるが、多い状況である。

表 68 人工透析患者の年齢階層別人数割合の比較 単位：人・％

|        | 平成30年5月診療分 |         |     | 令和4年5月診療分 |         |     |
|--------|------------|---------|-----|-----------|---------|-----|
|        | 被保険者数      | 人工透析患者数 | 割合  | 被保険者数     | 人工透析患者数 | 割合  |
| 20歳代以下 | 3,926      | 0       | 0.0 | 3,135     | 0       | 0.0 |
| 30歳代   | 1,904      | 1       | 0.1 | 1,543     | 3       | 0.2 |
| 40歳代   | 2,378      | 11      | 0.5 | 2,033     | 5       | 0.2 |
| 50歳代   | 2,827      | 18      | 0.6 | 2,450     | 22      | 0.9 |
| 60～64歳 | 4,247      | 10      | 0.4 | 1,919     | 12      | 0.6 |
| 65～69歳 | 3,479      | 19      | 0.4 | 3,338     | 12      | 0.4 |
| 70～74歳 | 3,479      | 11      | 0.3 | 4,330     | 18      | 0.4 |
| 全体     | 21,452     | 70      | 0.3 | 18,748    | 72      | 0.4 |

※厚生労働省様式「様式 3-7 人工透析のレセプト分析」（平成 30 年・令和 4 年 5 月診療分）より

# 【特定健康診査結果】

特定健康診査結果における血清クレアチニン有所見者の割合は、男性が女性より高く、年齢階層別は、70～74歳男性が3.52%で最も多い状況です。令和4年度の60～64歳男性は、2.11%で、平成30年度と比較すると1.86ポイント増加しています。

表 69 特定健康診査有所見（血清クレアチニン）保有状況

単位：％

|        | 血清クレアチニン(男性1.01mg/dL以上 女性0.71mg/dL以上) |      |       |      |       |      |       |      |       |      |
|--------|---------------------------------------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
|        | 平成30年度                                |      | 令和元年度 |      | 令和2年度 |      | 令和3年度 |      | 令和4年度 |      |
|        | 男性                                    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   |
| 40歳代   | 0.00                                  | 0.00 | 0.31  | 0.33 | 0.50  | 0.53 | 0.31  | 0.00 | 0.37  | 0.00 |
| 50歳代   | 0.69                                  | 0.41 | 0.48  | 0.43 | 0.94  | 0.32 | 0.44  | 0.00 | 0.23  | 0.23 |
| 60～64歳 | 0.25                                  | 0.17 | 1.08  | 0.39 | 0.40  | 0.27 | 2.39  | 0.00 | 2.11  | 0.45 |
| 65～69歳 | 1.82                                  | 0.17 | 1.90  | 0.09 | 2.42  | 0.13 | 1.82  | 0.11 | 1.81  | 0.11 |
| 70～74歳 | 2.35                                  | 0.09 | 2.75  | 0.09 | 2.77  | 0.10 | 2.78  | 0.16 | 3.52  | 0.32 |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

※血清クレアチニンは腎機能の低下に伴い数値が上昇する検査項目で、男性 1.01mg/dL 以上、女性 0.71mg/dL 以上を有所見判定値としています。

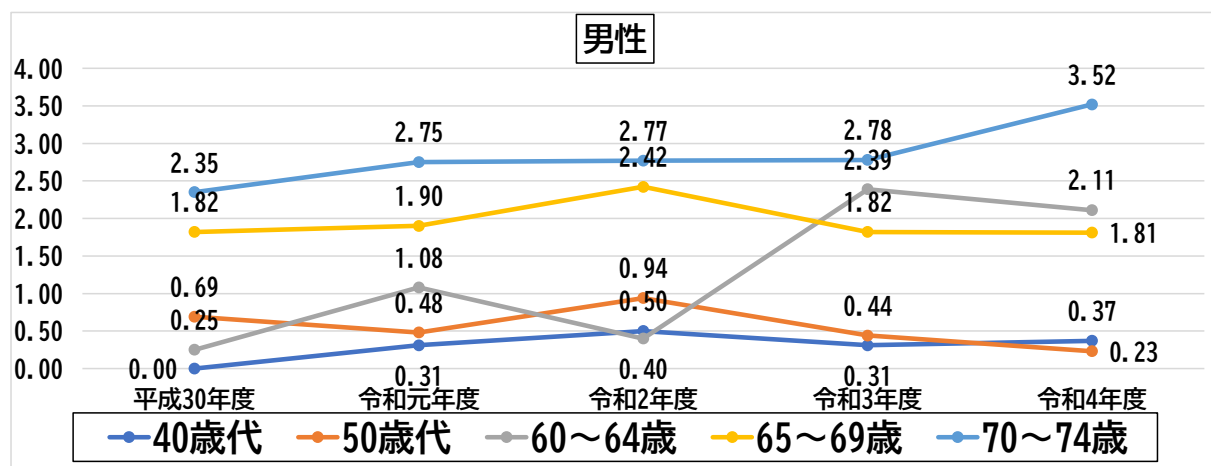


図 77 特定健康診査有所見（血清クレアチニン 1.01mg/dL 以上）保有割合の推移(男性) 単位：％

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

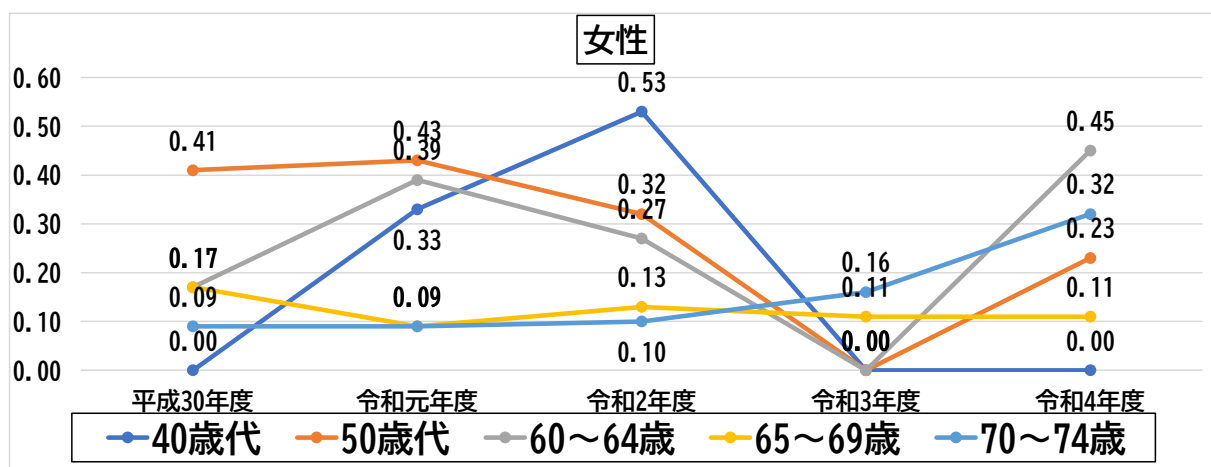


図 78 特定健康診査有所見（血清クレアチニン 0.71mg/dL 以上）保有割合の推移(女性) 単位：％

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

表 70 特定健康診査有所見（eGFR60mL/min未満）保有状況

単位：％

|        | e G F R (60mL/min未満) |      |       |      |       |      |       |      |       |      |
|--------|----------------------|------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
|        | 平成30年度               |      | 令和元年度 |      | 令和2年度 |      | 令和3年度 |      | 令和4年度 |      |
|        | 男性                   | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   | 男性    | 女性   |
| 40歳代   | 1.5                  | 0.6  | 3.1   | 2.3  | 3.5   | 1.6  | 1.9   | 3.4  | 1.8   | 2.5  |
| 50歳代   | 4.6                  | 4.9  | 5.0   | 5.8  | 6.6   | 9.5  | 6.7   | 4.7  | 5.7   | 8.0  |
| 60～64歳 | 8.9                  | 7.1  | 11.9  | 8.0  | 15.4  | 11.5 | 13.7  | 12.1 | 14.8  | 11.6 |
| 65～69歳 | 13.3                 | 9.7  | 14.3  | 11.1 | 16.1  | 13.8 | 17.5  | 13.1 | 17.6  | 15.7 |
| 70～74歳 | 19.8                 | 15.9 | 19.8  | 15.4 | 24.6  | 20.5 | 23.0  | 18.0 | 22.4  | 18.6 |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

※eGFR とは「推算糸球体濾過量（すいさんしきゅうたいろかりょう）」の略。腎臓は血液中の老廃物を尿により体外に排出する機能を有していますが、腎臓の機能（腎機能）は、「糸球体濾過（ろか）量」（GFR：Glomerular Filtration Rate）という指標で評価されており、この値が 60 を下回る場合、腎機能低下の状態とされています。この GFR を血液検査による「血清クレアチニン値」、「年齢」、「性別」で推算する方法が開発されており、この推算式に基づく GFR を eGFR（estimated GFR、推算 GFR）と言われています。

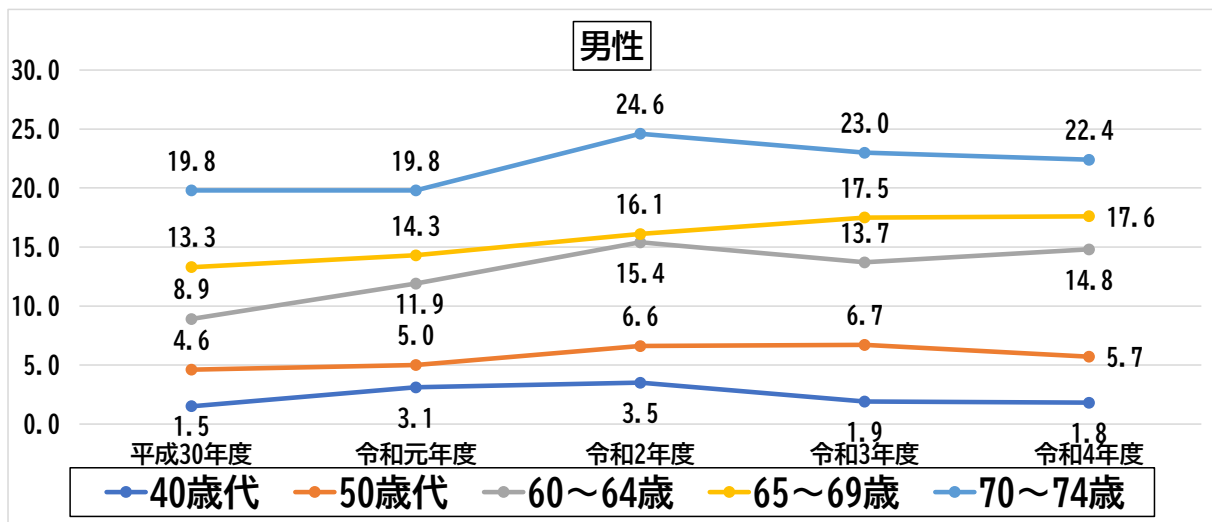


図 79 特定健康診査有所見（eGFR60mL/min未満）保有割合の推移(男性) 単位：％

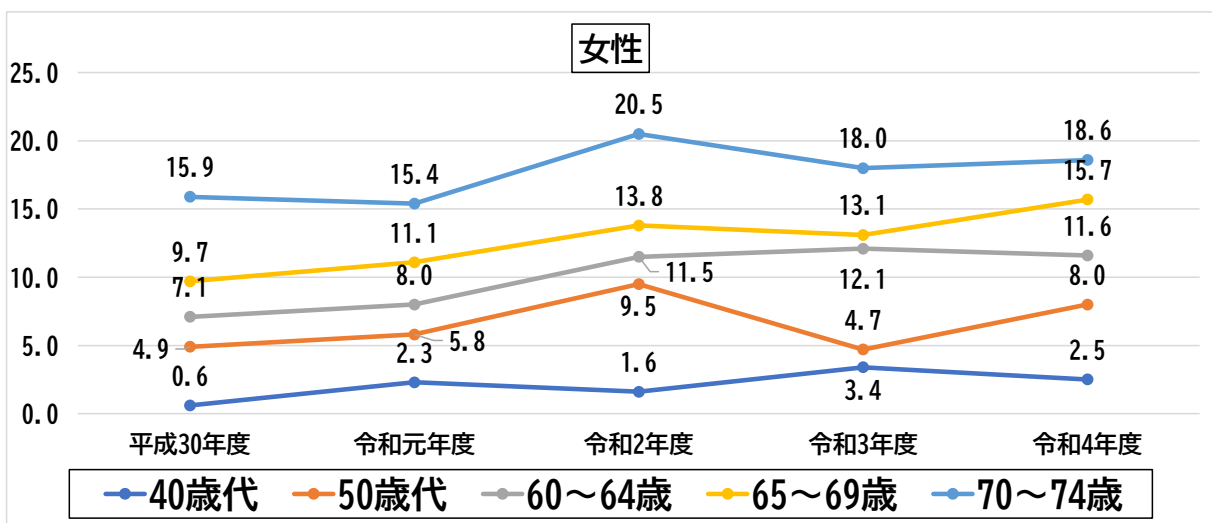


図 80 特定健康診査有所見（eGFR60mL/min未満）保有割合の推移(女性) 単位：％

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 5-2） 健診有所見者状況（男女別・年代別）」（各年度）より

【特定健康診査受診者における糖尿病性腎症発症リスクに関する分析】

平成 30 年度および令和 4 年度特定健康診査受診者のうち、腎機能の状態について、eGFR 値と蛋白尿から分類したものです。保健指導判定値及び受診勧奨値の G3 から G5 と蛋白尿 (+) 以上の人で比較すると、平成 30 年度は 67 人 (0.9%)、令和 4 年度は 60 人 (0.9%) と割合に変化はありませんでした。

表 71 受診者全体の慢性腎臓病 (CKD) 重症度分析 (平成 30 年度) 単位: 人・%

|                           |     | 尿蛋白区分           |       | 尿蛋白区分 |      |     |     |      |     |        |     |     |     | 計     |       |
|---------------------------|-----|-----------------|-------|-------|------|-----|-----|------|-----|--------|-----|-----|-----|-------|-------|
|                           |     |                 |       | (－)   |      | (±) |     | (1＋) |     | (2＋以上) |     | 未測定 |     |       |       |
| GFR区分<br>(mL/分/<br>1.73㎡) | G1  | 正常または<br>高値     | ≧90   | 1,152 | 15.5 | 99  | 1.3 | 16   | 0.2 | 7      | 0.1 | 1   | 0.0 | 1,275 | 17.1  |
|                           | G2  | 正常または<br>軽度低下   | 60～89 | 4,798 | 64.7 | 411 | 5.5 | 117  | 1.6 | 23     | 0.3 | 3   | 0.0 | 5,352 | 72.1  |
|                           | G3a | 軽度～<br>中等度低下    | 45～59 | 590   | 8.0  | 65  | 0.9 | 25   | 0.3 | 15     | 0.2 | 0   | 0.0 | 695   | 9.4   |
|                           | G3b | 中等度～<br>高度低下    | 30～44 | 51    | 0.7  | 5   | 0.1 | 6    | 0.1 | 8      | 0.1 | 0   | 0.0 | 70    | 1.0   |
|                           | G4  | 高度低下            | 15～29 | 5     | 0.1  | 1   | 0.0 | 4    | 0.1 | 7      | 0.1 | 0   | 0.0 | 17    | 0.3   |
|                           | G5  | 末期腎不全<br>(ESKD) | <15   | 0     | 0.0  | 1   | 0.0 | 0    | 0.0 | 2      | 0.0 | 0   | 0.0 | 3     | 0.0   |
|                           | 未測定 |                 |       | 5     | 0.1  | 0   | 0.0 | 0    | 0.0 | 0      | 0.0 | 0   | 0.0 | 5     | 0.1   |
| 計                         |     |                 |       | 6,601 | 89.1 | 582 | 7.8 | 168  | 2.3 | 62     | 0.8 | 4   | 0.0 | 7,417 | 100.0 |

※旭市健康管理システム「特定健診受診者名簿」(平成 30 年度)より

表 72 受診者全体の慢性腎臓病 (CKD) 重症度分析 (令和 4 年度) 単位: 人・%

|                           |     | 尿蛋白区分           |       | 尿蛋白区分 |      |     |     |      |     |        |     |     |     | 計     |       |
|---------------------------|-----|-----------------|-------|-------|------|-----|-----|------|-----|--------|-----|-----|-----|-------|-------|
|                           |     |                 |       | (－)   |      | (±) |     | (1＋) |     | (2＋以上) |     | 未測定 |     |       |       |
| GFR区分<br>(mL/分/<br>1.73㎡) | G1  | 正常または<br>高値     | ≧90   | 939   | 14.5 | 50  | 0.8 | 10   | 0.2 | 1      | 0.0 | 2   | 0.0 | 1,002 | 15.5  |
|                           | G2  | 正常または<br>軽度低下   | 60～89 | 4,201 | 65.0 | 248 | 3.8 | 70   | 1.1 | 16     | 0.2 | 3   | 0.0 | 4,538 | 70.1  |
|                           | G3a | 軽度～<br>中等度低下    | 45～59 | 706   | 10.9 | 67  | 1.0 | 25   | 0.4 | 9      | 0.1 | 0   | 0.0 | 807   | 12.4  |
|                           | G3b | 中等度～<br>高度低下    | 30～44 | 68    | 1.1  | 7   | 0.1 | 7    | 0.1 | 8      | 0.1 | 0   | 0.0 | 90    | 1.4   |
|                           | G4  | 高度低下            | 15～29 | 7     | 0.1  | 1   | 0.0 | 3    | 0.0 | 2      | 0.0 | 0   | 0.0 | 13    | 0.1   |
|                           | G5  | 末期腎不全<br>(ESKD) | <15   | 2     | 0.0  | 0   | 0.0 | 2    | 0.0 | 4      | 0.1 | 1   | 0.0 | 9     | 0.1   |
|                           | 未測定 |                 |       | 3     | 0.0  | 0   | 0.0 | 0    | 0.0 | 0      | 0.0 | 0   | 0.0 | 3     | 0.0   |
| 計                         |     |                 |       | 5,926 | 91.6 | 373 | 5.7 | 117  | 1.8 | 40     | 0.5 | 6   | 0.0 | 6,462 | 100.0 |

※旭市健康管理システム「特定健診受診者名簿」(令和 4 年度)より

糖尿病が原因で慢性的に腎臓の機能の低下が起きている状態が、「糖尿病性腎症」です。平成 30 年度および令和 4 年度特定健康診査受診者のうち、糖尿病型（HbA1c6.5%以上）にある人の腎機能の状態について、eGFR 値と蛋白尿から分類したものです。これにより、糖尿病（もしくは疑いのある）の人の腎症発症のリスク者がどの位いるかが明らかになります。糖尿病型の慢性腎臓病で G3 から G5 と蛋白尿（+）以上の人で比較すると、平成 30 年度は 18 人（3.1%）のところ、令和 4 年度は 21 人（3.5%）で 0.4 ポイント高くなっています。糖尿病性腎症の重症化予防のためには、糖尿病の予防が必要です。

表 73 糖尿病型の慢性腎臓病（CKD）重症度分析（平成 30 年度）

単位：人・%

|                                         |     | 尿蛋白区分           |       | 尿蛋白区分 |      |     |     |      |     |        |     |     |     | 計   |       |
|-----------------------------------------|-----|-----------------|-------|-------|------|-----|-----|------|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-------|
|                                         |     |                 |       | (－)   |      | (±) |     | (1＋) |     | (2＋以上) |     | 未測定 |     |     |       |
| GFR区分<br>(mL/分/<br>1.73m <sup>2</sup> ) | G1  | 正常または<br>高値     | ≧90   | 99    | 17.2 | 12  | 2.1 | 2    | 0.3 | 3      | 0.5 | 0   | 0.0 | 116 | 20.1  |
|                                         | G2  | 正常または<br>軽度低下   | 60～89 | 296   | 51.3 | 40  | 6.9 | 33   | 5.7 | 8      | 1.4 | 0   | 0.0 | 377 | 65.3  |
|                                         | G3a | 軽度～<br>中等度低下    | 45～59 | 49    | 8.5  | 4   | 0.7 | 10   | 1.7 | 2      | 0.3 | 0   | 0.0 | 65  | 11.2  |
|                                         | G3b | 中等度～<br>高度低下    | 30～44 | 12    | 2.1  | 1   | 0.2 | 1    | 0.2 | 2      | 0.3 | 0   | 0.0 | 16  | 2.8   |
|                                         | G4  | 高度低下            | 15～29 | 0     | 0.0  | 0   | 0.0 | 0    | 0.0 | 3      | 0.5 | 0   | 0.0 | 3   | 0.5   |
|                                         | G5  | 末期腎不全<br>(ESKD) | <15   | 0     | 0.0  | 0   | 0.0 | 0    | 0.0 | 0      | 0.0 | 0   | 0.0 | 0   | 0.0   |
|                                         | 未測定 |                 |       | 0     | 0.0  | 0   | 0.0 | 0    | 0.0 | 0      | 0.0 | 0   | 0.0 | 0   | 0.0   |
| 計                                       |     |                 |       | 456   | 79.1 | 57  | 9.9 | 46   | 7.9 | 18     | 3.0 | 0   | 0.0 | 577 | 100.0 |

※旭市健康管理システム「特定健診受診者名簿」（平成 30 年度）より

表 74 糖尿病型の慢性腎臓病（CKD）重症度分析（令和 4 年度）

単位：人・%

|                           |     | 尿蛋白区分           |       | 尿蛋白区分 |      |     |      |      |     |        |     |     |     | 計   |       |
|---------------------------|-----|-----------------|-------|-------|------|-----|------|------|-----|--------|-----|-----|-----|-----|-------|
|                           |     |                 |       | (－)   |      | (±) |      | (1＋) |     | (2＋以上) |     | 未測定 |     |     |       |
| GFR区分<br>(mL/分/<br>1.73㎡) | G1  | 正常または<br>高値     | ≧90   | 98    | 16.4 | 10  | 1.7  | 2    | 0.3 | 1      | 0.2 | 0   | 0.0 | 111 | 18.6  |
|                           | G2  | 正常または<br>軽度低下   | 60～89 | 319   | 53.5 | 36  | 6.0  | 13   | 2.2 | 6      | 1.0 | 0   | 0.0 | 374 | 62.7  |
|                           | G3a | 軽度～<br>中等度低下    | 45～59 | 59    | 9.9  | 17  | 2.9  | 11   | 1.8 | 3      | 0.5 | 0   | 0.0 | 90  | 15.1  |
|                           | G3b | 中等度～<br>高度低下    | 30～44 | 8     | 1.3  | 4   | 0.7  | 2    | 0.3 | 5      | 0.8 | 0   | 0.0 | 19  | 3.1   |
|                           | G4  | 高度低下            | 15～29 | 2     | 0.3  | 0   | 0.0  | 0    | 0.0 | 0      | 0.0 | 0   | 0.0 | 2   | 0.3   |
|                           | G5  | 末期腎不全<br>(ESKD) | <15   | 0     | 0.0  | 0   | 0.0  | 0    | 0.0 | 0      | 0.0 | 0   | 0.0 | 0   | 0.0   |
|                           | 未測定 |                 |       | 0     | 0.0  | 0   | 0.0  | 0    | 0.0 | 0      | 0.0 | 0   | 0.0 | 0   | 0.0   |
| 計                         |     |                 |       | 486   | 81.4 | 67  | 11.3 | 28   | 4.6 | 15     | 2.5 | 0   | 0.0 | 596 | 100.0 |

※旭市健康管理システム「特定健診受診者名簿」（令和 4 年度）より



～表 71 から表 74 について～

※「CKD（慢性腎臓病）ガイド」に基づき、GFR 区分・蛋白尿区分を合わせたステージにより評価

※保健指導判定値（eGFR：G3a 以上、尿蛋白(+)以上）、受診勧奨判定値（eGFR：G3b 以上、尿蛋白(2+)以上）

※赤抜きは、eGFR 値が G3a 以上かつ蛋白尿(+) 以上

※端数処理のため、構成比の合計が 100%に一致しない

【慢性腎臓病（CKD）の重症度分類】

慢性腎臓病（CKD）の重症度は、死亡、末期腎不全、心血管死亡発症のリスクを

 緑のステージを基準に、 黄  オレンジ  赤の順にステージが上昇するほどリスク上昇する。

|                                   |     |          |       | 尿蛋白ステージ | A1         | A2  | A3     |
|-----------------------------------|-----|----------|-------|---------|------------|-----|--------|
|                                   |     |          |       | 蛋白尿の目安  | (-) or (±) | (+) | (2+)以上 |
| eGFR区分(mL/分/1.73/m <sup>2</sup> ) | G1  | 正常または高値  | ≥90   |         |            |     |        |
|                                   | G2  | 正常または度低下 | 60～89 |         |            |     |        |
|                                   | G3a | 軽度～中等度低下 | 45～59 |         |            |     |        |
|                                   | G3b | 中等度～高度低下 | 30～44 |         |            |     |        |
|                                   | G4  | 高度低下     | 15～29 |         |            |     |        |
|                                   | G5  | 末期腎不全    | <15   |         |            |     |        |

図 81 慢性腎臓病(CKD)の重症度分類

※eGFR とは、血清クレアチニン値と年齢、性別をもとに腎臓が 1 分間にろ過できる量を計算したものです。

【人工透析の状況】

平成 30 年度から令和 4 年度までの人工透析患者数の推移をみると、被保険者数に占める人工透析患者数割合は、0.4%で横ばいの状況にあります。

表 75 人工透析患者数の経年比較

割合単位：％

|            | 平成30年度 | 令和元年度  | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度  |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 被保険者数（人）   | 20,491 | 19,716 | 19,401 | 18,629 | 17,634 |
| 人工透析患者数（人） | 79     | 82     | 74     | 77     | 78     |
| 人工透析患者割合   | 0.4%   | 0.4%   | 0.4%   | 0.4%   | 0.4%   |

※「旭市特定疾病療養受療証発行台帳（人工透析のみ抜粋）」より

特定疾病療養受療証発行者数は、平成 30 年度の 79 人から、令和 4 年度は 78 人と 1 人減少しています。新規発行者数は平成 30 年度の 2 人から、令和 4 年度は 6 人と 4 人増加しています。男性と女性の割合は、男性が 6 割を超えて高くなっています。

表 76 特定疾病療養受療証発行者数

単位：人・％

| 年齢区分   | 特定疾病療養受療証発行者数 |      |       |       |      |       |       |      |       |       |      |       |       |      |       |
|--------|---------------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|
|        | 平成30年度        |      |       | 令和元年度 |      |       | 令和2年度 |      |       | 令和3年度 |      |       | 令和4年度 |      |       |
|        | 男性            | 女性   | 合計    | 男性    | 女性   | 合計    | 男性    | 女性   | 合計    | 男性    | 女性   | 合計    | 男性    | 女性   | 合計    |
| 20歳代以下 | 0             | 0    | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0     | 0     | 0    | 0     |
| 30歳代   | 1             | 0    | 1     | 2     | 0    | 2     | 2     | 0    | 2     | 2     | 1    | 3     | 2     | 1    | 3     |
| 40歳代   | 9             | 3    | 12    | 1     | 2    | 3     | 4     | 1    | 5     | 4     | 1    | 5     | 5     | 1    | 6     |
| 50歳代   | 12            | 8    | 20    | 12    | 8    | 20    | 12    | 6    | 18    | 14    | 11   | 25    | 15    | 11   | 26    |
| 60歳代   | 25            | 6    | 31    | 21    | 8    | 29    | 24    | 10   | 34    | 16    | 10   | 26    | 17    | 10   | 27    |
| 70～74歳 | 9             | 6    | 15    | 20    | 8    | 28    | 9     | 6    | 15    | 14    | 4    | 18    | 13    | 3    | 16    |
| 計      | 56            | 23   | 79    | 56    | 26   | 82    | 51    | 23   | 74    | 50    | 27   | 77    | 52    | 26   | 78    |
| 男女比    | 70.9          | 29.1 | 100.0 | 68.3  | 31.7 | 100.0 | 68.9  | 31.1 | 100.0 | 64.9  | 35.1 | 100.0 | 66.7  | 33.3 | 100.0 |
| 新規     | 2             | 0    | 2     | 5     | 1    | 6     | 3     | 0    | 3     | 7     | 2    | 9     | 5     | 1    | 6     |

※「旭市特定疾病療養受療証発行台帳（人工透析のみ抜粋）」より

※表中の「赤抜き」部分は、前年度より増加している部分です。

※特定疾病療養受療証とは、医療機関の窓口に提示することで特定疾病の自己負担額が1医療機関につき1か月1万円までとなるもので、申請により交付します。対象となる疾病は、人工透析が必要な慢性腎不全など長期にわたり高額な医療費が必要となるもので厚生労働大臣が指定しています。

令和 4 年 5 月の人工透析患者の他疾病の有病状況は、「高血圧症」が 68 人の 94.4%と最も高く、次に「脂質異常症」が 45 人の 62.5%、「糖尿病」が 40 人の 55.6%と続きます。

表 77 人工透析患者の他疾病の有病状況

単位：人・％

|        | 令和4年5月診療分 |        |    |        |    |        |
|--------|-----------|--------|----|--------|----|--------|
|        | 男性        |        | 女性 |        | 合計 |        |
|        | 人数        | 割合     | 人数 | 割合     | 人数 | 割合     |
| 糖尿病    | 32        | 64.0%  | 8  | 36.4%  | 40 | 55.6%  |
| 高血圧症   | 47        | 94.0%  | 21 | 95.5%  | 68 | 94.4%  |
| 高尿酸血症  | 18        | 36.0%  | 4  | 18.2%  | 22 | 30.6%  |
| 脂質異常症  | 28        | 56.0%  | 17 | 77.3%  | 45 | 62.5%  |
| 脳血管疾患  | 9         | 18.0%  | 7  | 31.8%  | 16 | 22.2%  |
| 虚血性心疾患 | 20        | 40.0%  | 10 | 45.5%  | 30 | 41.7%  |
| 人工透析者数 | 50        | 100.0% | 22 | 100.0% | 72 | 100.0% |

※KDB データ「厚生労働省様式（様式 3-7）人工透析のレセプト分析」（令和 4 年 5 月診療分）より

## 9. 介護の状況

### (1) 旭市の介護認定者数

平成30年度から令和4年度の介護認定者（要支援・要介護認定者）数の推移は毎年変動しています。第1号被保険者（65歳以上）は平成30年度、令和4年度いずれも2,969人で変わりありませんでしたが、第2号被保険者（40～64歳）は111人から83人と28人減少しています。

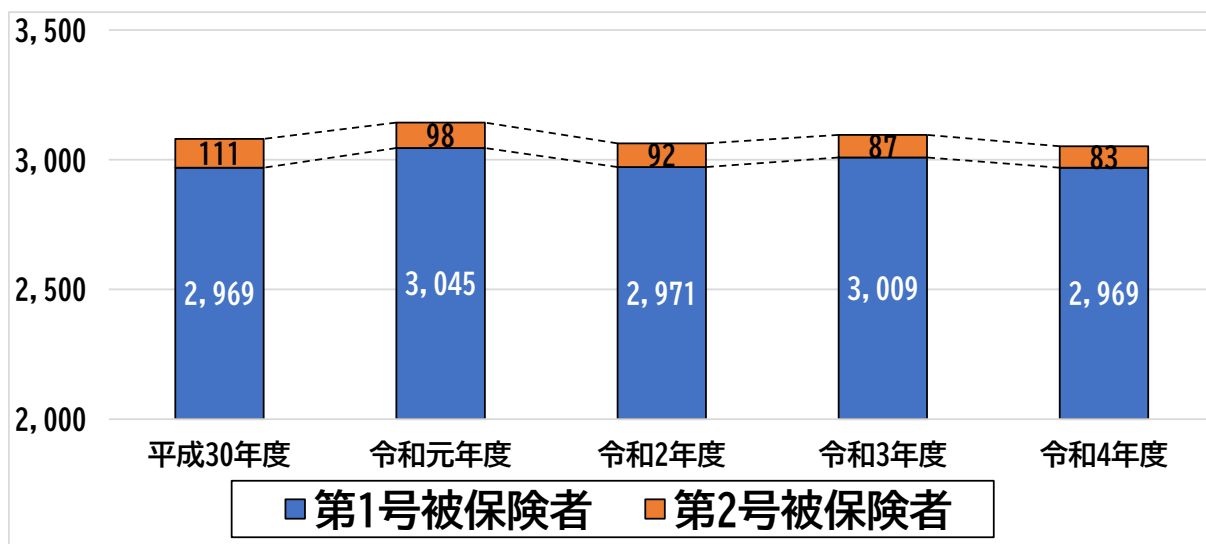


図 82 介護認定者数の推移

単位：人

※KDB データ 「地域の全体像の把握」（各年度）より

### (2) 介護認定率の推移と比較

旭市の介護認定率は第1号被保険者認定率が15%前後で推移しており、令和4年度の第1号被保険者認定率は15.1%で、平成30年度に比べ0.6ポイント減少しています。令和4年度の第1号被保険者認定率を同規模、千葉県、全国と比較すると、同規模より3.0ポイント、千葉県より2.8ポイント、全国より4.3ポイント低く、旭市は低い認定率になっています。

旭市の第2号被保険者認定率は、令和4年度0.4%で、同規模、千葉県、全国と比較すると、変わりありません。

表 78 介護認定率の推移と比較

単位：%

|        | 旭市         |            | 同規模        |            | 千葉県        |            | 全国         |            |
|--------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|        | 第1号<br>認定率 | 第2号<br>認定率 | 第1号<br>認定率 | 第2号<br>認定率 | 第1号<br>認定率 | 第2号<br>認定率 | 第1号<br>認定率 | 第2号<br>認定率 |
| 平成30年度 | 15.7       | 0.5        | 18.1       | 0.4        | 16.9       | 0.4        | 19.2       | 0.4        |
| 令和元年度  | 16.0       | 0.5        | 18.4       | 0.4        | 17.6       | 0.4        | 19.6       | 0.4        |
| 令和2年度  | 15.9       | 0.4        | 18.7       | 0.3        | 18.1       | 0.4        | 19.9       | 0.4        |
| 令和3年度  | 16.0       | 0.4        | 19.1       | 0.4        | 18.7       | 0.4        | 20.3       | 0.4        |
| 令和4年度  | 15.1       | 0.4        | 18.1       | 0.4        | 17.9       | 0.4        | 19.4       | 0.4        |

※KDB データ 「地域の全体像の把握」（各年度）より

表 79 介護保険第1号被保険者新規認定者数

単位：人

|        | 旭市 | 同規模    | 千葉県   | 全国      |
|--------|----|--------|-------|---------|
| 平成30年度 | 61 | 14,602 | 4,915 | 95,344  |
| 令和元年度  | 84 | 16,579 | 8,636 | 113,806 |
| 令和2年度  | 47 | 14,774 | 5,317 | 103,616 |
| 令和3年度  | 56 | 14,871 | 5,537 | 104,278 |
| 令和4年度  | 46 | 15,476 | 5,516 | 110,289 |

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

※同規模…認定数は、人口同規模市の合計

表 80 介護度別認定率の比較

単位：人・％

|               | 旭市     |      | 同規模        |      | 千葉県       |      | 全国         |      |
|---------------|--------|------|------------|------|-----------|------|------------|------|
|               | 認定者数   | 認定率  | 認定者数       | 認定率  | 認定者数      | 認定率  | 認定者数       | 認定率  |
| 要支援1          | 2,531  | 1.1  | 1,434,024  | 2.3  | 495,134   | 2.4  | 11,284,867 | 2.7  |
| 要支援2          | 3,208  | 1.3  | 1,490,997  | 2.4  | 463,016   | 2.3  | 11,026,108 | 2.7  |
| 要介護1          | 7,980  | 3.4  | 2,373,892  | 3.8  | 791,918   | 3.9  | 16,870,150 | 4.1  |
| 要介護2          | 7,241  | 3.0  | 1,883,636  | 3.0  | 597,231   | 2.9  | 13,451,621 | 3.2  |
| 要介護3          | 6,146  | 2.6  | 1,532,485  | 2.5  | 512,359   | 2.5  | 10,749,496 | 2.6  |
| 要介護4          | 5,993  | 2.5  | 1,521,440  | 2.5  | 482,929   | 2.4  | 10,403,945 | 2.5  |
| 要介護5          | 2,942  | 1.2  | 985,642    | 1.6  | 304,160   | 1.5  | 6,963,319  | 1.7  |
| 認定者数<br>認定率合計 | 36,041 | 15.1 | 11,222,116 | 18.1 | 3,646,747 | 17.9 | 80,749,506 | 19.5 |

※KDB データ「健康スコアリング（介護）」（令和4年度）より

※同規模…認定者数は、人口同規模市の合計

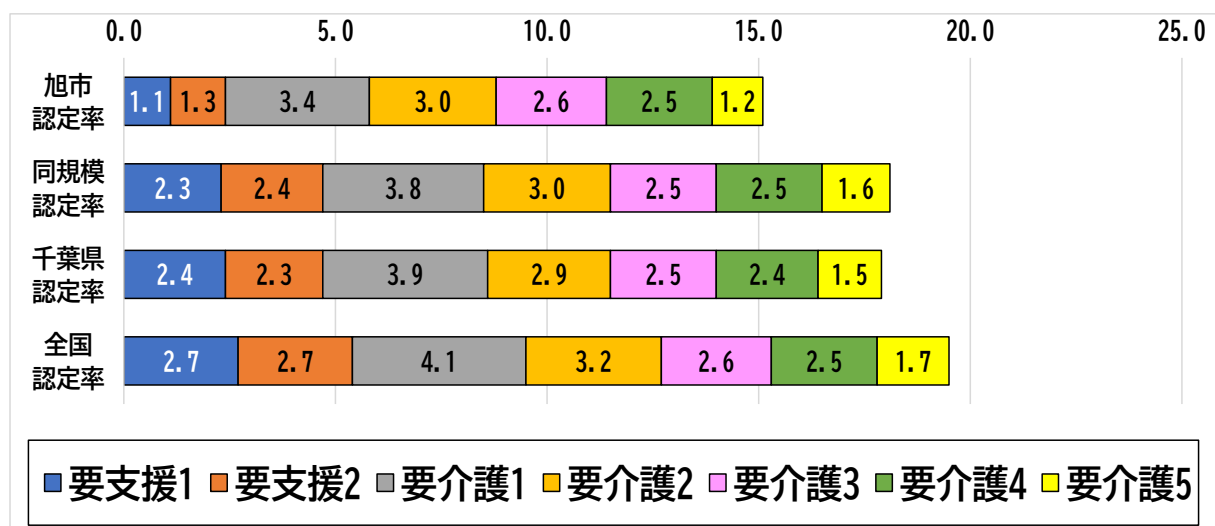


図 83 介護度別認定率の比較

単位：％

※KDB データ「健康スコアリング（介護）」（令和4年度）より

### (3) 介護給付金の変化

旭市の介護総給付費は、全体（40 歳以上）、後期高齢者（75 歳以上）ともに、平成 30 年度から令和 4 年度にかけて増加傾向で推移しています。令和 4 年度の介護総給付費全体に占める後期高齢者介護給付費の割合は 86.2%で、平成 30 年度より 1.1 ポイント減少していますが、40～74 歳の介護給付費割合が増加していることになります。

また、旭市の令和 4 年度の介護総給付費全体に占める後期高齢者介護給付費の割合は、同規模、千葉県、全国と比較すると、低い割合となっています。

表 81 介護総給付費の経年比較

単位：百万円・%

|        | 旭市    |       |      | 同規模       |           |      | 千葉県     |         |      | 全国         |           |      |
|--------|-------|-------|------|-----------|-----------|------|---------|---------|------|------------|-----------|------|
|        | 全体    | 後期高齢者 | 割合   | 全体        | 後期高齢者     | 割合   | 全体      | 後期高齢者   | 割合   | 全体         | 後期高齢者     | 割合   |
| 平成30年度 | 4,470 | 3,902 | 87.3 | 1,348,274 | 1,208,381 | 89.6 | 382,847 | 331,519 | 86.6 | 9,195,670  | 8,174,742 | 88.9 |
| 令和元年度  | 4,568 | 3,979 | 87.1 | 1,379,115 | 1,239,520 | 89.9 | 401,563 | 349,951 | 87.1 | 9,528,128  | 8,500,122 | 89.2 |
| 令和2年度  | 4,582 | 3,993 | 87.1 | 1,402,084 | 1,259,309 | 89.8 | 415,002 | 362,345 | 87.3 | 9,792,925  | 8,734,770 | 89.2 |
| 令和3年度  | 4,605 | 4,004 | 87.0 | 1,403,805 | 1,257,876 | 89.6 | 428,975 | 374,213 | 87.2 | 9,968,212  | 8,871,583 | 89.0 |
| 令和4年度  | 4,675 | 4,029 | 86.2 | 1,417,886 | 1,275,588 | 90.0 | 441,249 | 387,426 | 87.8 | 10,074,274 | 9,002,786 | 89.4 |

※KDB データ「医療・介護の突合の経年比較」（各年度）より

※同規模…給付費は、人口同規模市の合計

### (4) 介護認定の有無別、1 件当たり医療費の状況

平成 30 年度から令和 4 年度の介護認定の有無別 1 件あたり医療費の推移は、「認定あり」は平成 30 年度より令和 4 年度は 10,850 円、「認定なし」は 3,760 円増加しています。

認定の有無別では、「認定あり」が「認定なし」の約 2 倍の医療費となっています。令和 4 年度は「認定あり」が 43,200 円高くなっています。

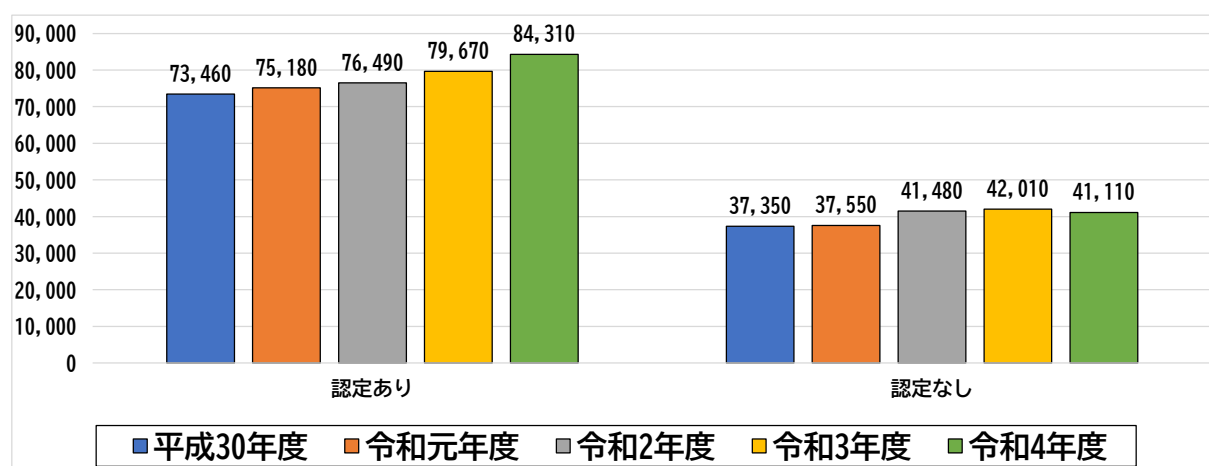


図 84 介護認定の有無別、1 件当たり医療費の推移

単位：円

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

# (5) 1件当たり給付費（居宅・施設）の比較

旭市の令和4年度の1件当たり給付費（居宅）は35,137円で、平成30年度と比較すると378円減少しています。一方、1件当たり給付費（施設）は285,049円で、平成30年度と比較すると12,272円増加しています。

また、旭市の令和4年度の1件当たり給付費は、居宅、施設ともに、同規模、千葉県、全国と比較すると低くなっています。

表 82 1件当たり給付費の経年比較(居宅)

単位：円

| 居宅     | 旭市     | 同規模    | 千葉県    | 全国     |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 平成30年度 | 35,515 | 42,463 | 40,371 | 41,788 |
| 令和元年度  | 34,907 | 42,479 | 40,373 | 41,769 |
| 令和2年度  | 34,007 | 42,922 | 40,711 | 42,170 |
| 令和3年度  | 34,181 | 42,490 | 40,146 | 41,736 |
| 令和4年度  | 35,137 | 41,712 | 39,718 | 41,165 |

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

表 83 1件当たり給付費の経年比較(施設)

単位：円

| 施設     | 旭市      | 同規模     | 千葉県     | 全国      |
|--------|---------|---------|---------|---------|
| 平成30年度 | 272,777 | 284,651 | 285,783 | 288,505 |
| 令和元年度  | 278,420 | 290,139 | 291,133 | 293,933 |
| 令和2年度  | 284,540 | 294,955 | 296,150 | 298,785 |
| 令和3年度  | 284,319 | 293,006 | 294,160 | 296,733 |
| 令和4年度  | 285,049 | 291,983 | 293,882 | 295,813 |

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度）より

要介護認定者の介護度別1件当たり給付費は、介護度が高くなるほど給付費がかかり、要介護3以上が高い給付費となっています。

表 84 要介護認定者の介護度別1件当たり給付費の推移

単位：千円

|      | 平成30年度  | 令和元年度   | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度   |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 要支援1 | 7,976   | 7,451   | 7,404   | 7,913   | 8,006   |
| 要支援2 | 8,395   | 7,909   | 7,784   | 8,149   | 8,893   |
| 要介護1 | 31,583  | 31,905  | 30,822  | 30,947  | 31,363  |
| 要介護2 | 43,501  | 42,930  | 41,970  | 41,442  | 51,580  |
| 要介護3 | 82,451  | 85,725  | 89,720  | 88,338  | 90,837  |
| 要介護4 | 115,523 | 123,596 | 125,013 | 118,485 | 118,409 |
| 要介護5 | 110,819 | 110,055 | 113,254 | 119,575 | 111,417 |

※KDB データ「地域の全体像の把握」（各年度累計）より

# (6) 介護認定者の疾病状況

令和4年度の介護認定者の有病状況は、「心疾患」60.2%、「高血圧症」52.9%、「筋・骨格」50.8%と続きます。千葉県と比較すると、「糖尿病」が4.4ポイント、「高血圧症」が2.0ポイント、「脂質異常症」が2.0ポイント、心疾患が2.7ポイント、「筋・骨格」が0.4ポイント高くなっています。

表 85 介護認定者の有病状況の比較

単位：人・％

|          | 旭市    |      | 同規模     |      | 千葉県     |      | 全国        |      |
|----------|-------|------|---------|------|---------|------|-----------|------|
|          | 有病数   | 割合   | 有病数     | 割合   | 有病数     | 割合   | 有病数       | 割合   |
| 糖尿病      | 868   | 28.1 | 237,003 | 24.2 | 76,084  | 23.7 | 1,712,613 | 24.3 |
| 高血圧症     | 1,643 | 52.9 | 523,600 | 53.8 | 162,974 | 50.9 | 3,744,672 | 53.3 |
| 脂質異常症    | 1,025 | 32.6 | 312,282 | 31.8 | 98,834  | 30.6 | 2,308,216 | 32.6 |
| 心臓病      | 1,859 | 60.2 | 590,733 | 60.8 | 183,644 | 57.5 | 4,224,628 | 60.3 |
| 脳血管疾患    | 675   | 22.7 | 221,742 | 23.1 | 67,100  | 21.3 | 1,568,292 | 22.6 |
| がん       | 306   | 10.3 | 111,991 | 11.3 | 39,603  | 12.3 | 837,410   | 11.8 |
| 筋・骨格     | 1,578 | 50.8 | 516,731 | 53.1 | 161,565 | 50.4 | 3,748,372 | 53.4 |
| 精神       | 1,057 | 33.7 | 358,088 | 37.0 | 107,379 | 33.7 | 2,569,149 | 36.8 |
| 認知症      | 764   | 23.9 | 235,492 | 24.4 | 66,916  | 21.1 | 1,668,213 | 24.0 |
| アルツハイマー病 | 447   | 14.2 | 177,745 | 18.5 | 49,504  | 15.6 | 1,251,951 | 18.1 |

※KDB データ 「地域の全体像の把握」(令和4年度)より

※同規模…有病数は、人口同規模市の合計

※表中の「赤抜き」部分は旭市、千葉県、同規模、全国で各疾病の高い割合を示しています。

令和4年度の介護認定者の年齢階層別有病状況をみると、40歳代の有病割合は、各疾患10%未満である一方で、50歳代以降、年齢が上がるにしたがい、各疾病とも有病割合が増える傾向にあります。特に、「心臓病」、「高血圧症」、「筋・骨格」については、年齢が上がると有病割合の増加が顕著となっています。

表 86 年齢階層別有病人数と割合

単位：人・％

|        | 第1号<br>認定者数 | 第2号<br>認定者数 | 糖尿病<br>(有病割合)      | 高血圧症<br>(有病割合)     | 脂質異常症<br>(有病割合)    | 心臓病<br>(有病割合)      | 脳疾患<br>(有病割合)     | 筋・骨格<br>(有病割合)     | 精神<br>(有病割合)       |
|--------|-------------|-------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|
| 40歳代   | 0           | 133         | 9人<br>(6.8%)       | 12人<br>(9.0%)      | 11人<br>(8.3%)      | 12人<br>(9.0%)      | 12人<br>(9.0%)     | 9人<br>(6.8%)       | 1人<br>(0.8%)       |
| 50歳代   | 0           | 340         | 115人<br>(33.8%)    | 127人<br>(37.4%)    | 91人<br>(26.8%)     | 127人<br>(37.4%)    | 104人<br>(30.6%)   | 86人<br>(25.3%)     | 35人<br>(10.3%)     |
| 60～64歳 | 0           | 532         | 133人<br>(25.0%)    | 192人<br>(36.1%)    | 165人<br>(31.0%)    | 209人<br>(39.3%)    | 172人<br>(32.3%)   | 146人<br>(27.4%)    | 93人<br>(17.5%)     |
| 65～69歳 | 1,738       | 0           | 451人<br>(25.9%)    | 638人<br>(36.7%)    | 495人<br>(28.5%)    | 708人<br>(40.7%)    | 378人<br>(21.7%)   | 593人<br>(34.1%)    | 402人<br>(23.1%)    |
| 70～74歳 | 2,991       | 0           | 847人<br>(28.3%)    | 1,192人<br>(39.9%)  | 787人<br>(26.3%)    | 1,331人<br>(44.5%)  | 611人<br>(20.4%)   | 1,076人<br>(36.0%)  | 686人<br>(22.9%)    |
| 75～79歳 | 3,801       | 0           | 1,400人<br>(36.8%)  | 1,971人<br>(51.9%)  | 1,490人<br>(39.2%)  | 2,201人<br>(57.9%)  | 985人<br>(25.9%)   | 1,917人<br>(50.4%)  | 1,211人<br>(31.9%)  |
| 80歳以上  | 27,511      | 0           | 7,448人<br>(27.1%)  | 15,458人<br>(56.2%) | 9,039人<br>(32.9%)  | 17,707人<br>(64.4%) | 6,141人<br>(22.3%) | 14,989人<br>(54.5%) | 10,060人<br>(36.6%) |
| 全体     | 36,041      | 1,005       | 10,403人<br>(28.1%) | 19,590人<br>(52.9%) | 12,078人<br>(32.6%) | 22,295人<br>(60.2%) | 8,403人<br>(22.7%) | 18,816人<br>(50.8%) | 12,488人<br>(33.7%) |

※KDB データ 「医療・介護の突合の経年比較」より



## 10. その他の保健事業

### (1) 重複受診

平成30年から令和4年までの各年5月の診療結果より重複受診の患者数を男女別にみると、概ね女性の方が多くなっています。

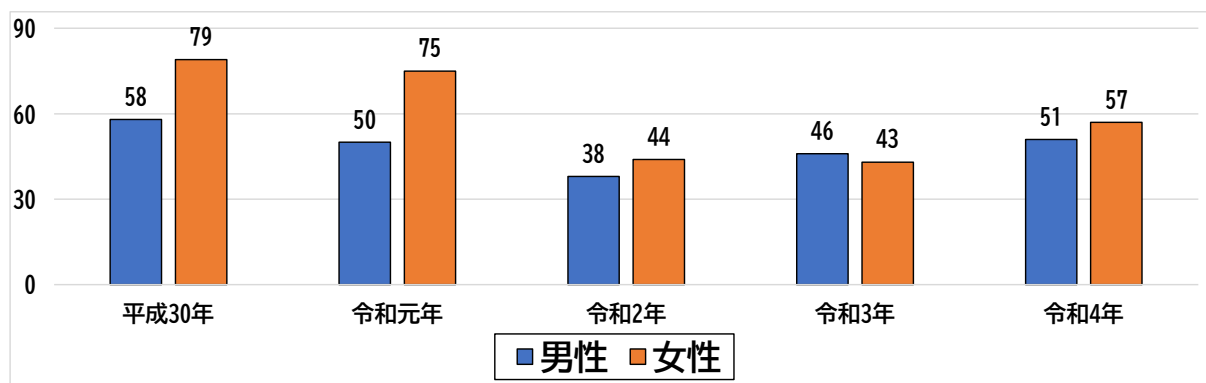


図 85 男女別重複受診の患者数

単位：人

※千葉県国保連合会提供「重複受診者該当リスト」（各年5月診療分）より

※重複受診…診療月内で同じ医薬品を複数の医療機関から処方されている被保険者

令和4年5月の診療結果より薬効分類別でみると、外用薬では「鎮痛、消炎剤等」や「眼科用剤」、内用薬では「睡眠鎮静剤」「解熱鎮痛消炎剤」が重複して処方されているケースが多い状態となっています。

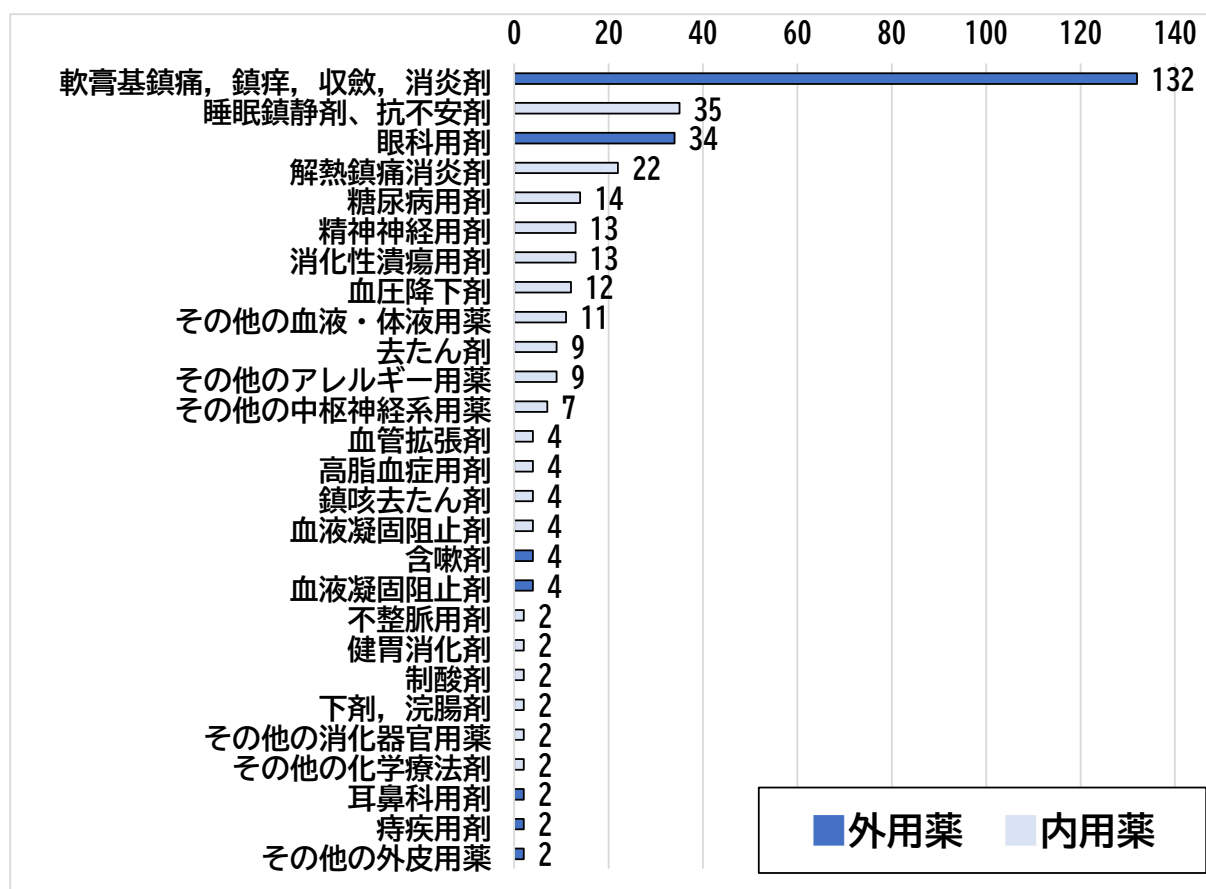


図 86 薬効分類別重複受診の患者数

単位：人

※千葉県国保連合会提供「重複受診者該当リスト」（令和4年5月診療分）より



## (2) 頻回受診

平成 30 年から令和 4 年までの各年 5 月の診療結果より、頻回受診の該当者数を男女別で見ると概ね男性が多く、令和 4 年 5 月の診療結果より疾病別で見ると「統合失調症」が 13 人と多くなっています。

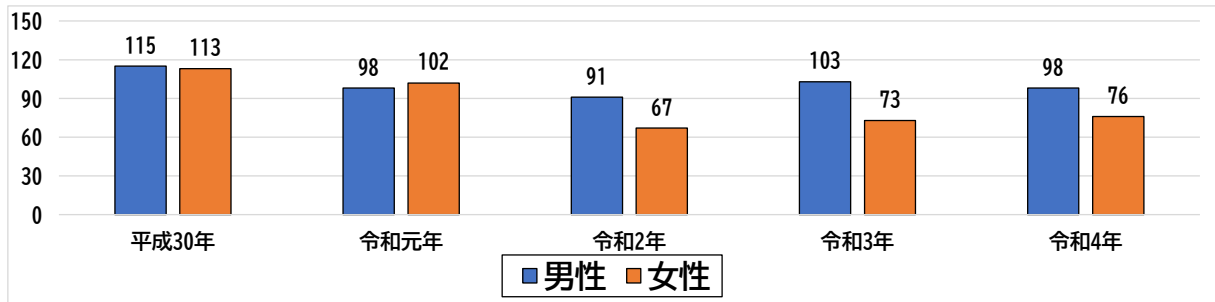


図 87 男女別頻回受診の患者数

単位：人

※千葉県国保連合会提供「頻回受診者該当リスト」（各年 5 月診療分）より

※頻回受診…診療月内で 10 日以上医療機関を受診されている被保険者

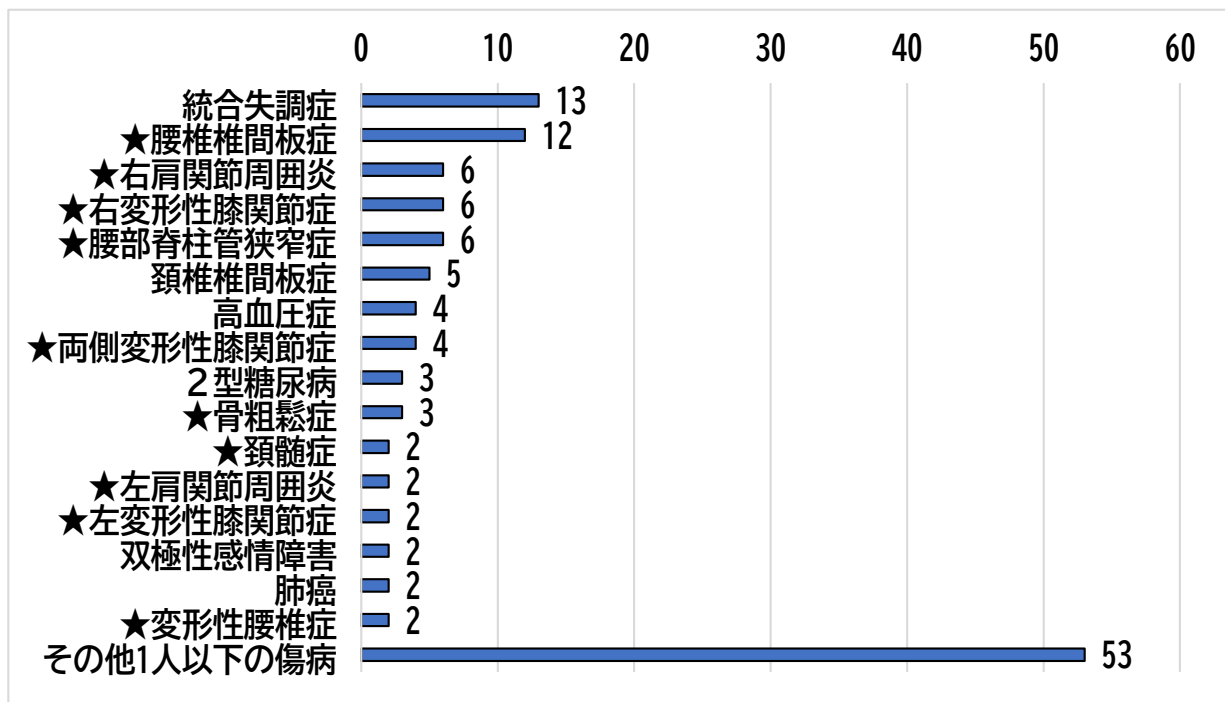


図 88 疾病別頻回受診の患者数

単位：人

※★印は整形外科疾患

※千葉県国保連合会提供「頻回受診者該当リスト」（令和 4 年 5 月診療分）より

### (3) 後発医薬品（ジェネリック）の利用状況

平成30年4月から令和5年3月までの5年間の診療結果より、医薬品全体の使用量、後発医薬品（ジェネリック）の使用量、使用率をみると、後発医薬品（ジェネリック）の使用率は87.2%と令和5年3月の全国平均使用率80.89%を大幅に上回っています。年単位で比較すると、令和2年4月～令和3年3月の医薬品の使用量は前年より低くなっていますが、後発医薬品の使用率が1.4ポイント高くなっています。

平成30年4月～平成31年3月の後発医薬品の使用率は84.5%、令和4年4月～令和5年3月の使用率は87.2%と2.7ポイント高くなっています。

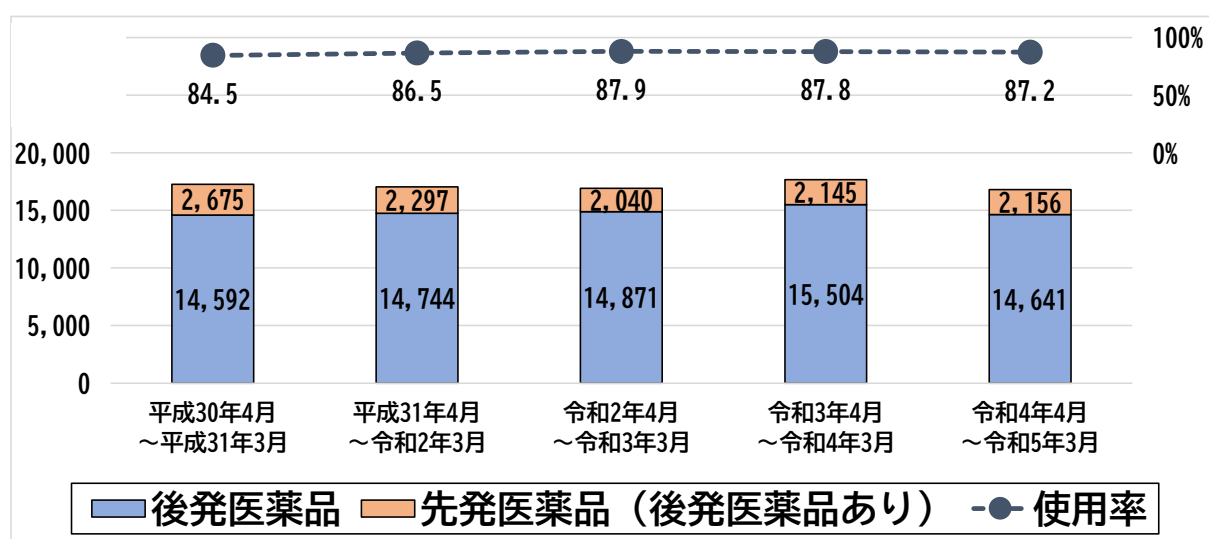


図 89 後発医薬品使用量と使用率の変化

単位：千個・%

※ジェネリック数量シェア集計表「国保連合会総合システム」(各年度)より

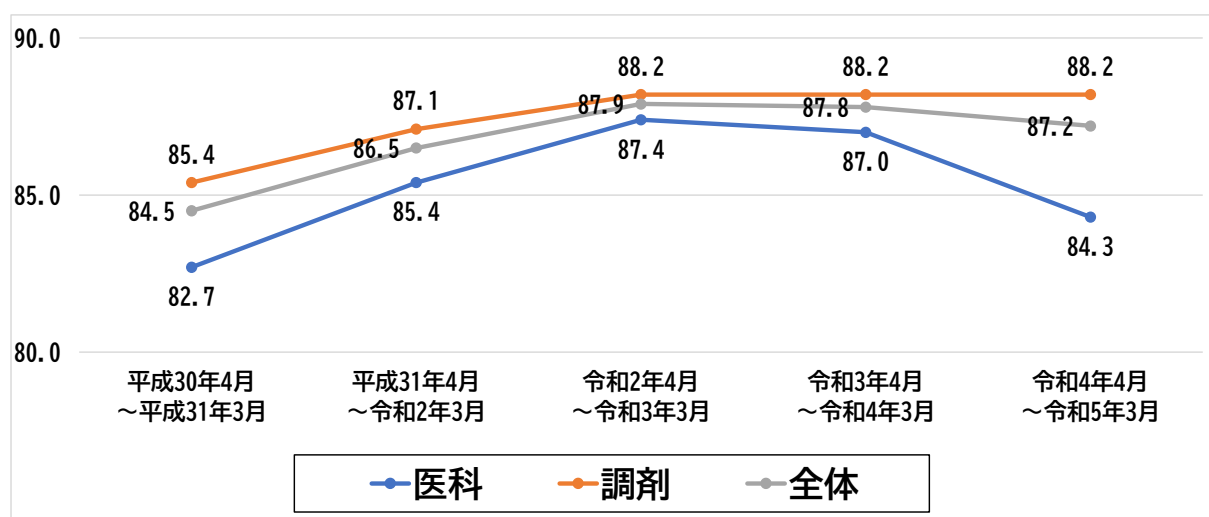


図 90 後発医薬品普及率の経年比較

単位：%

※ジェネリック数量シェア集計表「国保連合会総合システム」(各年度)より

処方される薬をジェネリックに替えた時の軽減可能額が200円以上の者に対し、令和3年8月調剤分を調査し、その内容について同年12月に差額通知を郵送してジェネリック薬品への切替率を確認しました。

切替率は1月の5.3%から毎月高くなり、最終的に、令和4年12月審査における切替率は18.3%、効果額の累計は85万円超となりました。また、男女比較では男性の方が切替率は高い結果となりました。

表 87 差額通知書 効果集計表 審査年月別効果額

単位：円

| 令和4年     | 効果額    |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |         |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
|          | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 期間合計    |
| 保険者負担相当額 | 62,940 | 47,126 | 61,080 | 49,605 | 52,635 | 54,146 | 49,857 | 43,597 | 67,652 | 44,576 | 53,926 | 44,017 | 631,157 |
| 患者負担相当額  | 24,306 | 17,646 | 21,911 | 16,102 | 17,933 | 18,935 | 16,460 | 15,002 | 23,127 | 15,984 | 17,693 | 14,759 | 219,858 |
| 計        | 87,246 | 64,772 | 82,991 | 65,707 | 70,568 | 73,081 | 66,317 | 58,599 | 90,779 | 60,560 | 71,619 | 58,776 | 851,015 |

※「国保連合会総合システム(差額通知書通算集計表)」(令和4年)より

表 88 差額通知書 効果集計表 審査年月別男女別切替人数

単位：人・%

| 令和4年 | 性別 | 切替状況(通知数 男性183人、女性266人 総数449人) |     |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|----|--------------------------------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|      |    | 1月                             | 2月  | 3月   | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  |
| 切替人数 | 男性 | 5                              | 9   | 15   | 20   | 25   | 29   | 32   | 34   | 37   | 43   | 43   | 44   |
|      | 女性 | 19                             | 25  | 27   | 30   | 33   | 33   | 35   | 35   | 35   | 36   | 36   | 38   |
|      | 計  | 24                             | 34  | 42   | 50   | 58   | 62   | 67   | 69   | 72   | 79   | 79   | 82   |
| 切替率  | 男性 | 2.7                            | 4.9 | 8.2  | 10.9 | 13.7 | 15.8 | 17.5 | 18.6 | 20.2 | 23.5 | 23.5 | 24.0 |
|      | 女性 | 7.1                            | 9.4 | 10.2 | 11.3 | 12.4 | 12.4 | 13.2 | 13.2 | 13.2 | 13.5 | 13.5 | 14.3 |
|      | 計  | 5.3                            | 7.6 | 9.4  | 11.1 | 12.9 | 13.8 | 14.9 | 15.4 | 16.0 | 17.6 | 17.6 | 18.3 |

※「国保連合会総合システム(差額通知書通算集計表)」(令和4年)より

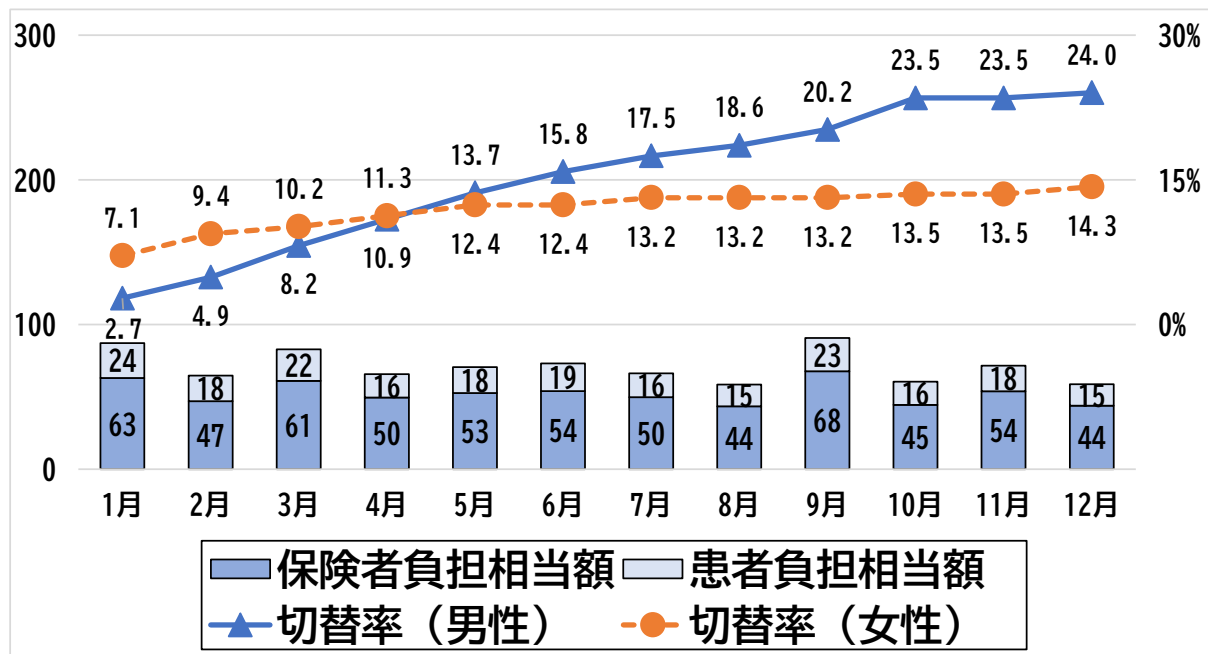


図 91 後発医薬品差額通知の効果額と切り替え率

単位：千円・%

※「国保連合会総合システム(差額通知書通算集計表)」(令和4年)より